

【資料1】

豊明市の地域特性と 公共交通の現状整理

平成 28 年 10 月

豊 明 市

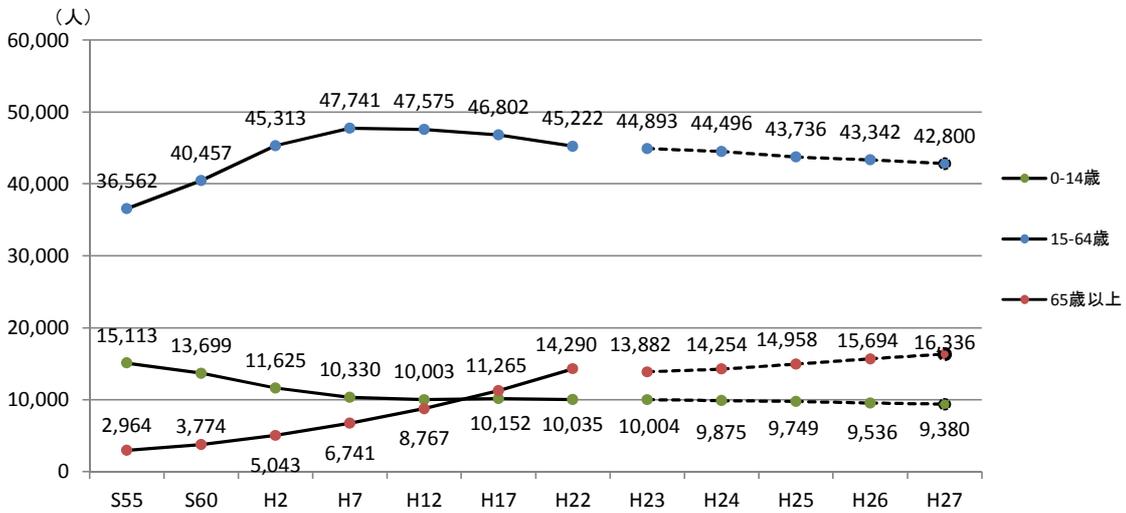
1. 豊明市の地域特性と公共交通の現状整理

1) 豊明市の地域特性

(1) 人口の推移と見通し

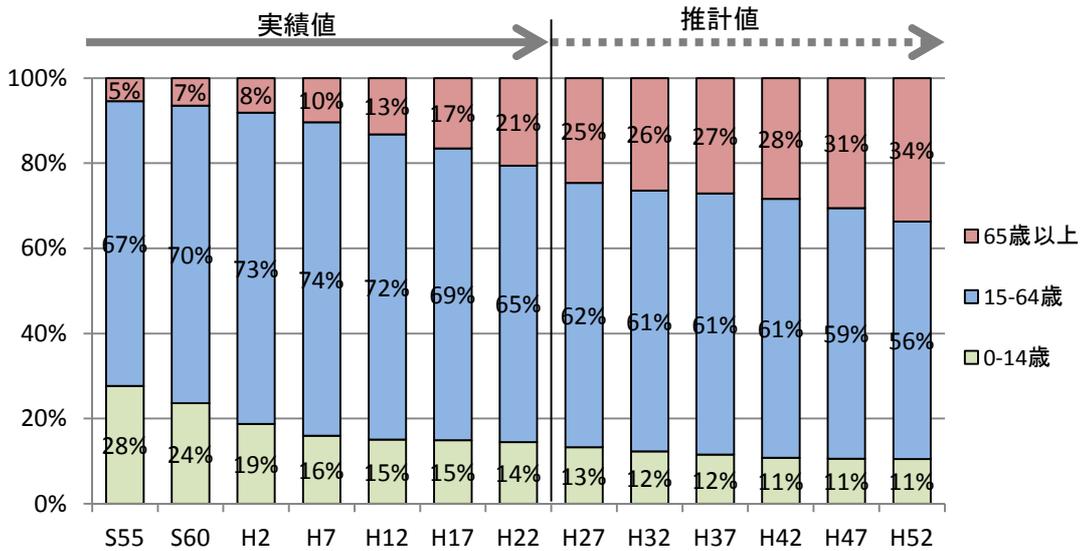
- 高齢者（65歳以上）人口は増加傾向にあり、年少（0-14歳）人口は減少傾向にあります。生産年齢（15-64歳）人口は平成7年までは増加していましたが、以降は減少傾向にあります。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も高齢化は進み、25年後の平成52年には、3人に1人が高齢者人口となる見込みです。

図 年齢階層別人口の推移



（資料：平成22年以前は国勢調査、平成23年以降はとよあけの統計（各年1月1日時点））

図 年齢階層別人口割合の推移と見込み

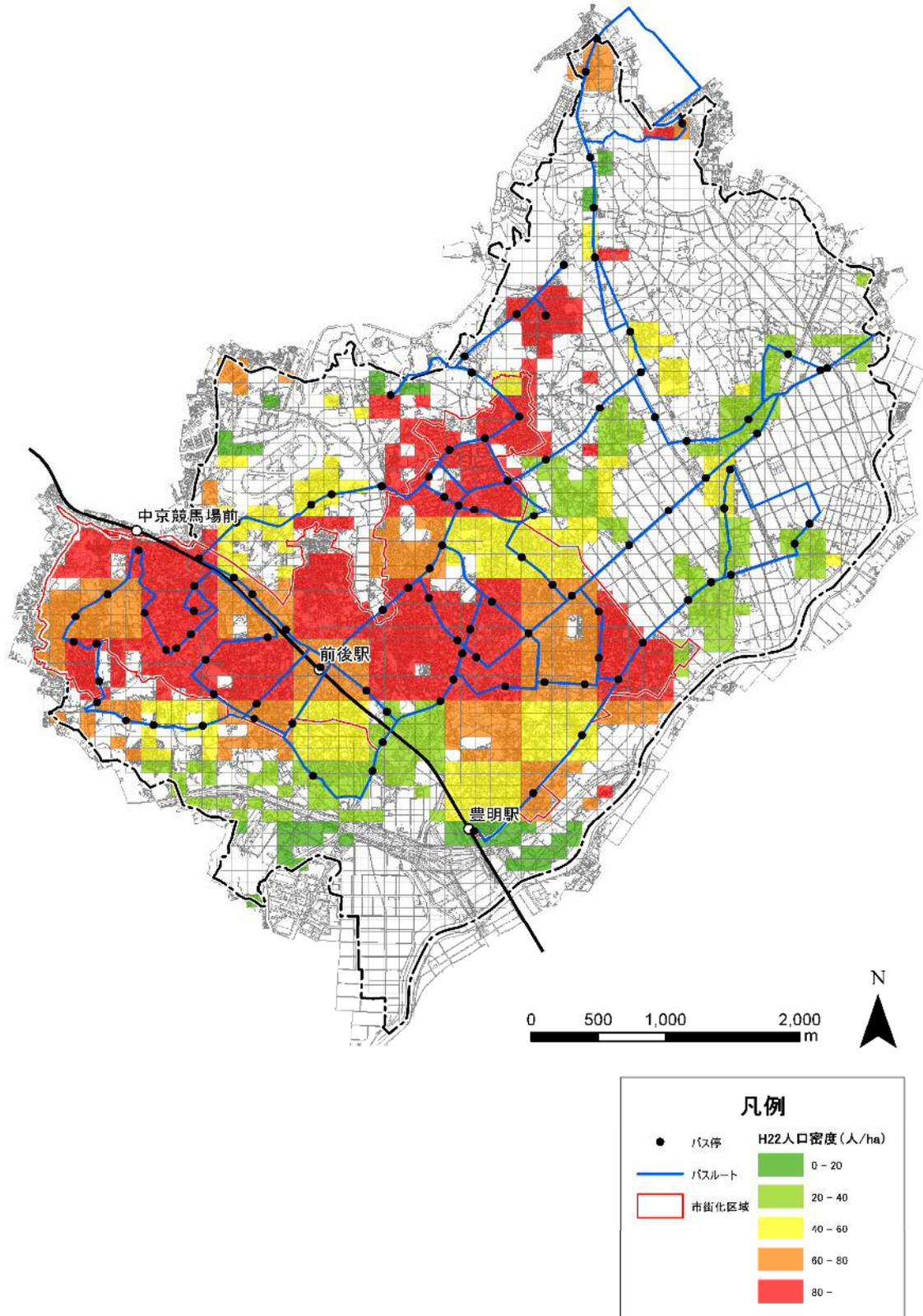


（資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成25年3月推計）

(2) 人口密度とバス路線の状況

- 路線バス及びひまわりバスのルートと人口密度の状況を見ると、人口密度の高いエリアをバス路線がカバーしています。

図 人口密度とバス路線の状況



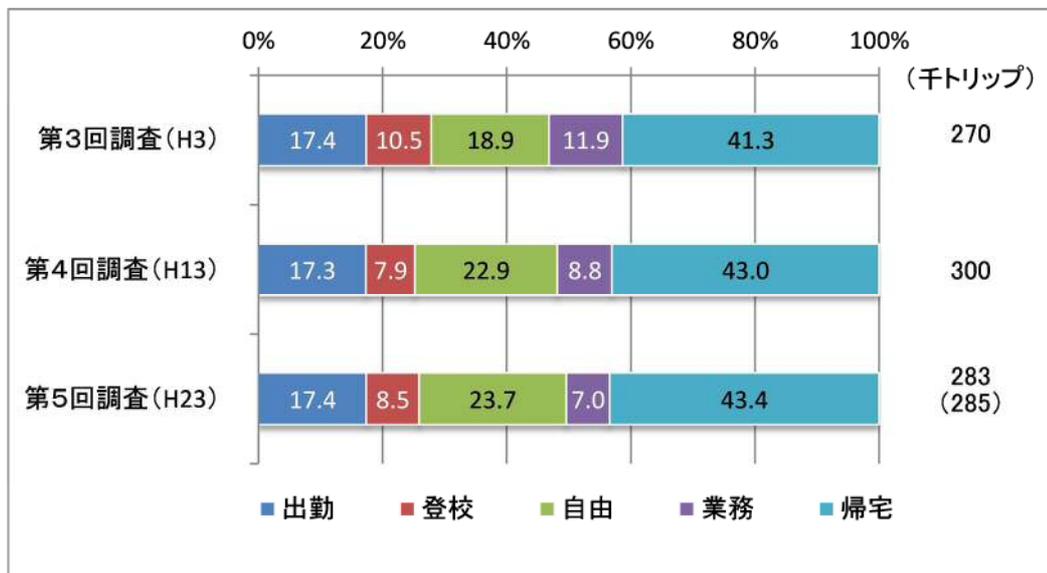
(資料：平成 22 年国勢調査人口メッシュ)

(3) 都市交通特性

①目的別トリップ特性

- 中京都市圏パーソントリップ調査より、豊明市関連トリップの目的別トリップ構成を見ると、この20年間（H3年からH23年）で自由目的が4.8ポイントしている一方で、登校目的が2.0ポイント、業務目的が4.9ポイント減少しています。

図 全手段目的別トリップ構成の推移

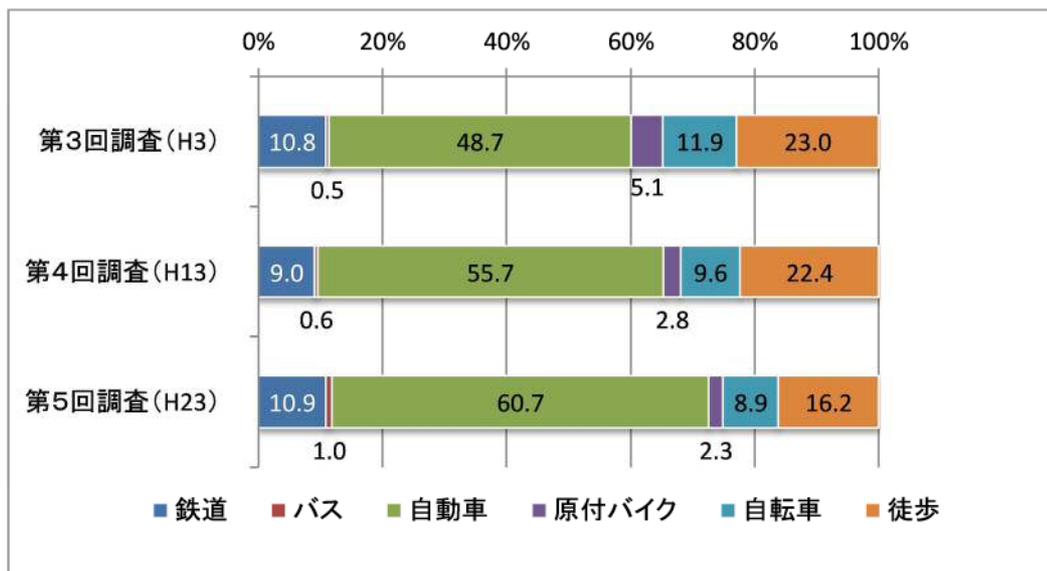


(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

②代表交通手段別トリップ特性

- 豊明市関連トリップの代表交通手段別トリップ構成を見ると、この20年間（H3年からH23年）で自動車が12.0ポイント増加している一方で、徒歩が6.8ポイント減少しています。

図 全目的代表交通手段別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

(参考) 目的別トリップ特性他市町比較

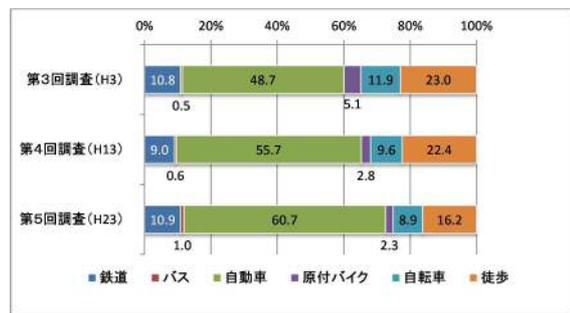
● 豊明市

図 全手段目的別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

図 全目的代表交通手段別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

● 東郷町

図 全手段目的別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

図 全目的代表交通手段別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

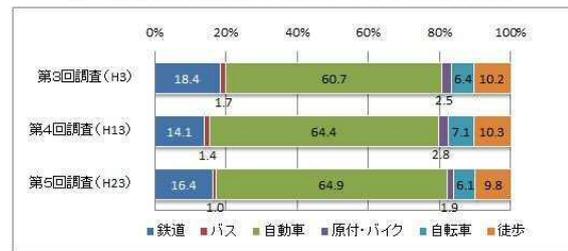
● 日進市

図 全手段目的別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

図 全目的代表交通手段別トリップ構成の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

2) 上位・関連計画の地域特性

(1) 第5次豊明市総合計画（平成28年度～平成37年度）

① まちの未来像とまちづくりの理念

第5次豊明市総合計画では、まちの未来像を「みんなでつなぐ しあわせのまちとよあけ」と定め、まちづくりの理念を「安心、快適、健やか、つながり、誠実、元気、挑戦」としています。

(1) まちの未来像

本市のまちの未来像を、次のとおり定めます。

みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ

女性も男性も、障がいのある方も、外国人も、
子どもからお年寄りまで、誰もが輝き、
まちづくりの主体者として活躍できるまちをめざします。

「今」を創ること、それは「未来」へとつながっていきます。
今を生きる私たちが、支え合い、手をとり合って
「しあわせのまち」をつくり、
未来の子どもたちへとつないでいきます。

誰もがそれぞれの「しあわせ」を実感でき、
しあわせ溢れるまちをめざします。



(3) まちづくりの理念

市民アンケートで、多くの市民が重要と回答した7つの理念を、本市がめざすまちづくりの理念としました。



安 心：心配や不安がなく、明るく暮らせるまち

快 適：きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち

健 や か：子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち

つ な が り：地域の中でお互いが支え合い、助け合えるまち

誠 実：極まで透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち

元 気：誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち

挑 戦：誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち

②公共交通関連の計画

理念ごとの計画のうち、公共交通に関連する項目として「交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している」をめざすまちの姿としています。

めざすまちの姿

8. 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している

■現状と課題

本市では、公共施設巡回バスとして市内をひまわりバスが3台で5路線運行しています。運行経路は利用者の利便性やニーズに即して地域公共交通会議で改善し、利用者数もわずかなですが増加傾向にあります。今後は、公共交通機関の事業者と連携し、交通空白地域の解消や高齢者の外出促進を検討する必要があります。また、洗滌解消や環境共生という観点からも公共交通機関の環境的な利用を促し、利用率の向上を図ることも重要です。

また、本市の都市計画道路は27路線で総延長51,680mが都市計画決定されており、うち21路線で整備が完了しています。また、計画通りに幅員が整備されている改良済の道路は合計40,180mで、改良率は77.8%となっています。未改良の道路は全て幹線道路で重要な位置づけのものです。特に、本市を東西に通過する国道1号は片側1車線であるため慢性的な渋滞が発生しています。北部で整備予定の名古屋岡崎線も重要な位置づけになっており、大根着工予定と合わせて早期整備が望まれます。また、桜ヶ丘寄掛線は前後駅から国道23号までの開通後は交通形態が大きく変わることが予想されるため、周辺地域対策が課題となっています。

■まちづくり指標

「めざすまちの姿」の達成状況を評価するための指標です。

項目	現状値	めざすまち	
		5年後	10年後
1 交通アクセスが良くなったと思う市民の割合	-	68.3%	73.2%
2 豊明3駅の年間利用者数	-	11,930千人	14,005千人
3 転入者数(年間)	転入者数	3,527人	3,635人
転出者数(年間)	転出者数	3,281人	2,793人

※毎年、市民値を測定し、めざすまちの姿の達成状況を評価し、施策の改善につなげていきます。

■役割期待値

5段階評価のアンケート調査をもとに設定した、「めざすまちの姿」を実現していく上での各まちづくりの主体に対する期待値です。



市が取り組むこと

【大施策】 交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする

【中施策】

公共交通の利便性を良くする

市内外の移動がしやすくなるように、道路交通網を整備する

※めざすまちの姿を実現していくために、手続である事業は従必要に応じて行います。

連携

市民ができること

- 豊明市は交通の便など住環境が良いことを市外の人に積極的にアピールすることができます。
- 誰もが利用しやすい交通体系について、様々な主体が集まって議論することができます。



ひまわりバス

(2) 第3次豊明市都市マスタープラン（平成29年度～平成38年度 策定中）

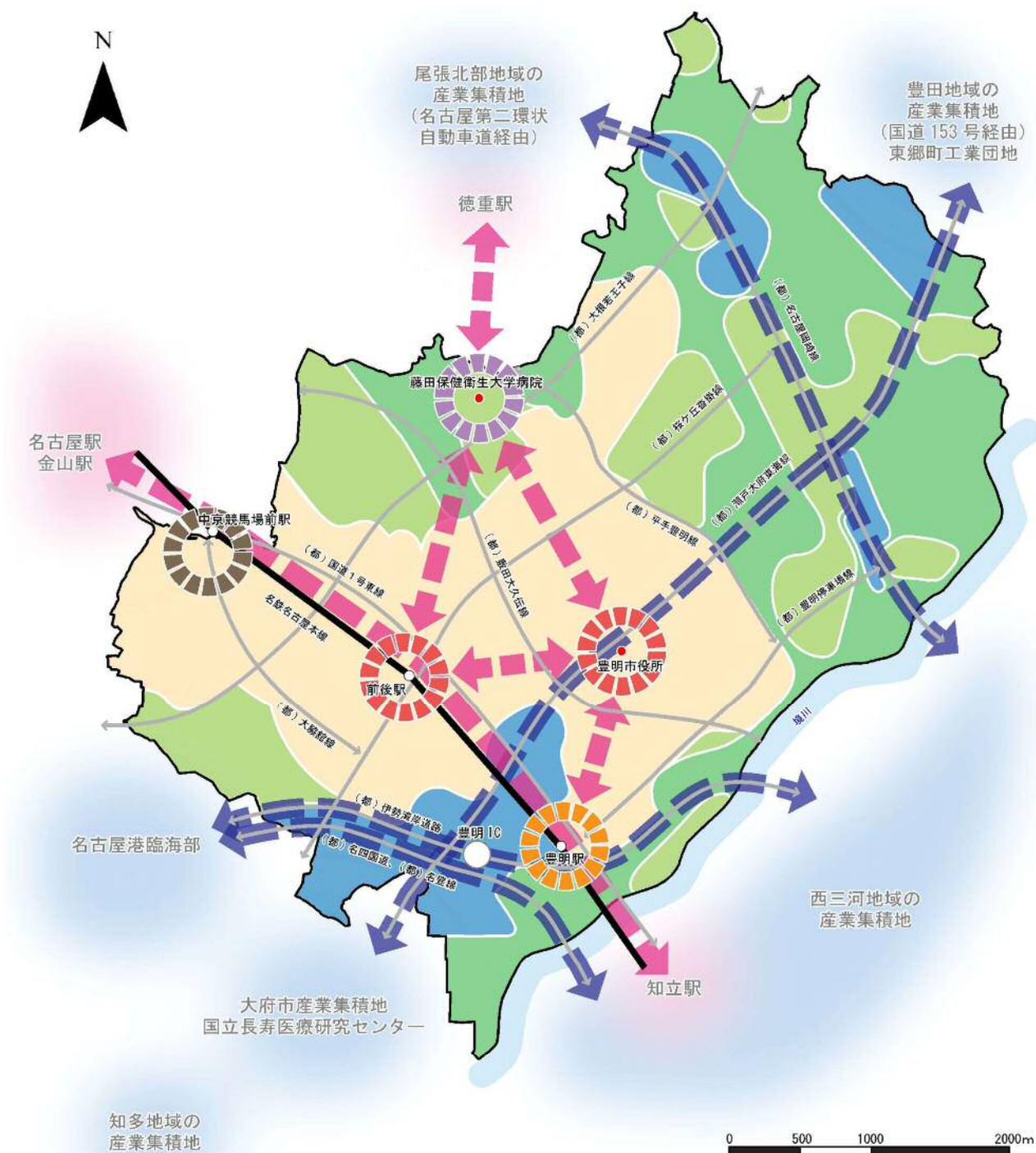
①将来都市像

第3次豊明市都市マスタープランでは、将来都市像を「市民のしあわせを支え続け、未来に向かって活気と活力を生み出す都市～暮らしやすさを維持・向上させるとともに、経済的にも自立した都市づくり～」と定めています。

将来都市像

市民のしあわせを支え続け、未来に向かって活気と活力を生み出す都市
～暮らしやすさを維持・向上させるとともに、経済的にも自立した都市づくり～

図 将来都市構造図



凡 例					
	都市拠点		居住ゾーン		交流連携軸
	花と食の交流拠点		田園居住ゾーン		産業連携軸
	歴史と文化の交流拠点		産業ゾーン		
	健康医療福祉拠点		農地・緑地ゾーン		

第3次豊明市都市計画マスタープラン

上位計画

第5次豊明市総合計画

まちの未来像
みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ
まちづくりの理念



- **安**：心配や不安がなく、明るく暮らせるまち
- **快**：きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち
- **誰**：子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち
- **つ**：地域の中でお互いが支え合い、助け合えるまち
- **誠**：健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち
- **元**：誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち
- **精**：誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 (名古屋都市計画区域マスタープラン)

都市づくりの基本理念
高次都市機能と学術・文化・研究開発機能を擁した、世界と交流する環伊勢湾地域の
中枢都市づくり

都市づくりの目標

- ①人口動向等を踏まえた住居系市街地の形成に向けた目標
 - 主要な鉄道駅周辺における誰もが暮らしやすい居住空間の形成
- ②広域交通体系および公共交通網構築に向けた目標
 - 鉄道と道路の機能の強化
 - 公共交通網の維持・強化
- ③産業動向等を踏まえた工業系市街地の形成に向けた目標
 - 次代を担う工業系市街地の形成
 - IC 周辺や既存工業地等の周辺に新たな工業系市街地の形成
- ④環境負荷が小さく防災性が高い都市の構築に向けた目標
 - 河川、公園、緑地、道路などを活用した自然的環境インフラネットワークを形成
 - 地震、水害等の災害に強い都市

将来都市像

市民のしあわせを支え続け、未来に向かって活気と活力を生み出す都市

暮らしやすさを維持・向上させるとともに、経済的にも自立した都市づくり

都市の現状把握と課題の整理

課題① 市外流出人口の抑制と市内に住み続けることができる受け皿の確保

課題② 市民の健康・生きがいづくり、高齢者の社会参加を促す交流まちづくり

課題③ 人口密度や都市機能の適正配分・適正立地の誘導

課題④ 災害に強い都市構造の形成と空家や空地対策、減災への取組の促進

課題⑤ 誰もが移動しやすい交通体系を確立し、土地利用施策と公共交通施策の一体的展開による都市機能の集約化と公共交通網の維持・強化の両立

課題⑥ 財政力強化及び新規雇用につながる新たな産業用地の機動的確保

課題⑦ 前後駅周辺や地域の生活中心地での商業・サービス産業の機能強化・充実

課題⑧ 効果的で効率的な都市運営

課題⑨ 豊明の個性と魅力づくり

都市づくりの目標・都市づくりの方針

目標① 生涯にわたり、市民の健康を育み、生きがいづくりを支える
土地利用の方針
■ 豊明団地において良好な居住環境を維持しつつ、若い世代の居住を促進し、世代間バランスを確保
■ 身近な生活圏の形成に向けた店舗の維持等や地域包括センターの整備等の推進
都市施設整備の方針
■ 誰もが安心して移動できる歩行環境を確保
■ 各拠点や歴史文化資源等を結ぶ歩行者・自転車ネットワークの形成
■ 都市公園や広場等の確保や遊具の適切な維持管理

目標② 拠点の利便性を高め、多様な移動手段を確保する
土地利用の方針
■ 前後駅周辺では、にぎわいある拠点形成のため都市機能の集積
■ 市役所周辺では、幹線道路沿いへ生活利便施設の立地を促進し、暮らし安さを向上
■ 豊明駅や豊明団地のセンター地区等では近隣住民の暮らしやすさを確保するため生活利便施設を集積
都市施設整備の方針
■ 公共交通結節機能の強化・充実による現在のサービス水準の維持・強化
■ 利用者ニーズに対応した使い勝手の良い生活交通ネットワークの形成
市街地整備の方針
■ 低未利用地や公的不動産の有効活用

目標③ 安全・安心な暮らしができ、まちの質を高める
都市施設整備の方針
■ 狭い道路等の解消により災害時の緊急車両の通行を容易にするなど防災機能の確保
■ 河川や水路は、引き続き総合的な治水対策を推進
■ ため池は、権利者等関係者の理解と協力を得ながら、適切な維持管理
■ 公共下水道（汚水）は、新たな市街地形成を図る地区等で整備を推進
■ 公共下水道（雨水）は、河川との役割分担の上、治水対策を推進
市街地整備の方針
■ 低未利用地や公的不動産等の有効活用
■ 空家の実態把握や対応策の検討を行い、総合的な空家対策を推進
都市防災の方針
■ 下水道機能の強化や総合的な治水対策を進め、雨水の流出抑制を促進
■ 避難路や避難場所の確保、都市施設や市街地の防災機能の強化等を推進
■ 市民の自主防災活動への支援や防災に関する啓発活動を推進
■ 防犯設備等の設置を進め、犯罪の抑止力の強化

目標④ にぎわいと都市の活力をひき出す
土地利用の方針
■ 都市拠点においては活気とにぎわいのある拠点の形成や都市機能の集積
■ 整備に向けた条件が整った場合、住宅地及び産業用地を形成
都市施設整備の方針
■ 幹線道路は隣接する市町との連携・交流の促進、各拠点への交通利便性の向上に向け、道路網の強化
■ 豊富な自然環境の残る二村山緑地の保全と利用
環境保全・景観形成の方針
■ 貴重な自然環境等の保全や、市内に残る里山や田畑の広がる風景の保全
■ 歴史文化資源の保護及び継承、情報発信や観光ルート等の整備を推進
■ 愛知豊明花き地方卸売市場を有することを活かした花のまちづくりの推進
■ 市民と行政の協働による景観形成の取組みの推進

②都市づくりの目標と方針

第5次豊明市総合計画を踏まえ、第3次豊明市都市計画マスタープランの都市づくりの目標及び方針を、以下のように設定しています。

3) 公共交通の現状整理

(1) サービス水準の整理

本市には、鉄道駅は、市内に名古屋鉄道名古屋本線の3駅が存在しています。また、バス交通は、名古屋市営バス、名鉄バス及び豊明市が運営するコミュニティバス「ひまわりバス」がサービスされています。以下に、鉄道、バス及びタクシー等のサービス水準を整理します。

①鉄道

- 市南部と名古屋市、岡崎市を名鉄名古屋本線が結んでいます。
- 各駅の1日当たりの運行本数に着目すると、豊明駅は222本、前後駅は385本、中京競馬場は191本が運行しています。その中で、準急・急行は豊明駅が80本、前後駅が238本、中京競馬場前が44本運行しています。

表 鉄道のサービス水準

■名古屋方面 H28.8現在

	駅名	運行本数 (本/日)	運行時間帯	
			始発	終発
名古屋鉄道名古屋本線	豊明	117 (43)	5:21	23:50
名古屋鉄道名古屋本線	前後	189 (115)	5:23	0:15
名古屋鉄道名古屋本線	中京競馬場前	91 (17)	5:25	23:54

■東岡崎・豊橋方面 H28.8現在

	駅名	運行本数 (本/日)	運行時間帯	
			始発	終発
名古屋鉄道名古屋本線	豊明	105 (37)	5:30	23:59
名古屋鉄道名古屋本線	前後	196 (123)	5:48	0:10
名古屋鉄道名古屋本線	中京競馬場前	100 (27)	5:46	0:08

(資料；名古屋鉄道 ホームページより)

※運行本数は各駅の発本数の合計
() 内は準急または急行の発本数

表 駅間運賃

■名古屋鉄道名古屋本線 (単位：円) H28.8現在

	豊明	前後	中京競馬場前	神宮前	金山	名鉄名古屋	東岡崎
豊明	-	170	190	350	400	400	400
前後	-	-	170	350	350	400	400
中京競馬場前	-	-	-	300	350	400	450

(資料；名古屋鉄道 ホームページより)

②バス

- 藤田保健衛生大学病院のバス停が、豊明市と名古屋市を接続する基点となっています。
- ひまわりバスは、文化会館を拠点に運行されており、1便当たりの所要時間は約20分から1時間40分となっています。

表 豊明市内及び近隣市町バスのサービス水準

	路線名	運行本数 (本/日)	運行 所要時間	運行時間帯		料金
				始発	終着	
名古屋市営バス・名鉄バス	徳重13 (藤田保健衛生大学病院—地下鉄原)	18	36分	6:19	22:16	1乗車210円
	徳重13 (藤田保健衛生大学病院—地下鉄徳重)	21	17分	6:38	23:01	
	徳重巡回	9	1時間2分	9:25	18:27	
	鳴子16	32	30分	6:22	22:55	
	緑巡回	9	1時間35分	8:08	17:43	
	豊明団地線 (前後—藤田保健衛生大学病院 豊明団地経由)	34	13分	6:32	22:28	対距離制
	豊明団地線 (前後—地下鉄徳重 藤田保健衛生大学病院経由)※	12	29分	8:45	22:12	対距離制
	豊明団地線 (前後—藤田保健衛生大学病院・ 地下鉄徳重経由—赤池駅)	19	54分	6:15	22:08	対距離制
	豊明団地線 (前後—藤田保健衛生大学病院 文化会館・勅使台経由)	8	20分	9:30	16:50	対距離制
	豊明団地線 (前後—勅使台・豊明団地経由)	5	12分	17:35	21:42	対距離制
	豊明団地線 (前後—前後 豊明団地経由)	13 (4)	17分 (9分)	5:55 (20:05)	22:49 (23:04)	対距離制
	裕福寺線 (前後—赤池駅 裕福寺経由)	6	33分	7:08	18:27	対距離制
	吉池団地線 (前後—前後 豊明市役所・吉池団地経由)	25 (1)	24分 (12分)	6:36 (22:03)	21:48 (22:15)	対距離制
公共施設連絡バス	西境線	8 (片道)	1時間18分	6:35	20:58	無料
	東境線	8 (片道)	1時間	6:45	20:50	
	一ツ木線	5 (片道)	47分	7:05	20:52	
	東刈谷線	8 (片道)	1時間4分	6:40	20:20	
	小垣江線	8 (片道)	1時間4分	6:40	20:26	
	依佐美線	5 (片道)	56分	6:50	20:44	
ふ ば れ あ い	東コース	7	1時間5分	7:30	18:35	1乗車100円
	北コース	7	58分	7:30	18:28	
	西コース	7	1時間19分	7:15	19:04	
	南コース	7	1時間14分	7:30	18:44	
	中央コース	10	43分	8:00	18:43	
か じ い ゆ 君 ん	西コース	12	46分	7:05	19:21	1乗車100円
	北コース	18	1時間5分	7:05	19:37	
	南北コース	9	1時間	7:15	19:18	
ひ ま わ り バ ス	1号循環型(右回り) Aコース	4	1時間12分	12:54	18:28	1乗車100円
	1号循環型(右回り) Bコース	3	1時間30分	7:45	12:49	
	2号循環型(左回り) Aコース	3	1時間11分	12:04	19:38	
	2号循環型(左回り) Bコース	4	1時間38分	8:15	18:22	
	3号 Aコース	5	44分 (36分)	7:45	17:13	
	3号 Bコース	5	55分	8:26	18:13	
	3号 Cコース	2	17分	9:26	18:13	

(資料；名鉄バス、名古屋市交通局、刈谷市、大府市、東郷町、豊明市 各ホームページより)

※豊明線、吉池団地線 () 内は唐竹公園行、中央公園行

※名古屋市営バスは起点となるバス停の藤田保健衛生大学病院の運行本数及び発時刻

名鉄バスは起点となるバス停の前後の発本数及び発時刻

公共施設連絡バス：各路線の起点となるバス停の発本数を運行本数及び発時刻

ひまわりバス3号Aコース () 内は1便目の起点となるバス停の若王子からの運行所要時間

③タクシー

- 豊明市周辺に所在するタクシー営業所の保有車両数の合計は、536 台となっています。

表 豊明市及び周辺市町に所在するタクシー営業所の保有車両台数

所在地	特大	大型	中型	小型	福祉車両	合計
豊明市	0	0	68	5	0	73
緑区	0	0	200	25	0	225
東郷町	0	0	39	0	0	39
みよし市	0	0	18	0	0	18
刈谷市	4	0	170	0	7	181
合計	4	0	495	30	7	536

(資料;H27 名古屋タクシー協会、愛知県タクシー協会 各ホームページより)

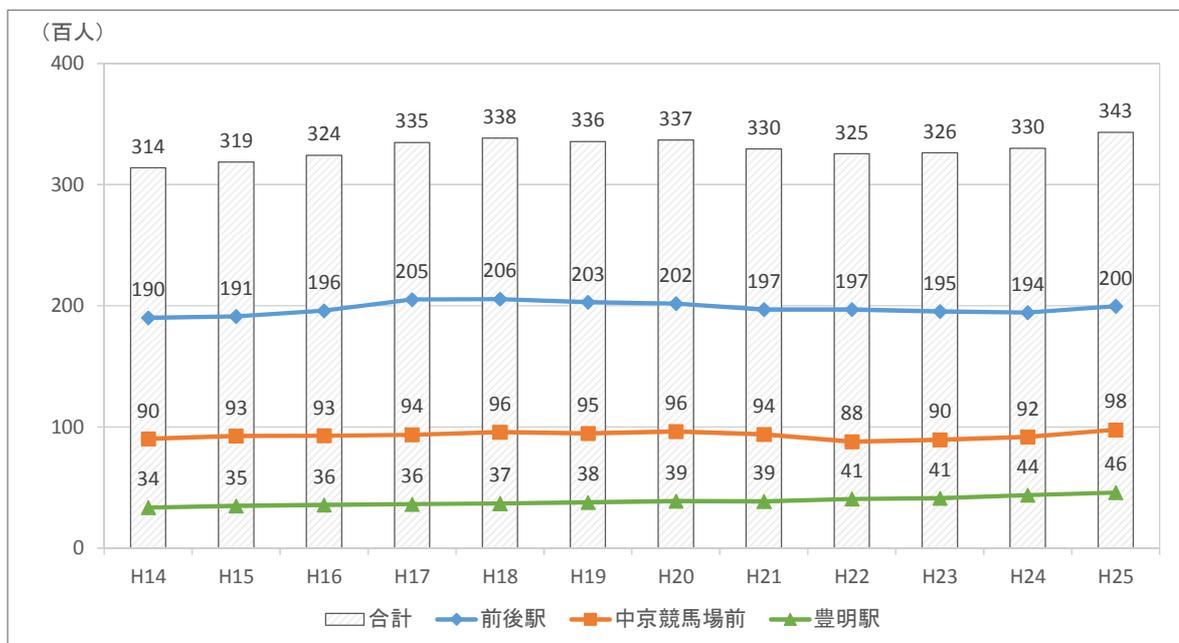
(2) 利用実態の整理

鉄道及びバスの利用実態を以下に整理します。

① 鉄道

- 鉄道各駅の年間乗車人員は、平成18年度から22年度にかけてやや減少傾向にありましたが、平成23年度以降は増加傾向にあります。

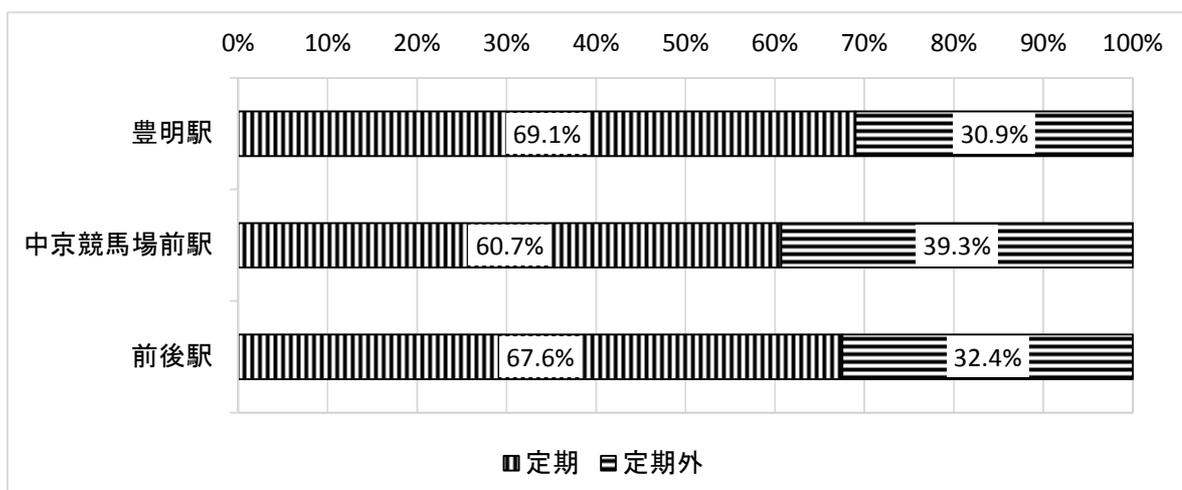
図 鉄道各駅の年間乗車人員の推移



(資料；とよあけの統計)

- 豊明駅及び前後駅は利用者の約7割が定期利用となっており、中京競馬場前駅はやや低く、約6割が定期利用となっています。

図 駅別定期率 (H25)



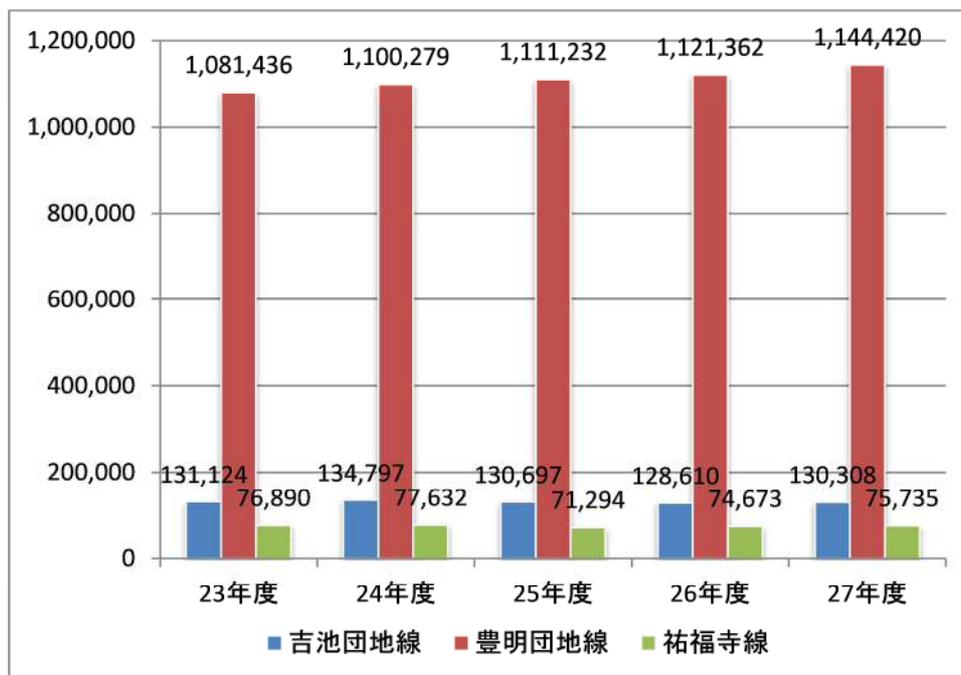
(資料；とよあけの統計)

②バス

a) 路線バス

- 名鉄バスの利用者数は、横ばいもしくは微増傾向にあります。

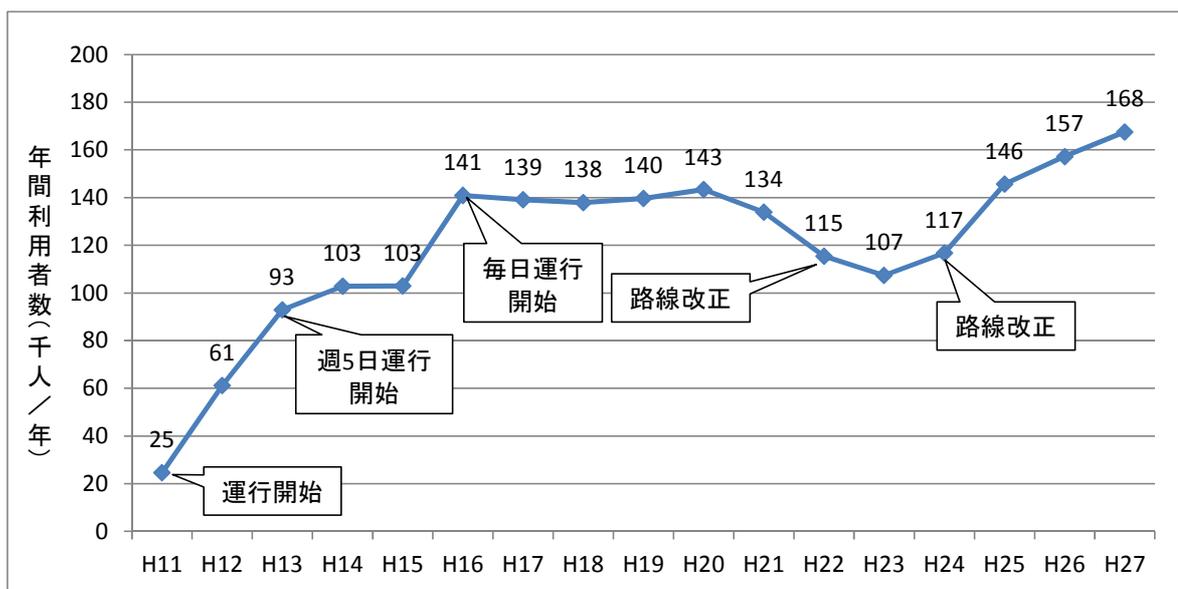
図 名鉄バスの路線別年間利用者数の推移



b) ひまわりバス

- ひまわりバスの利用者数は、サービス水準の向上とともに増加し、平成 23 年にかけては減少しましたが、平成 25 年の路線改正以降、再び増加傾向にあります。

図 ひまわりバス年間利用者数の推移



(資料;とよあけの統計)

【資料2-1】

豊明市公共交通に関する アンケート結果報告

平成 28 年 10 月

豊 明 市

目 次

1) アンケートの実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象 及び 調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 数値の統計的な取り扱いについて	1
2) アンケートの詳細結果	2
(1) 回答者自身のことについて	2
(2) 普段の外出について	9
(3) バスの認知度について	16
(4) 鉄道の利用について	17
(5) バスの利用について	20
(6) タクシーの利用について	28
(7) 公共交通に対する満足度について	32
(8) バスで行きたい施設について	33
(9) ひまわりバスの社会的な機能や役割について	41
(10) 公共交通の費用負担と維持のあり方について	46
3) 調査票	48

1) アンケートの実施概要

(1) 調査の目的

名鉄名古屋本線、名鉄バス、名古屋市営バス、ひまわりバス、タクシーといった市内の公共交通の総合的な計画である「豊明市地域公共交通網形成計画」の策定にあたっての基礎資料として、市民の日常的な移動実態やよく利用する施設、公共交通の利用が可能となる条件、バス交通維持のあり方に関する意向等を把握することを目的とする。

(2) 調査対象 及び 調査方法

項目	内容
調査対象	豊明市に居住する 15 歳以上の市民
配布数	3,000 通
抽出法	無作為抽出
調査方法	配布・回収ともに郵送方式
調査時期	平成 28 年 9 月 1 日～9 月 15 日
調査地域	豊明市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000	1,387*	46.2%

※郵送回収：1,250、インターネット：137

(4) 数値の統計的な取り扱いについて

比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100%を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記した。

設問に対する回答者の母数は“n=〇”として表記した。

2) アンケートの詳細結果

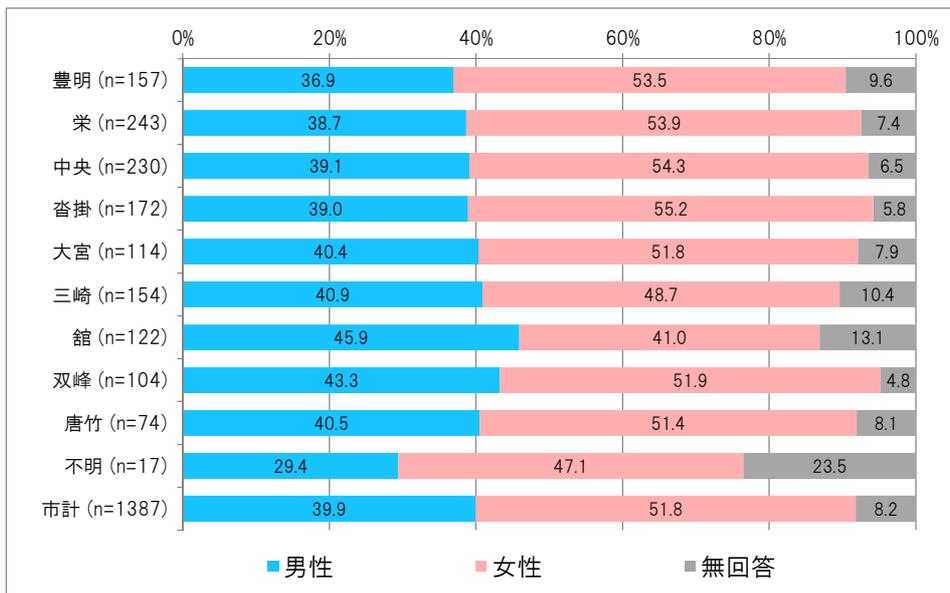
(1) 回答者自身のことについて

※コメント欄の“■”は市全体の状況を示し、“□”は地区ごとの状況を示す

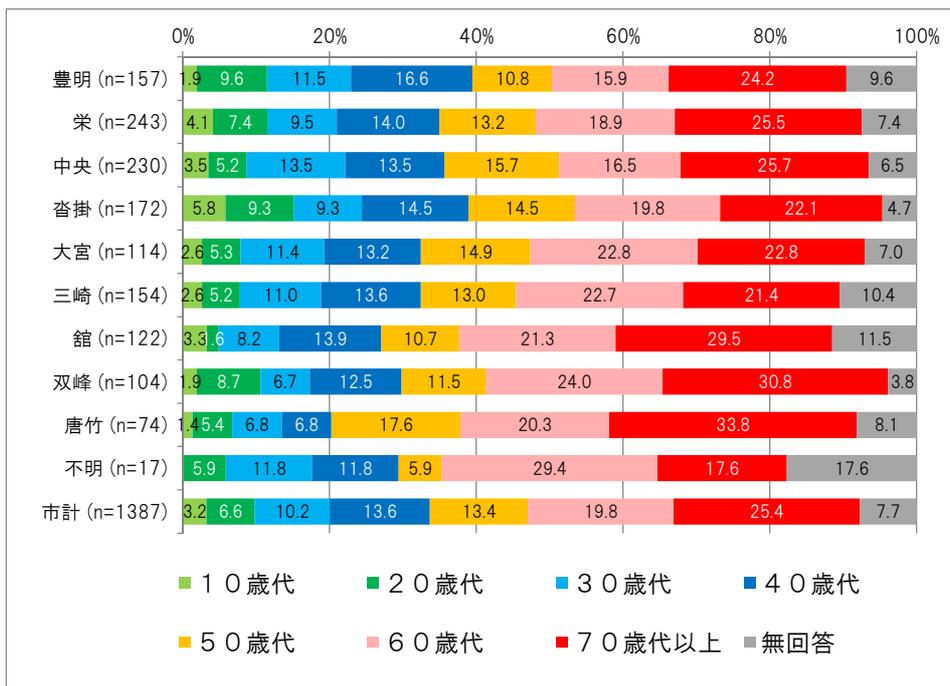
①性別・年齢・職業・お住まいの小学校区【問1①②③④】

- 性別は、いずれの地区も「女性」の割合が高い。
- 年齢は、幅広い年齢層となっている。
- 館地区、双峰地区、唐竹地区では、「60歳以上」が過半数を占める。
- 職業は、「会社員・団体職員・公務員」が約27%と最も高い。
- 館地区では、「無職」が3割を占める。

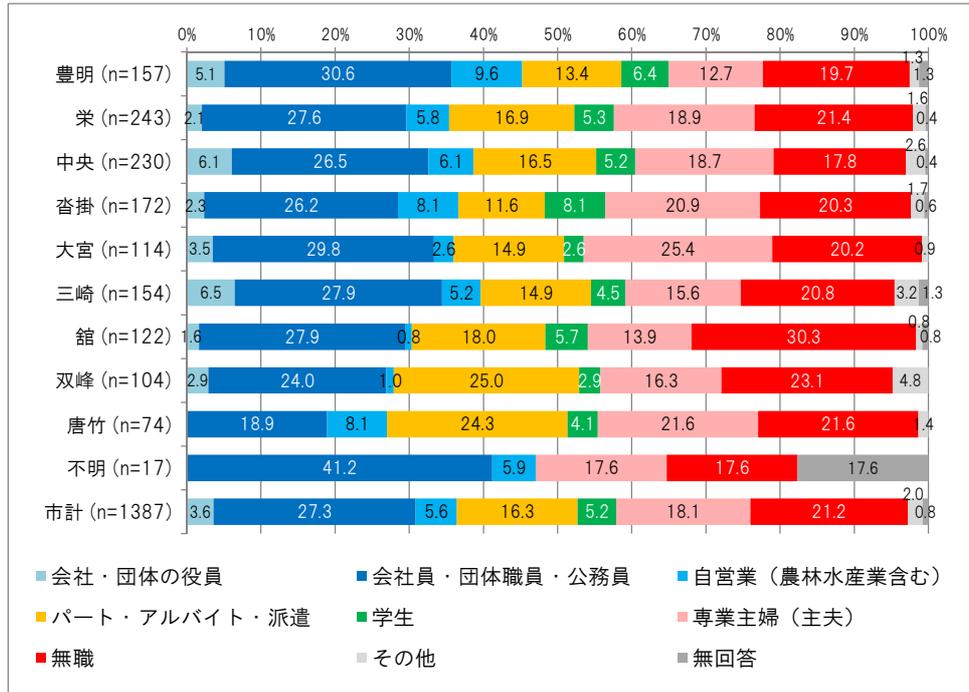
▼性別



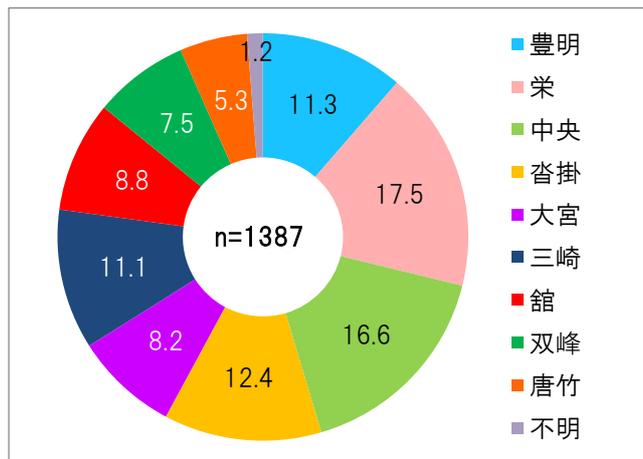
▼年齢



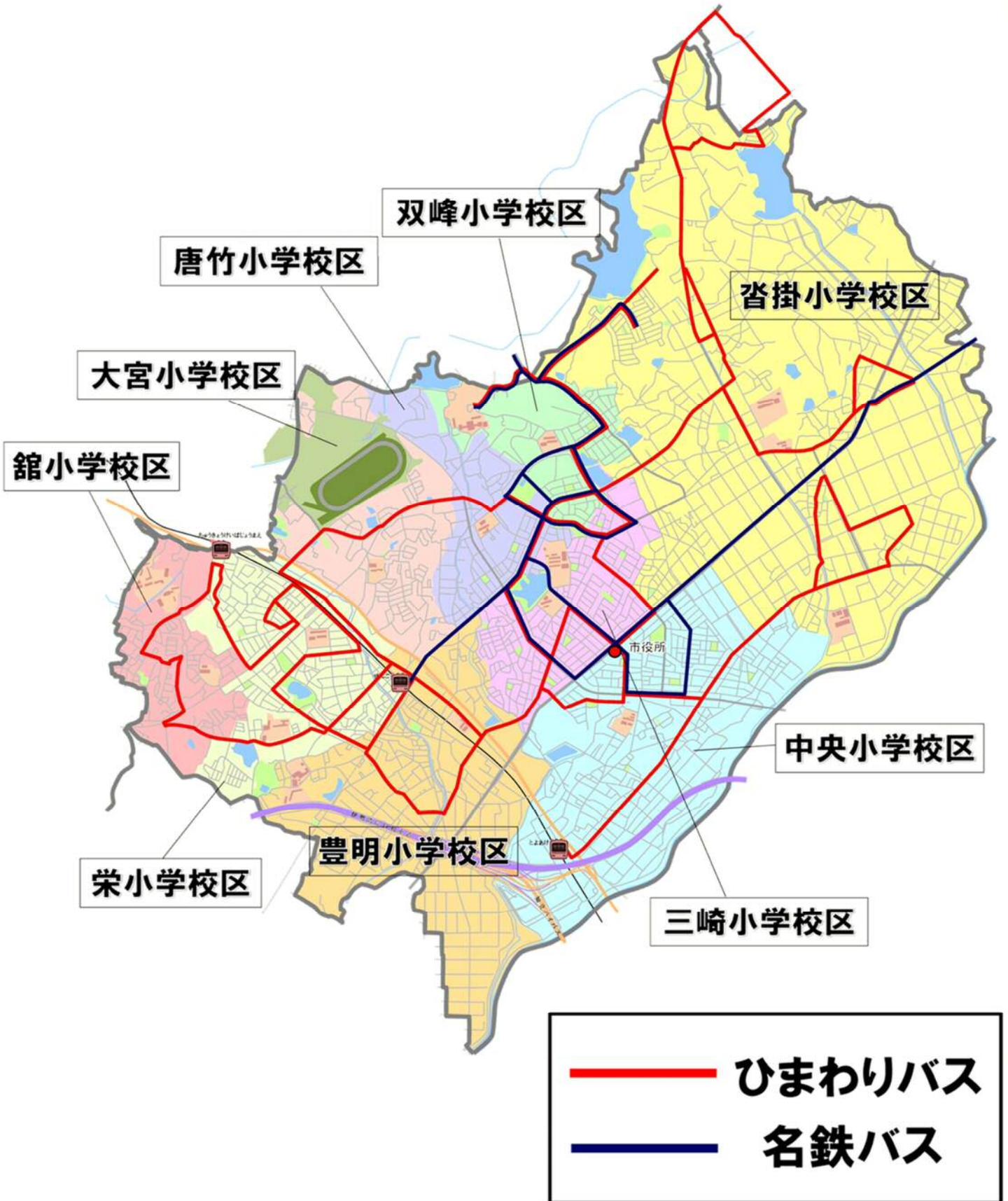
▼職業



▼お住まいの小学校区



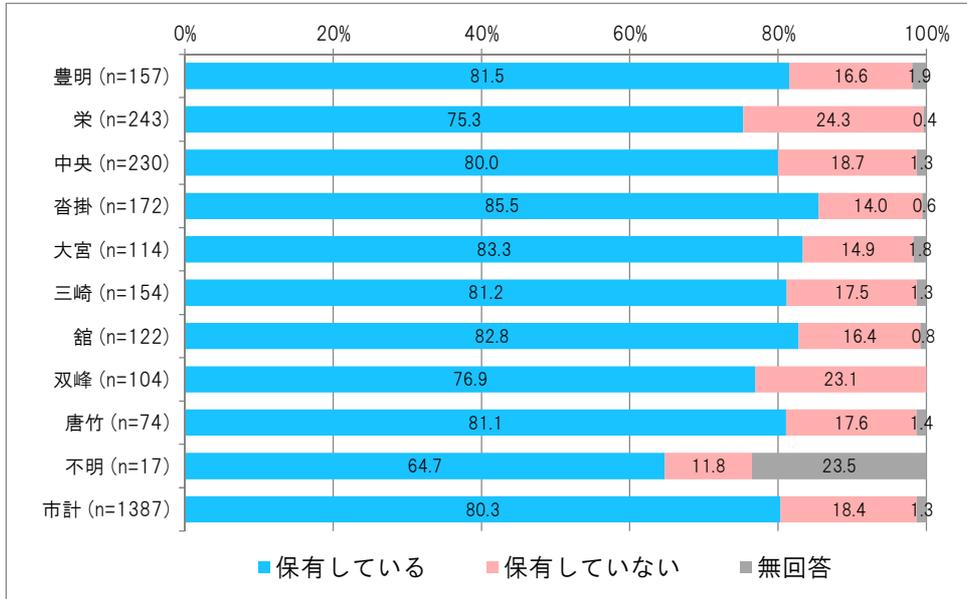
【参考】豊明市内の各小学校区とバス路線



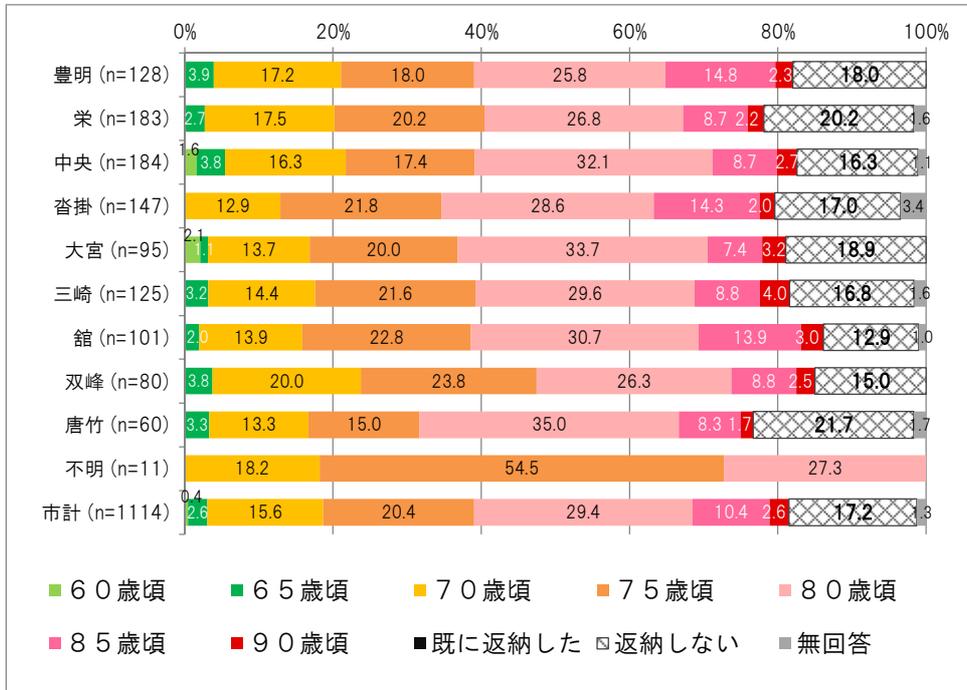
②運転免許証の保有状況・運転免許証の返納年齢・返納後の移動手段【問1⑤⑥⑦】

■運転免許証を「保有している」が約80%を占める。
 ■運転免許証の返納年齢は、「80歳頃」が約29%と最も高い。「返納しない」が約17%存在する。
 ■運転免許証の返納後の移動手段は、「鉄道」「バス」の公共交通機関の利用が、約71%を占める。
 □沓掛地区では、「家族の送迎」が約15%を占める。

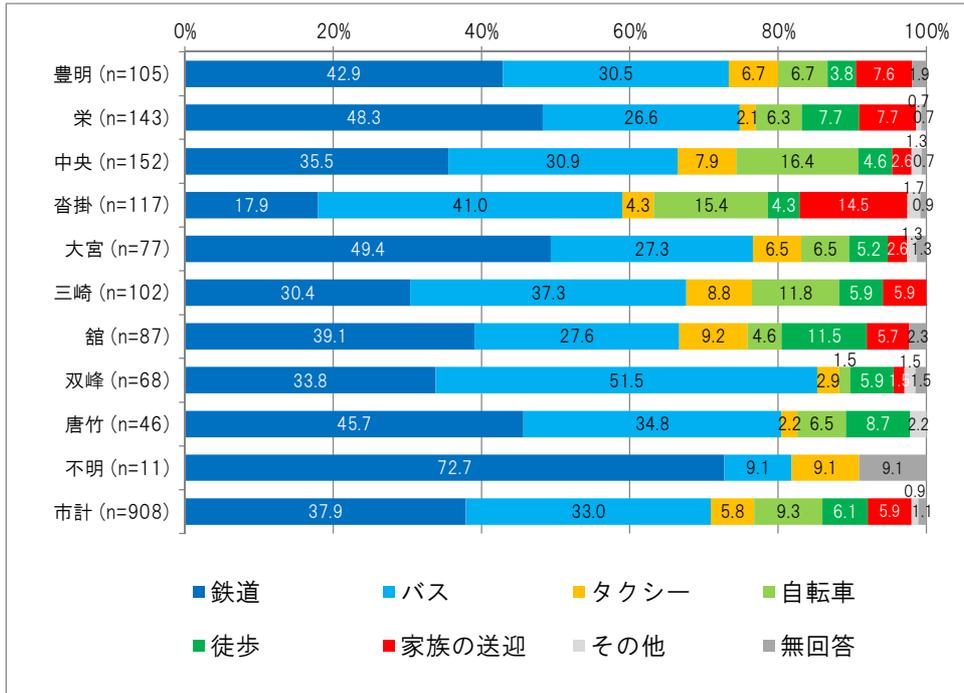
▼運転免許証の保有状況



▼運転免許証を返納しようと思う年齢



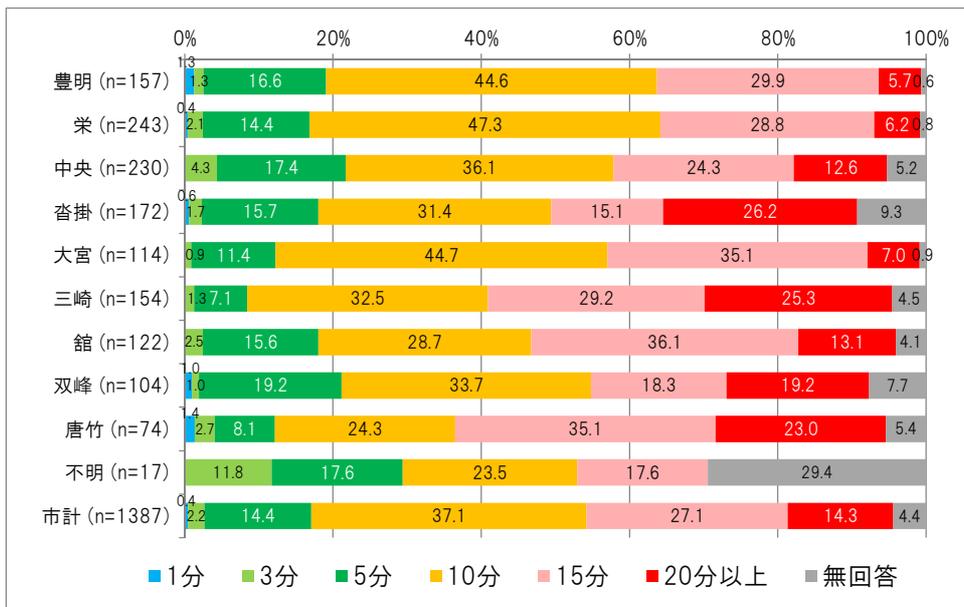
▼運転免許証を返納した後にご利用したい又は利用している主な移動手段



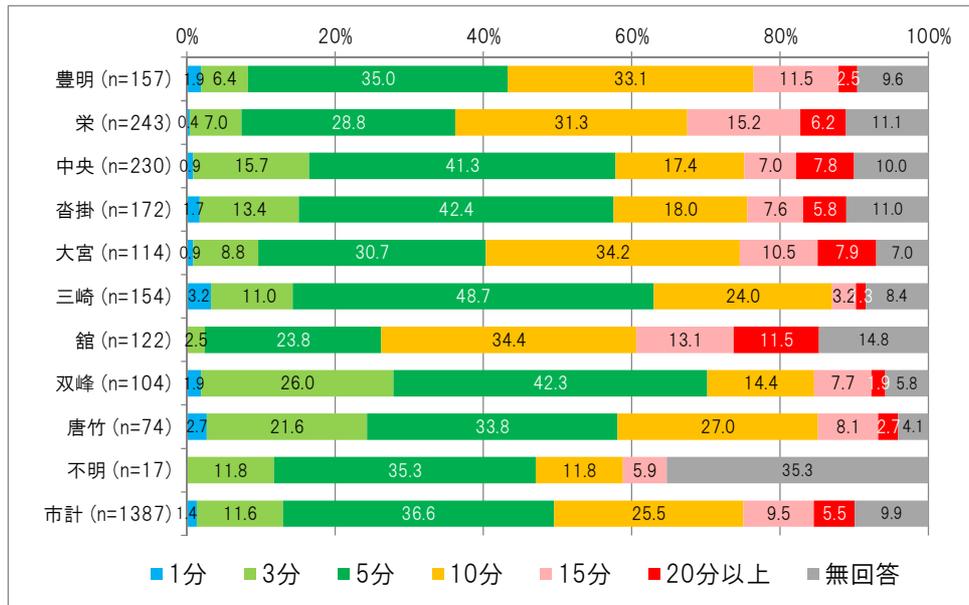
③移動してもよいと思う、駅やバス停までの徒歩での所要時間【問2】

- 名鉄名古屋本線では、「10分」が約37%と最も高いが、「15分以上」も約41%を占める。
- 名鉄バス・名古屋市営バスでは、「5分」が約37%を占める。
- 館地区の名鉄バス・名古屋市営バスでは、「10分以上」が59%を占める。
- ひまわりバスでは、「5分まで」が約68%を占める。

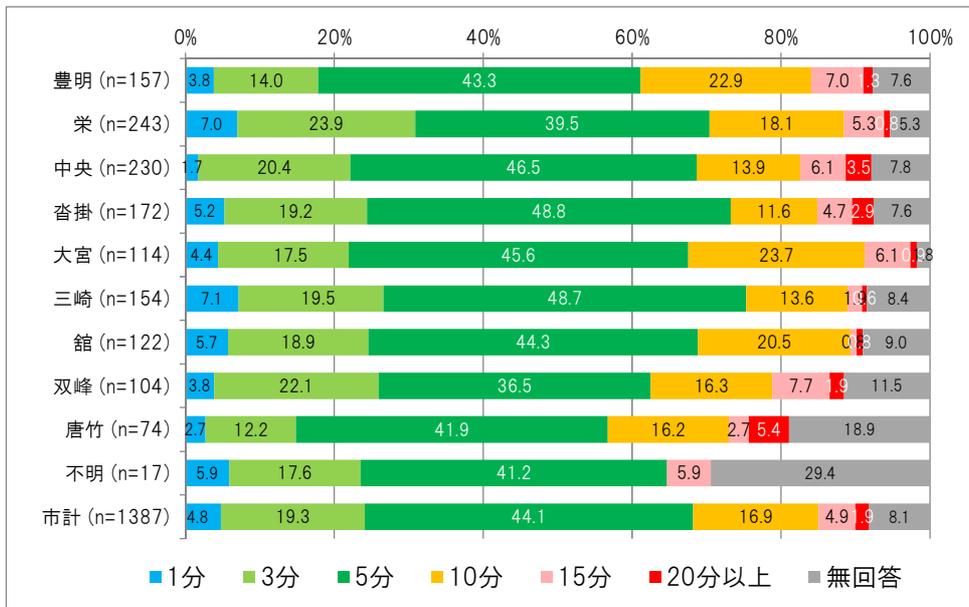
▼名鉄名古屋本線



▼名鉄バス・名古屋市営バス



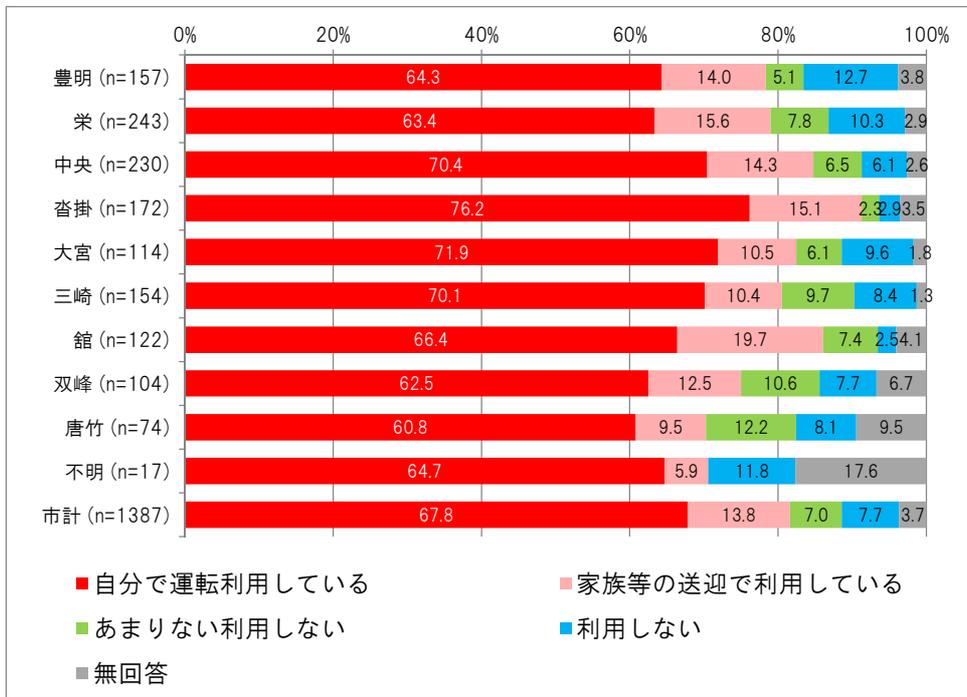
▼ひまわりバス



④ 普段の自動車利用について【問3】

■ 「自分で運転利用している」が約68%を占める。
 □ 沓掛地区では、「自動車を利用している」が約91%を占める。

▼ 普段の自動車利用について

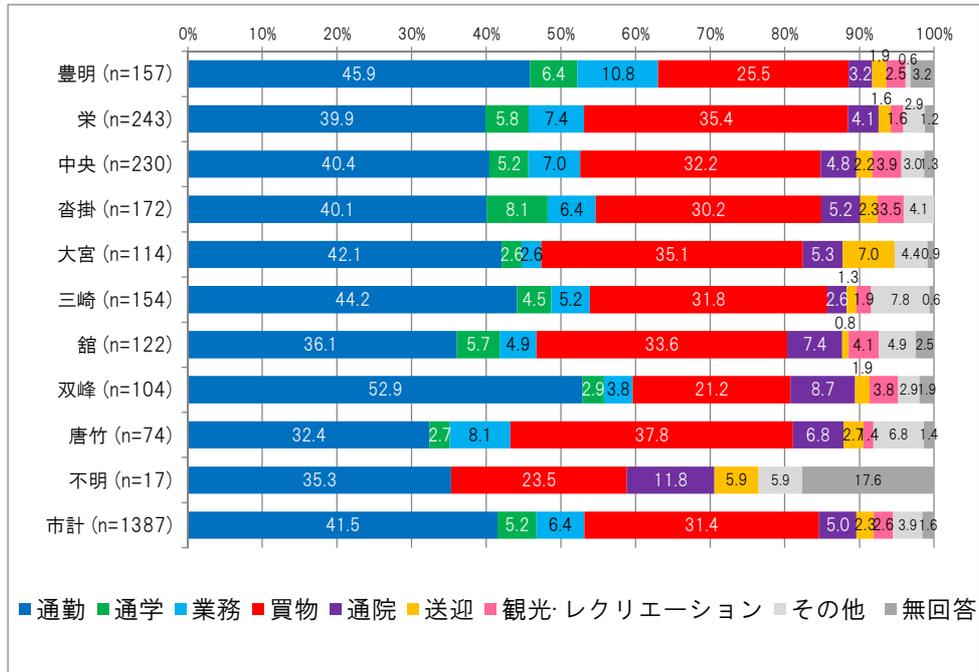


(2) 普段の外出について

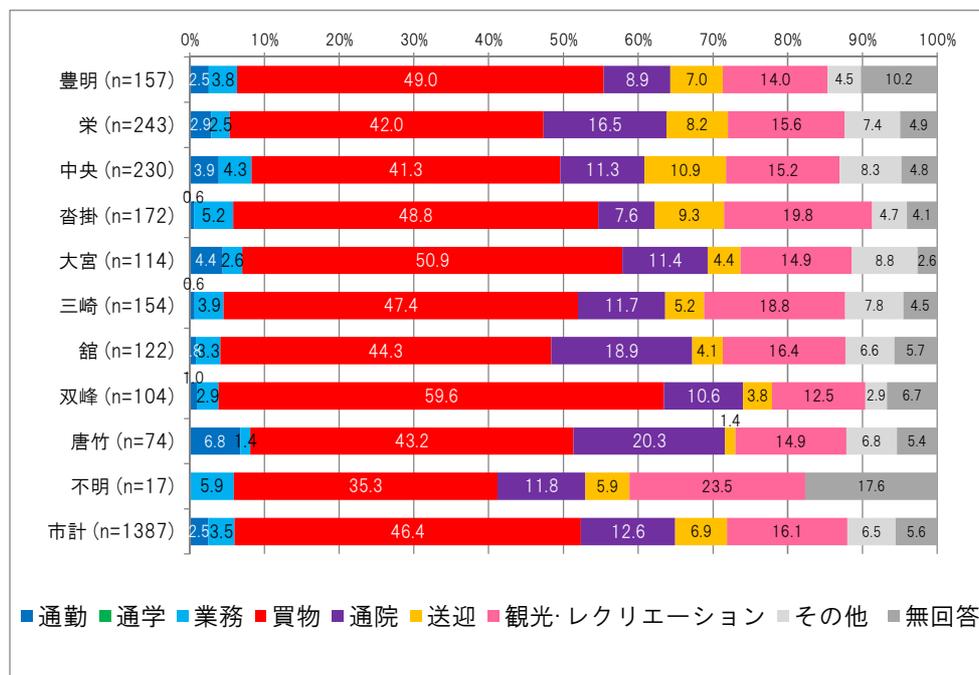
①目的【問4】

■最も多いおでかけの目的は、「通勤」が約42%と最も高く、次いで「買物」が約31%を占める。
 次に多いおでかけの目的は、「買物」が約46%を占める。
 □双峰地区の最も多いおでかけの目的は、「通勤」が約53%を占める。

▼最も多いお出かけの目的



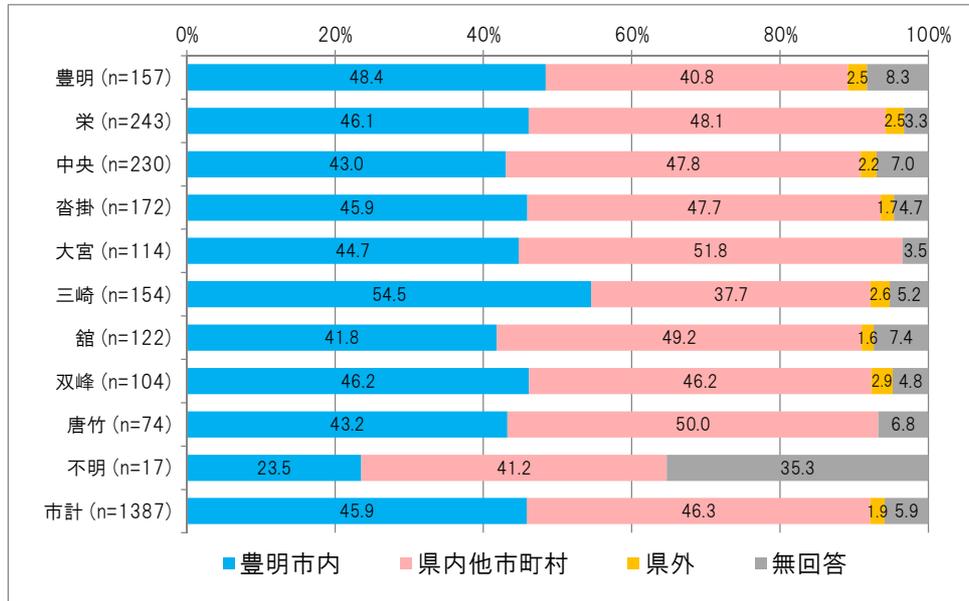
▼次に多いお出かけの目的



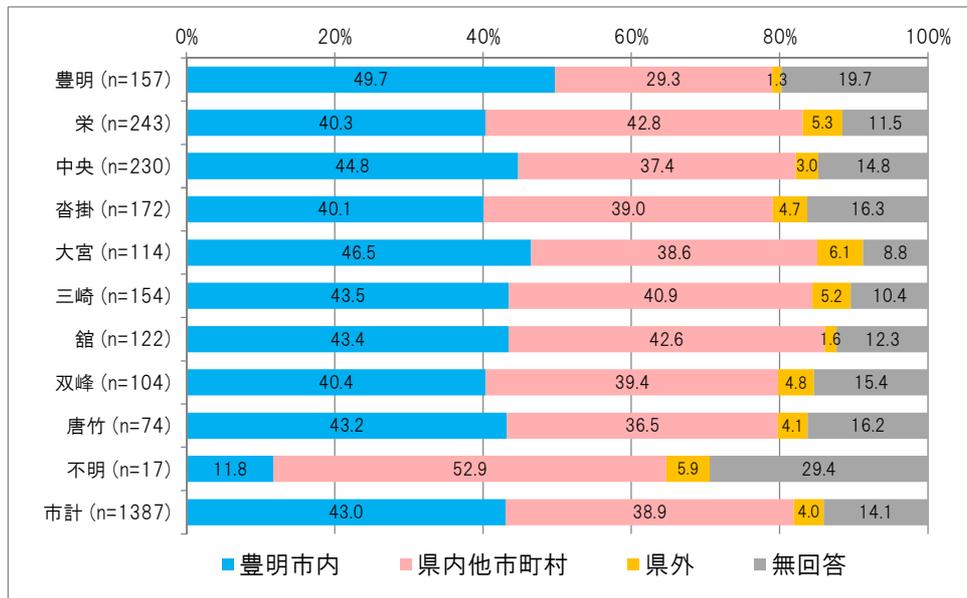
②目的地【問4】

■最も多いおでかけの目的地は、「豊明市外」が約48%を占めており、豊明市内をやや上回る。
 次に多いおでかけの目的地は、「豊明市内」が約43%を占めており、豊明市外をやや上回る。
 □三崎地区の最も多いおでかけの目的地は、「豊明市内」が約55%を占める。

▼最も多いお出かけの目的地



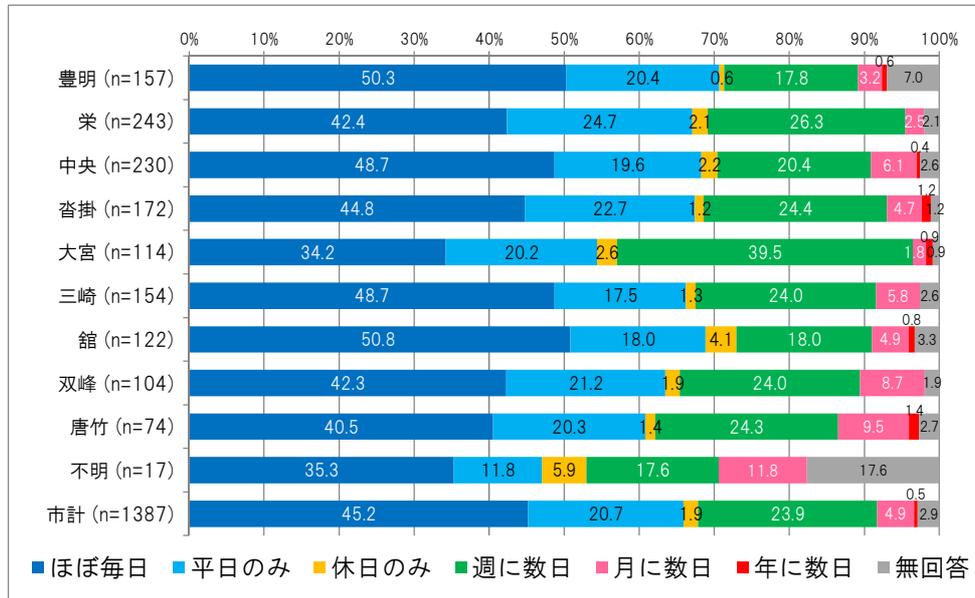
▼次に多いお出かけの目的地



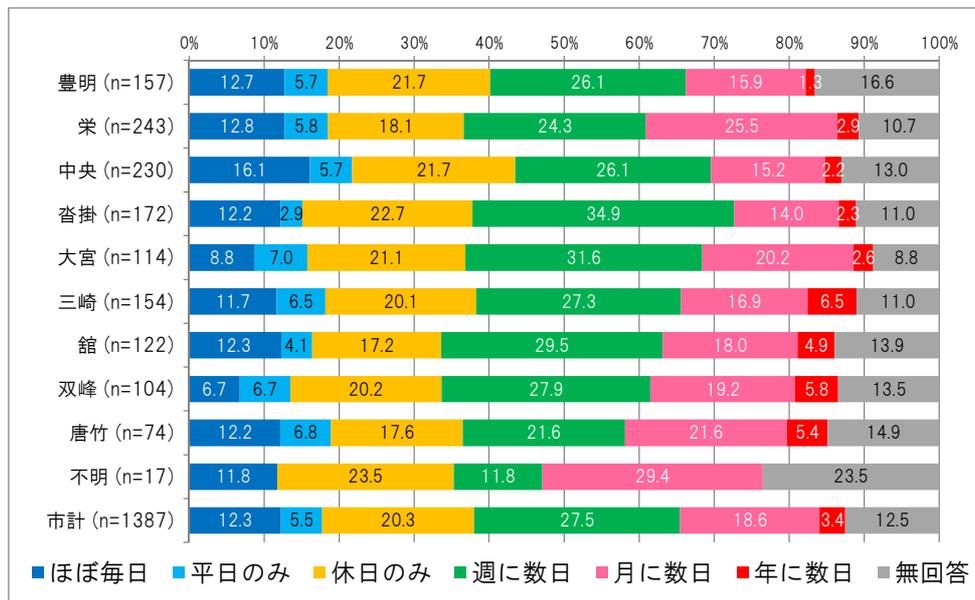
③外出頻度【問4】

■最も多いおでかけの頻度は、「週5日以上」が約66%を占める。
 次に多いおでかけの頻度は、「週に数日」が約28%、次いで「休日のみ」が約20%を占める。
 □大宮地区の最も多いおでかけの頻度は、「週に数日」が約40%を占める。

▼最も多いお出かけの外出頻度



▼次に多いお出かけの外出頻度



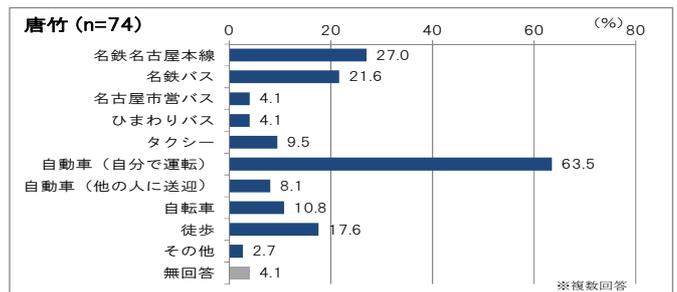
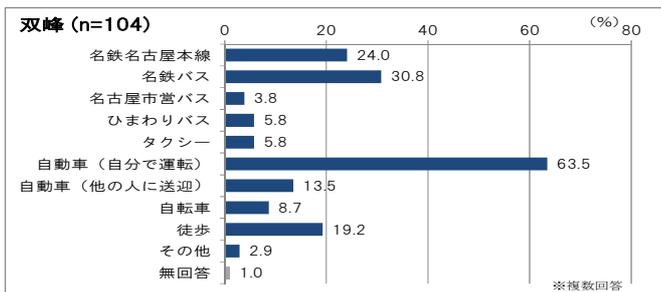
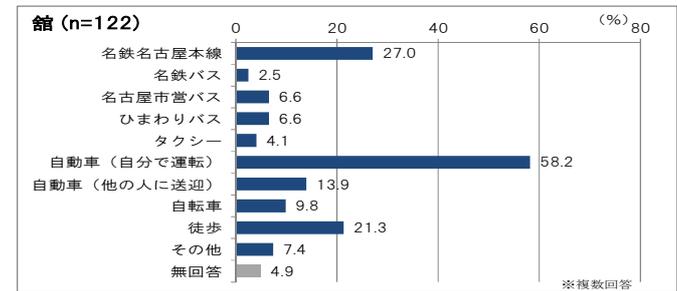
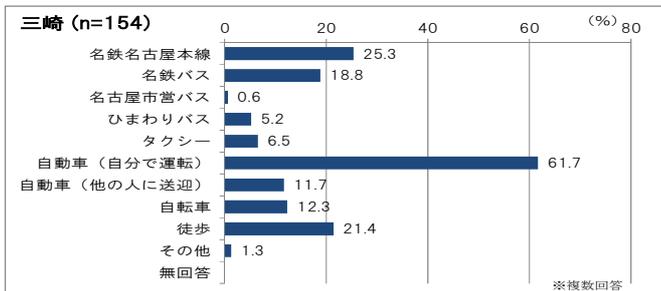
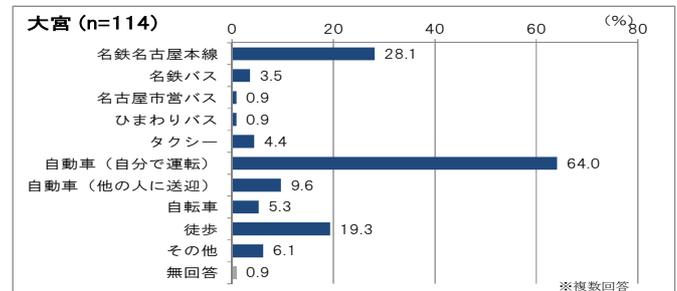
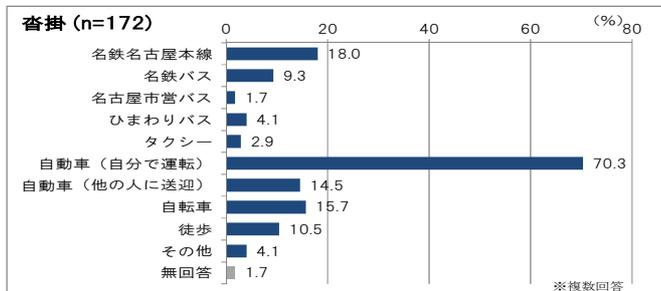
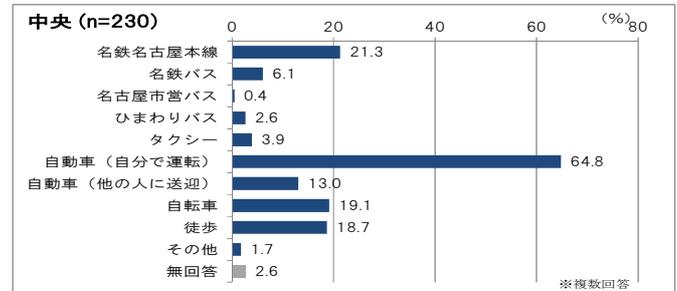
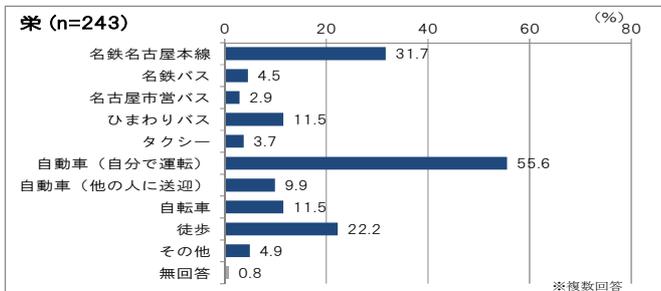
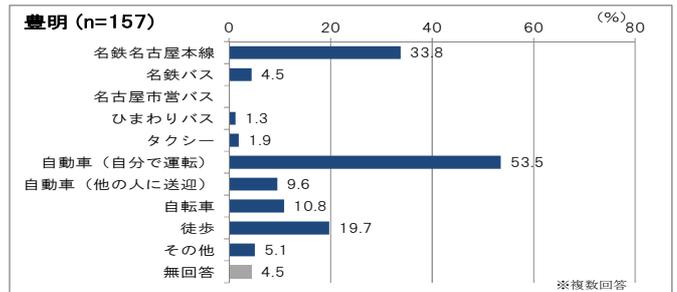
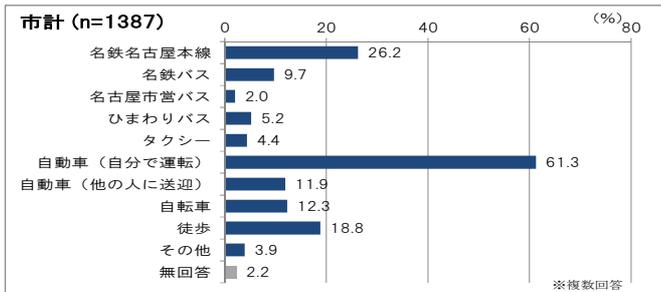
④移動手段【問4】 ※複数回答

■最も多いおでかけでは、「自分で運転」が約61%を占め、次いで「名鉄名古屋本線」が約26%を占める。次に多いおでかけでは、「自分で運転」が約53%を占め、次いで「名鉄名古屋本線」が約20%を占める。

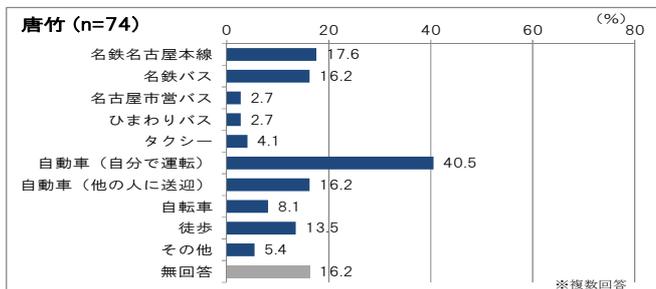
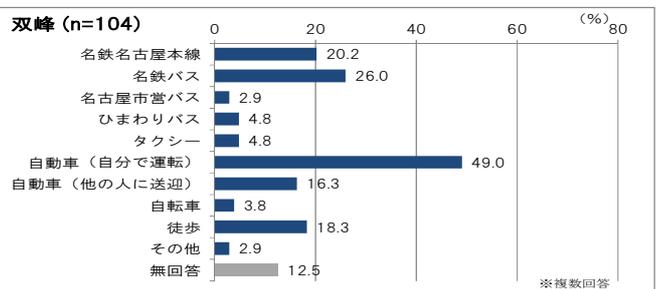
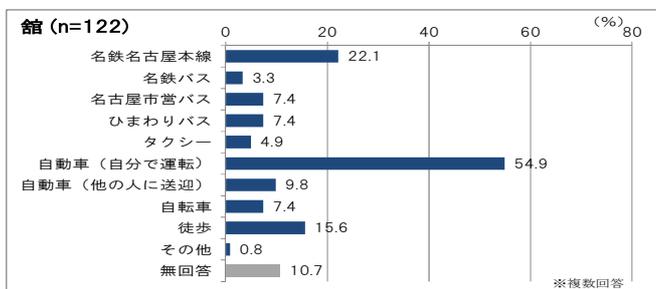
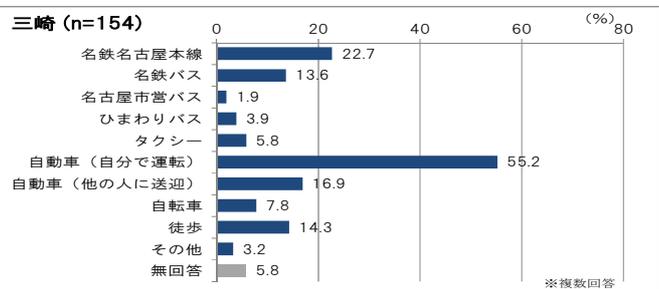
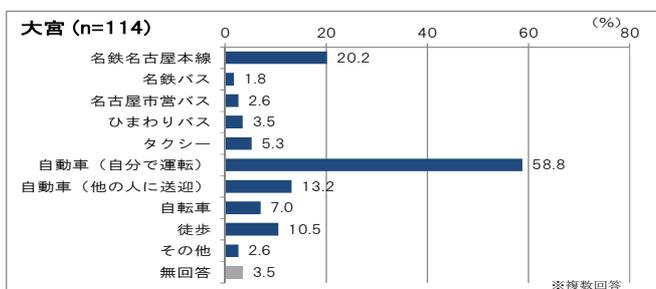
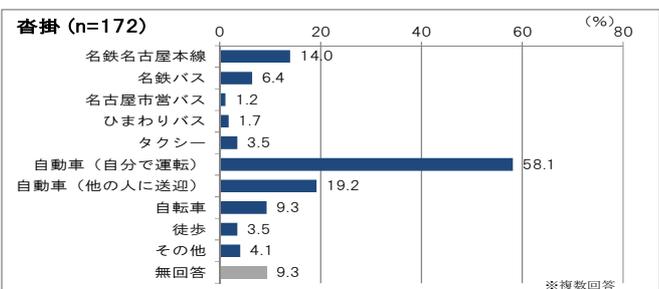
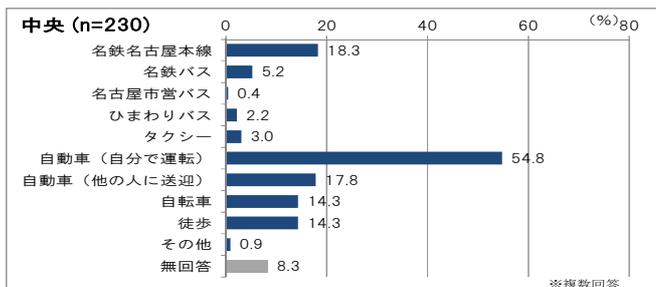
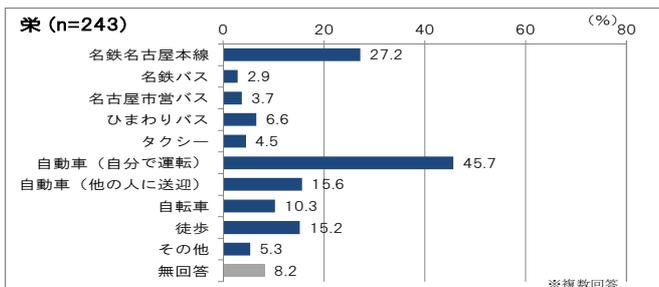
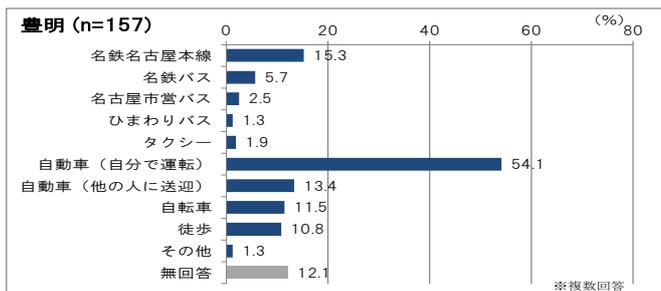
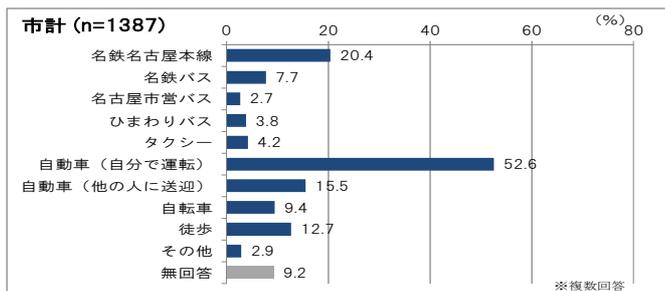
□沓掛地区の最も多いおでかけでは、「自分で運転」が約70%を占める。

□双峰地区では、「名鉄バス」の利用が、「名鉄名古屋本線」を上回る。

▼最も多いお出かけの移動手段



▼次に多いお出かけの移手段

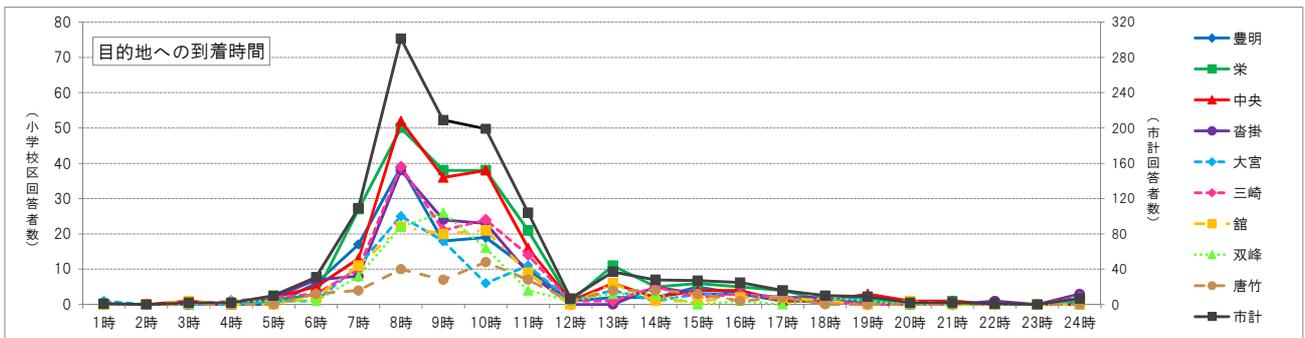


⑤目的地への到着時刻、目的地からの出発時刻【問4】

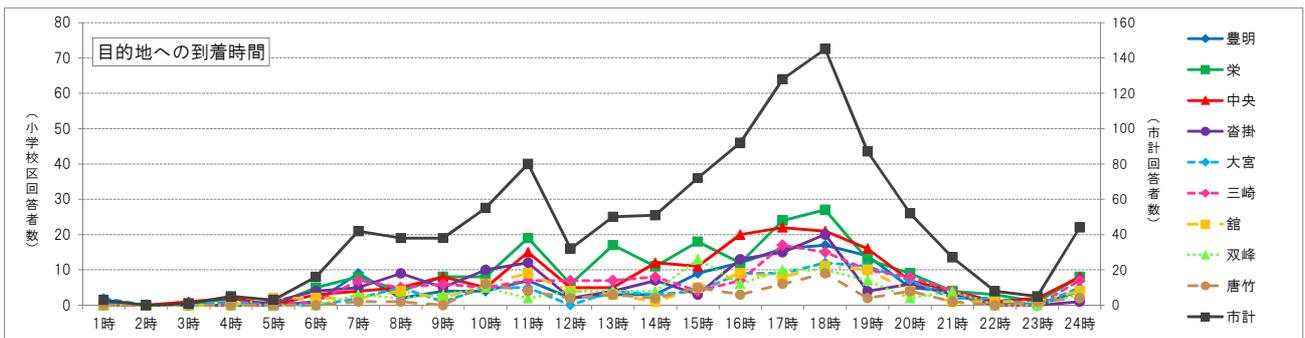
■最も多いおでかけの到着時間は「8時」をピークに「8～10時」が高く、出発時間は「18時」をピークに「16～19時」が高い。「11時」も午前中のピークとなっている。

次に多いおでかけでの到着時間は「10時」がピークとなっており、「13時」も午後のピークとなっている。出発時間は「16時」をピークに「15～18時」が高く、「11時」も午前中のピークとなっている。

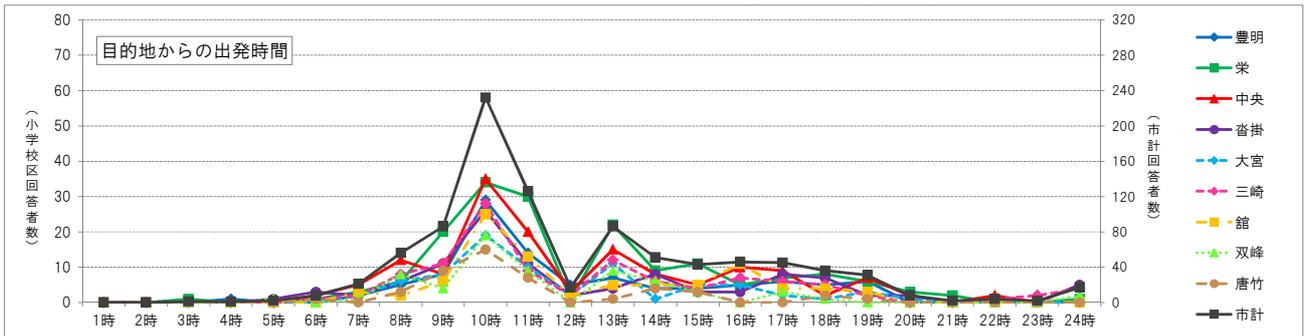
▼最も多いお出かけの目的地への到着時刻



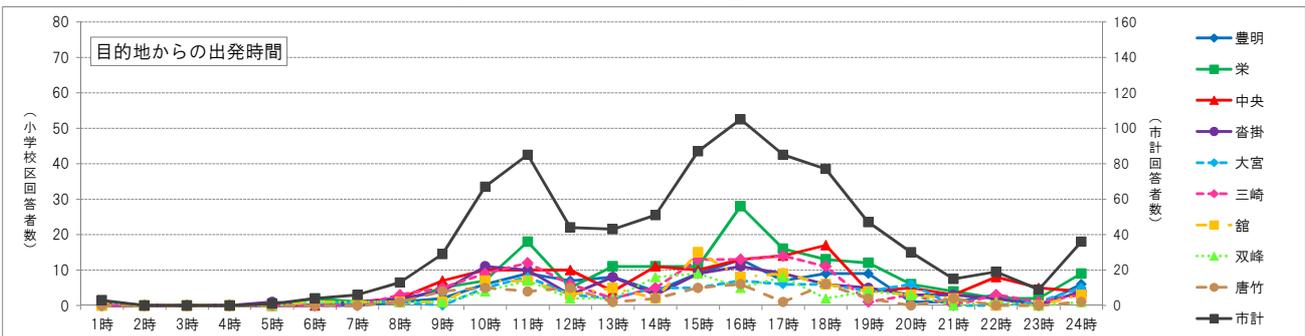
▼最も多いお出かけの目的地からの出発時刻



▼次に多いお出かけの目的地への到着時刻



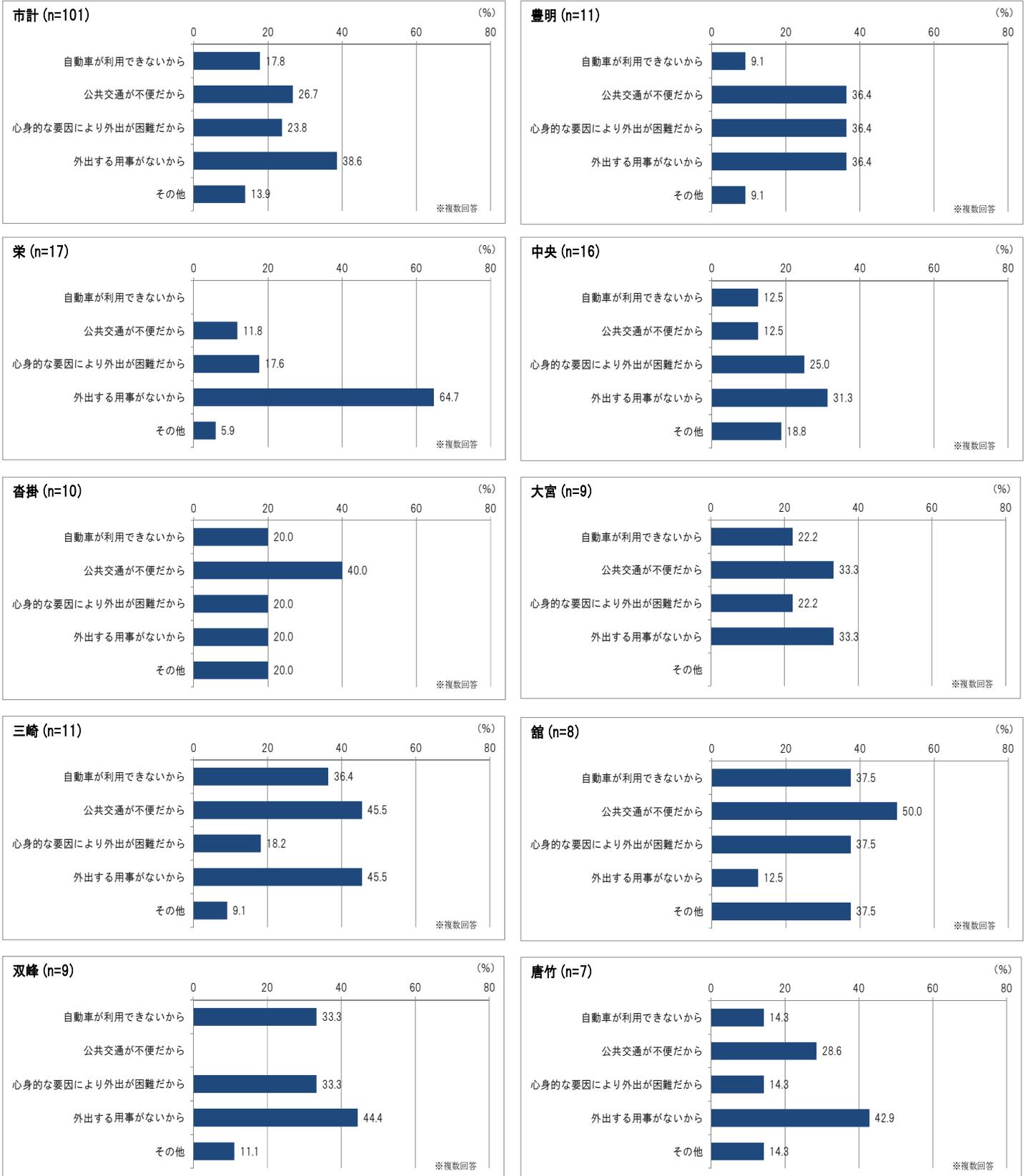
▼次に多いお出かけの目的地からの出発時刻



⑥ 普段外出しない方、できない方の理由について【問5】 ※複数回答

■ 「外出する用事がないから」が約39%を占める。
 □ 栄地区では、「外出する用事がないから」が約65%を占める。
 □ 沓掛地区、三崎地区、館地区では、「公共交通が不便だから」が40~50%を占める。

▼ 普段外出しない方、できない方の理由について



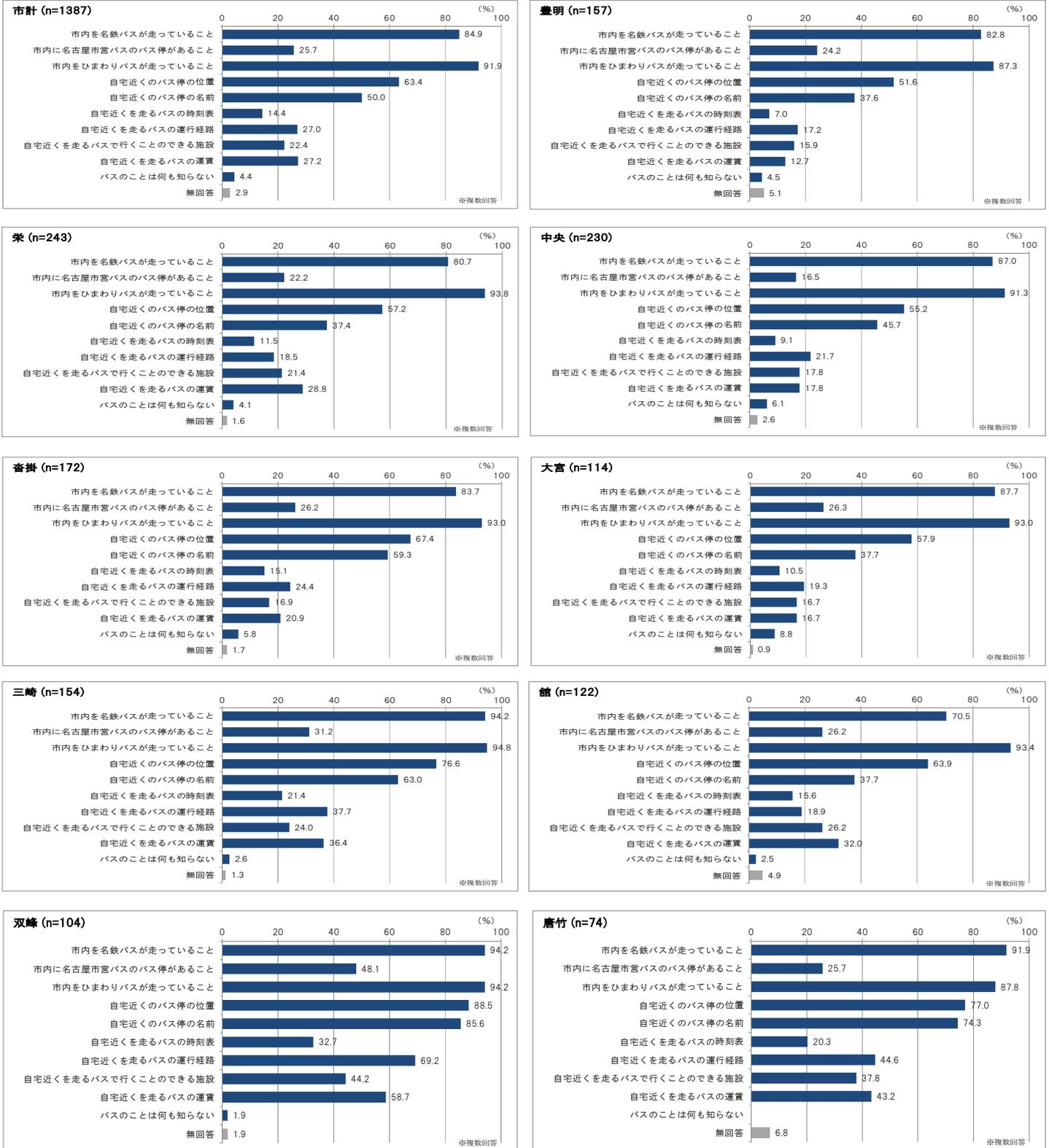
(3) バスの認知度について

① バスの認知度について【問6】 ※複数回答

■「市内をひまわりバスが走っていること」が約92%を占め、次いで「市内を名鉄バスが走っていること」が約85%を占める。

□双峰地区、唐竹地区では、全体的にバスについての認知度が高い傾向にある。

▼ バスの認知度について

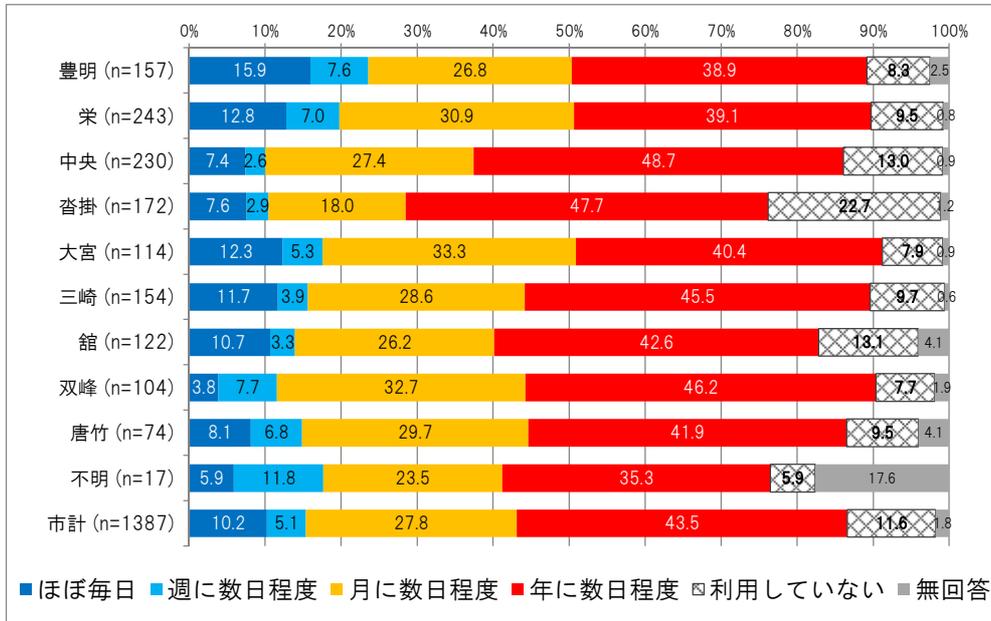


(4) 鉄道の利用について

①利用する頻度【問7①】

- 「年に数日程度」が約44%を占める。
- 沓掛地区では、「利用していない」が約23%を占める。

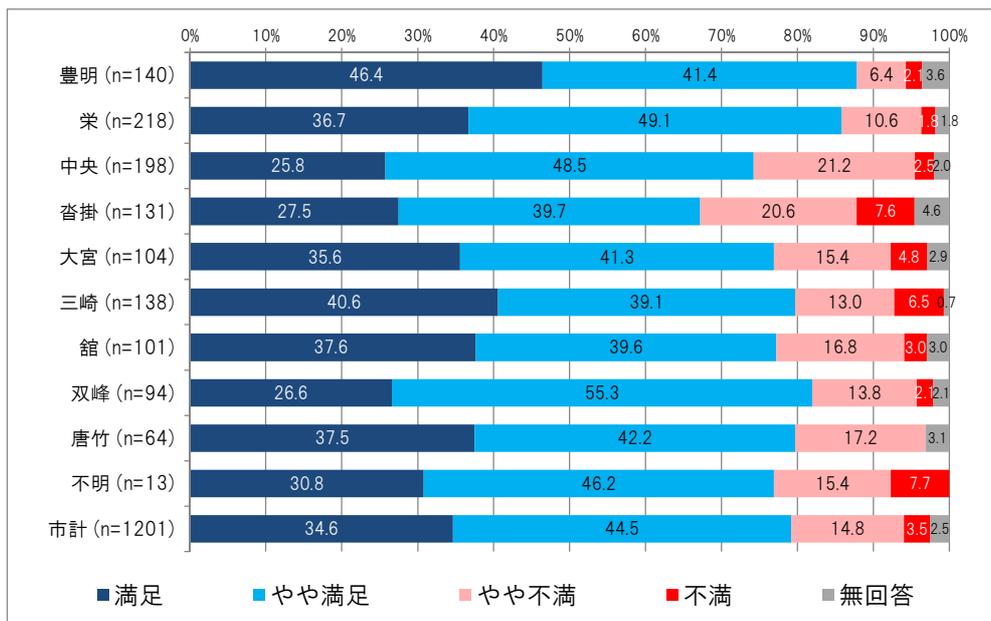
▼利用する頻度



②満足度【問7②】 ※問7①で利用していると回答した方のみ

- 「満足+やや満足」が約79%を占める。
- 沓掛地区では、「不満+やや不満」が約28%を占める。

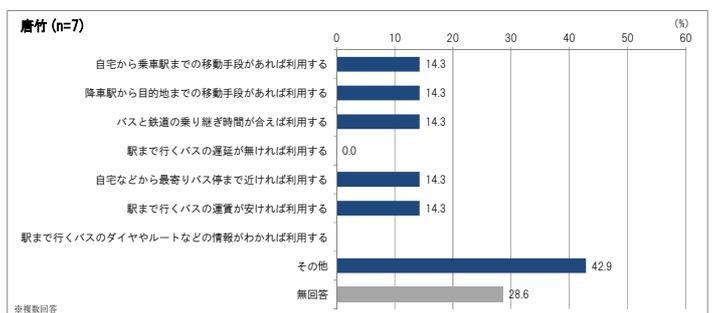
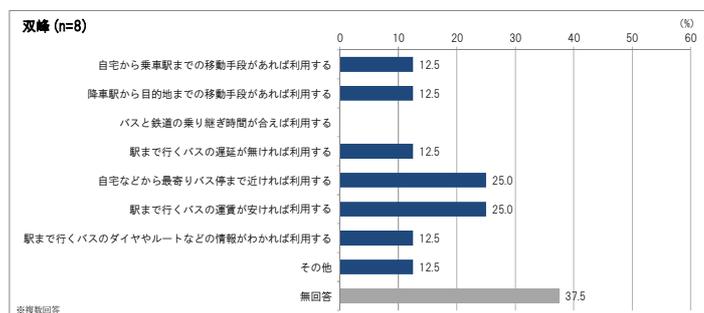
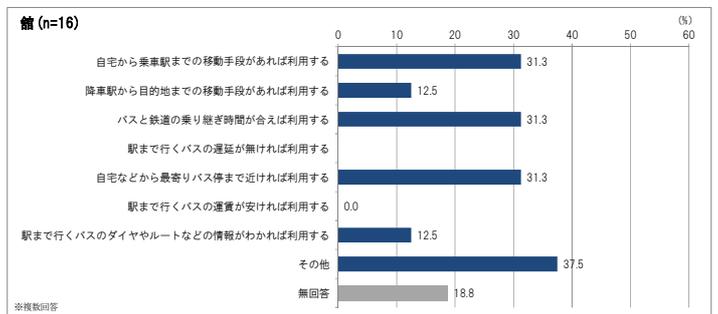
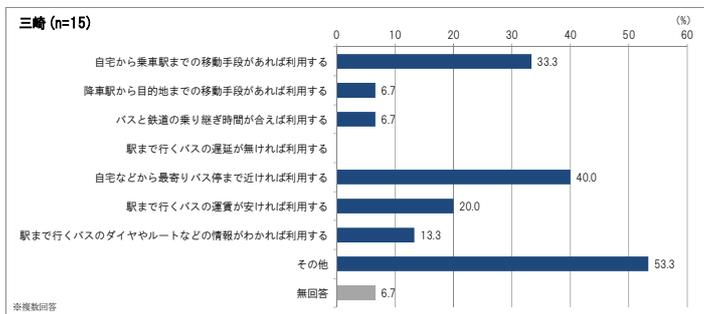
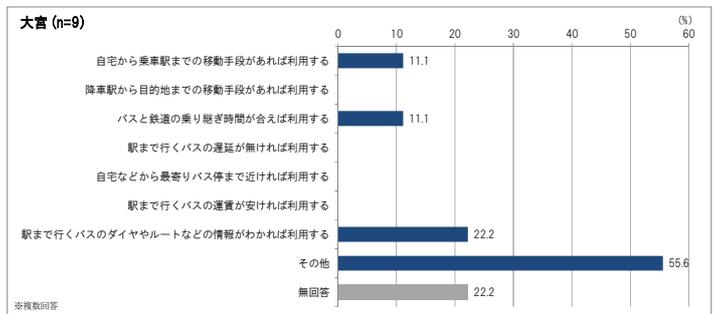
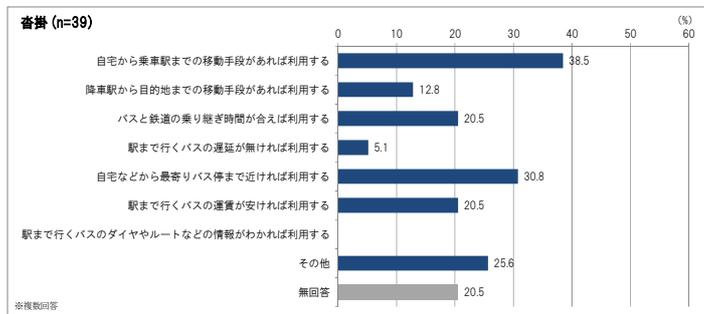
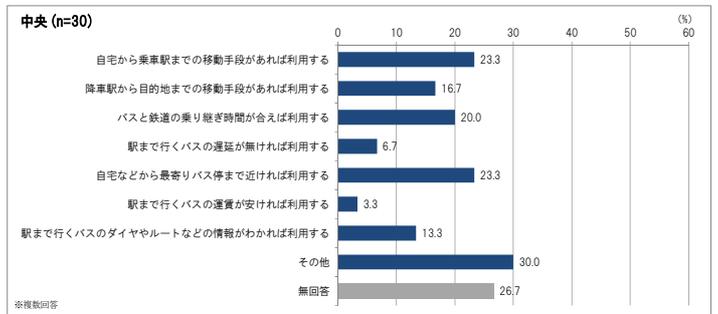
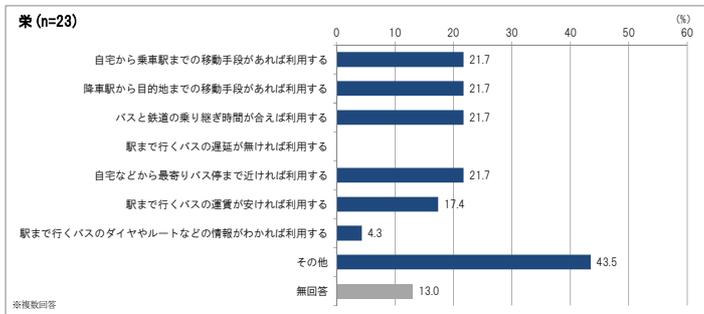
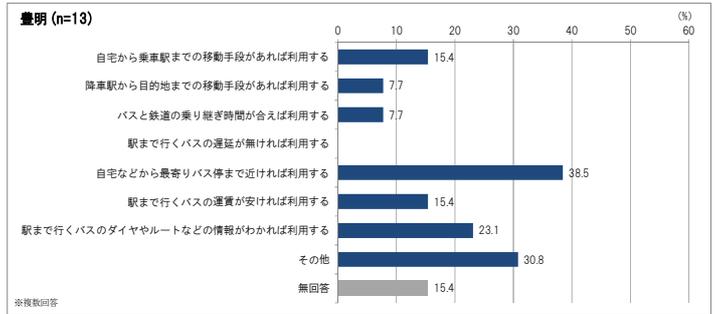
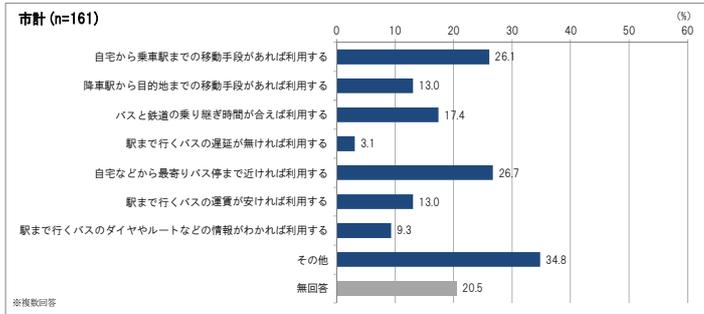
▼満足度



③利用するための条件【問7③】 ※問7①で利用していないと回答した方のみ ※複数回答

■「その他」が約35%を占める。その他の具体的内容としては、「健康上の理由」「行くところがない、必要がない」などが上位を占め、「車利用のため」「本数が少ない」等もあげられている。
 □豊明地区では、「最寄バス停まで近ければ利用する」が約39%を占め、沓掛地区では、「乗車駅までの移動手段があれば利用する」が約39%を占める。

▼利用するための条件



▼利用するための条件（その他記述）

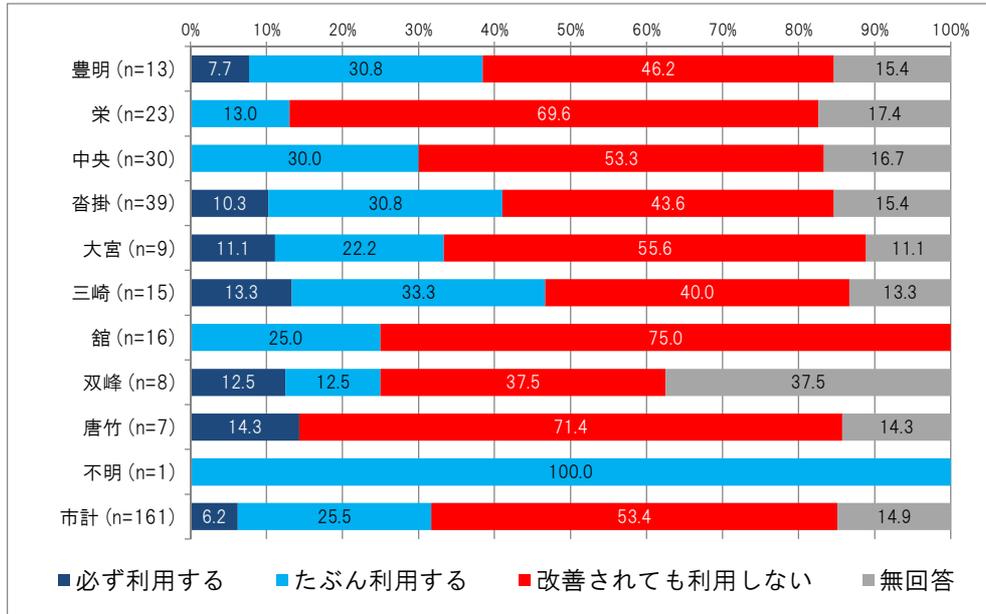
NO.	その他
1	自動車なので考えていない
2	問5の3です
3	運行本数が増えれば利用したい。
4	病気のため外出しない
5	近くて考えられない
6	目的があれば利用する
7	豊明駅に停まる本数が増えれば利用する
8	介護の為長時間家をあげられないので
9	名鉄で出掛る機会が無い
10	主人の車まで利用するため
11	遠くへ行かない
12	車があるので利用しない。必要ない。
13	年をとっているので、電車にのらなくなった
14	徒歩移動が困難なため
15	車による移動している為、必要なし
16	値段が安いこと。
17	バスを利用する気はない！
18	利用する件がない
19	子どもが乳児の為なかなか利用できない。
20	全く自分の時間が無いから外出は無理
21	電車を利用する必要がない
22	行くのに疲れるから
23	自分の車がある限りあまり利用しない。
24	近くにバス停がない。駅まで遠すぎる
25	電車に乗って行く場所がない
26	歩いてバスに乗り電車に乗り目的地に着くには体力がない。
27	利用する用事がないから
28	運転しなくなった場合
29	行く所が無い
30	鉄道を利用する機会なし。
31	特に利用する理由がない
32	利用する必要がなし
33	用事があれば
34	足が不自由で駅まで歩けない
35	お酒を飲む時
36	行く用事がない
37	自家用車
38	今の所、すべて車で対応
39	タクシーを使用する
40	車イス使用のため鉄道利用不可
41	徒歩
42	身体に障害があるため、単独での利用はできません。
43	利用しない
44	車で行くと不便であれば電車を利用
45	どうしても車で行くには不都合な場合は利用する
46	主人が障害があるので移動しにくい
47	駅が近ければ利用するかも
48	最寄のバス停の本数が少ない
49	本数が少ない
50	遅い時間帯のバスがない為、帰りが徒歩になる
51	時間にかなりの余裕があれば
52	駅まで、ほぼ徒歩
53	体力のおとろえ
54	アルコール摂取事にやむ得ずが多い
55	バスが来たか？行ったか？わかりづらい
56	バスの本数が多い
57	自動車が故障したときなど
58	運行本数が多ければ

④利用するための条件が改善された場合の今後の利用意向【問7④】

※問7①で利用していないと回答した方のみ

■「改善されても利用しない」が約53%を占める。「利用する」は約32%にとどまっている。
 □館地区、唐竹地区では、「改善されても利用しない」が70%以上を占める。
 □豊明地区、沓掛地区、三崎地区では、「利用する」が約39~47%と、改善された後の利用意向が高い傾向にある。

▼利用するための条件が改善された場合の今後の利用意向

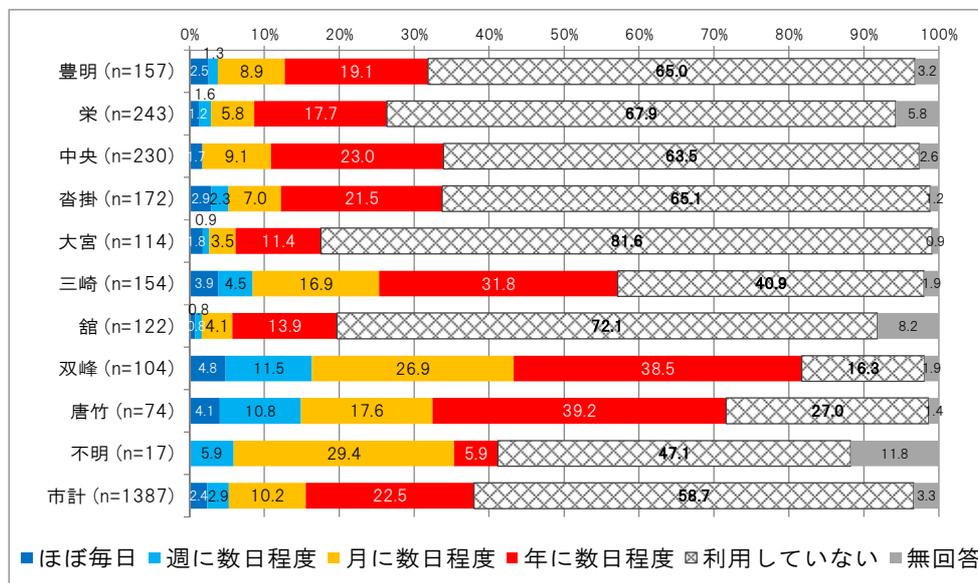


(5)バスの利用について

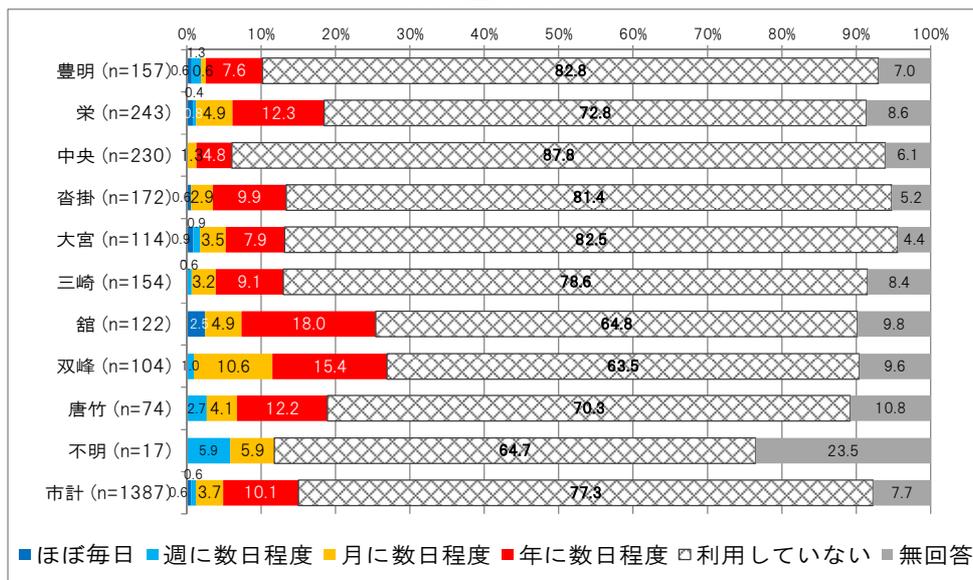
①利用する頻度【問8①】

■「利用していない」が名鉄バスでは約59%、名古屋市営バスでは約77%、ひまわりバスでは約80%を占める。
 □大宮地区、館地区の名鉄バスでは、「利用していない」が約72~82%を占める。一方双峰地区、唐竹地区では、「利用している」が約72~82%を占める。

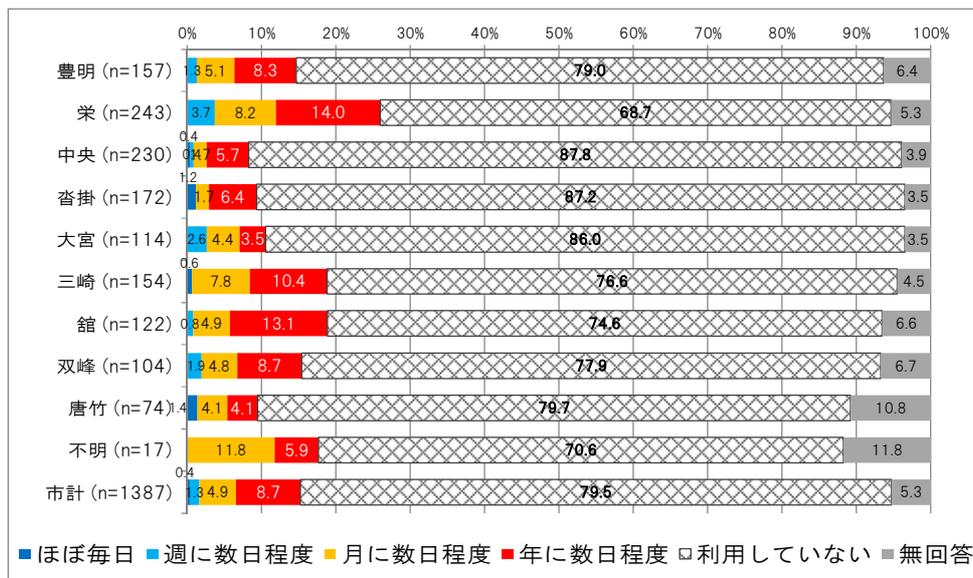
▼名鉄バス



▼名古屋市営バス



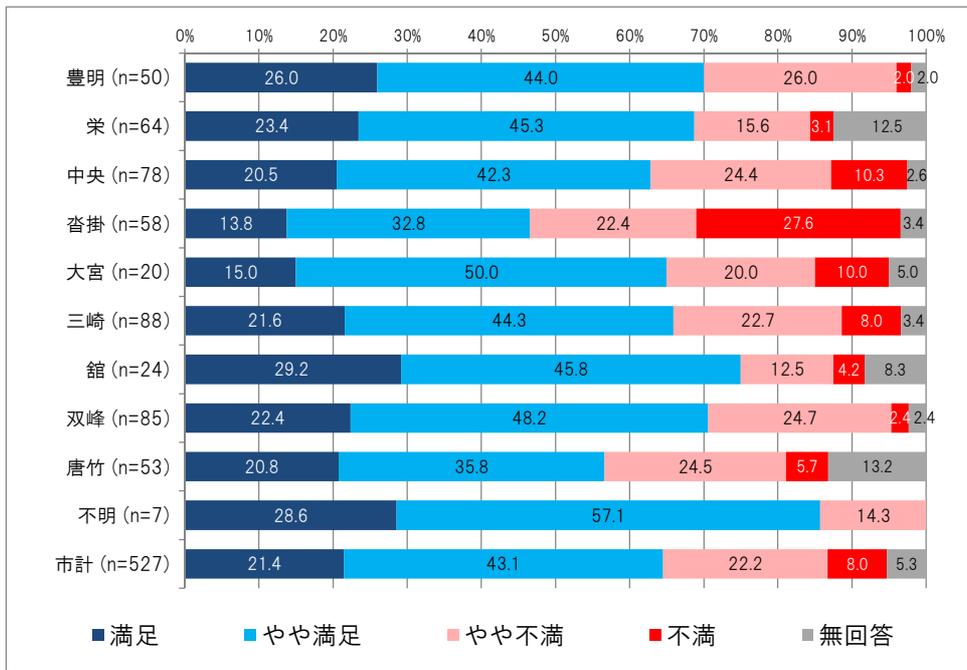
▼ひまわりバス



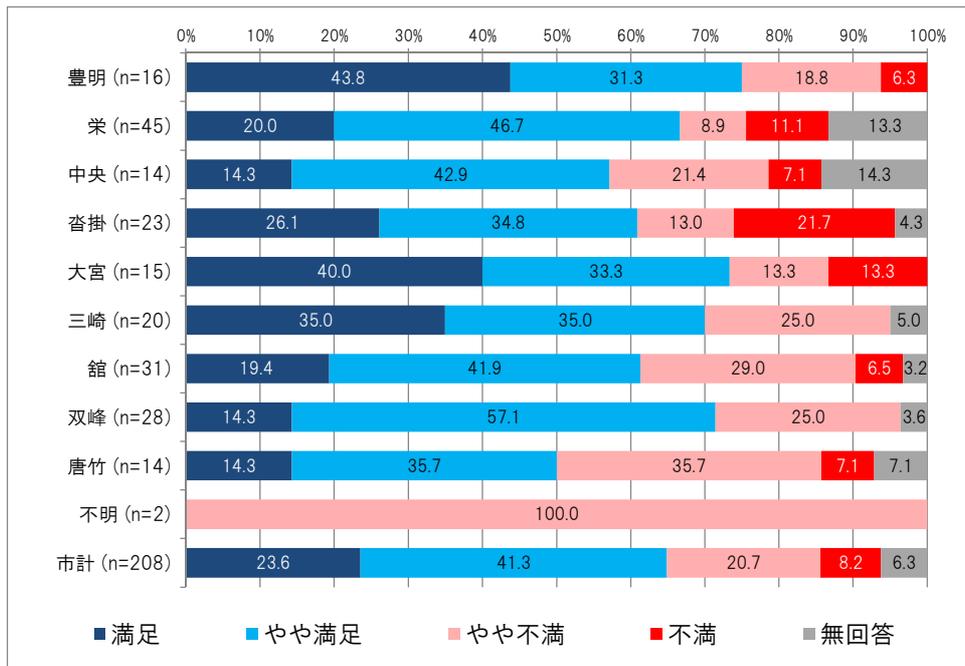
②満足度【問8②】 ※問8①で利用していると回答した方のみ

■「満足+やや満足」が名鉄バス、名古屋市営バスともに約65%を占める。ひまわりバスでは「満足+やや満足」約48%が、「不満+やや不満」46%をやや上回る。
 □沓掛地区の名鉄バスでは、「不満+やや不満」50%が、「満足+やや満足」約47%をやや上回る。
 □大宮地区のひまわりバスでは、「満足+やや満足」が0となっている。
 □中央地区、双峰地区のひまわりバスも、「不満+やや不満」が「満足+やや満足」を大きく上回る。

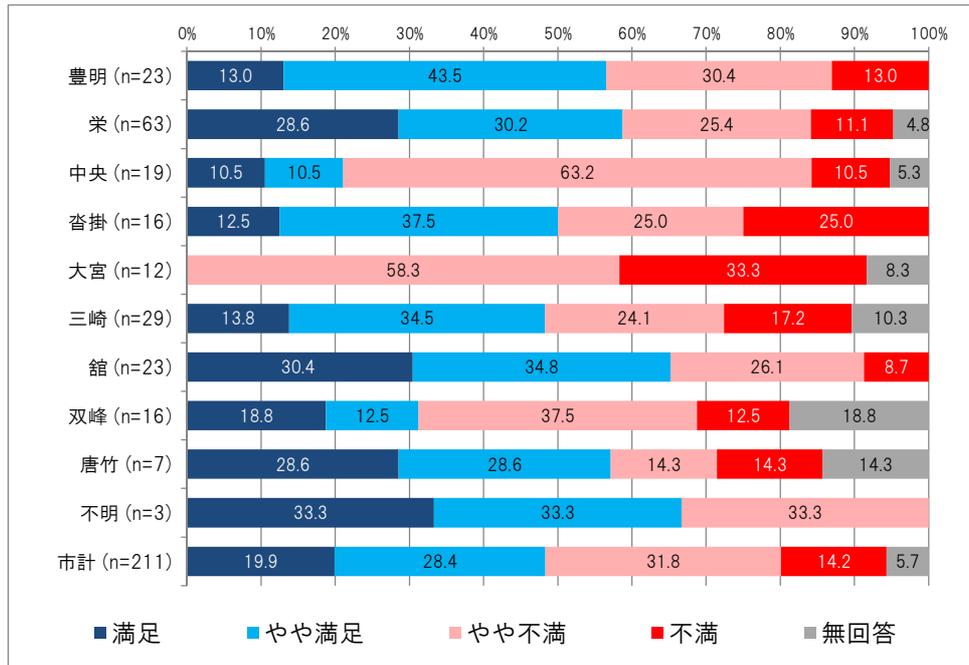
▼名鉄バス



▼名古屋市営バス



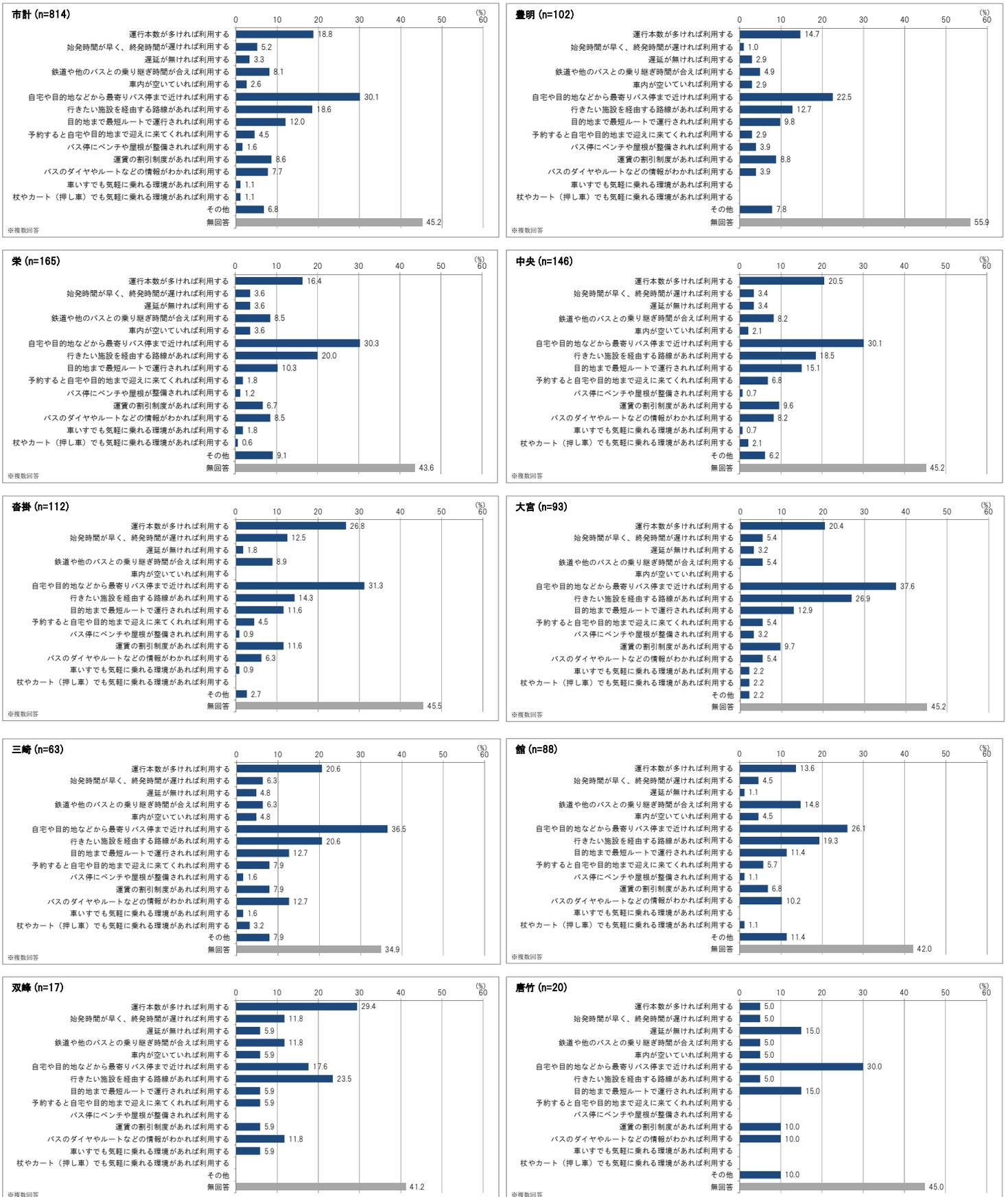
▼ひまわりバス



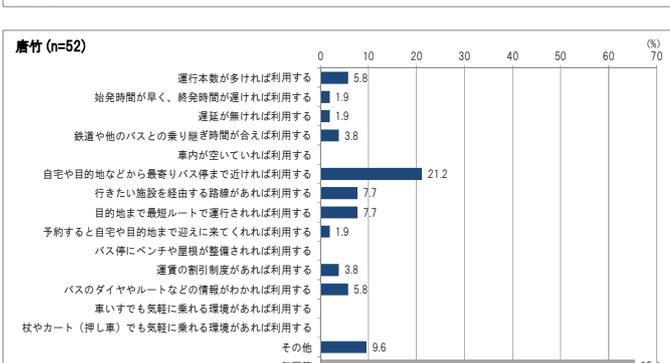
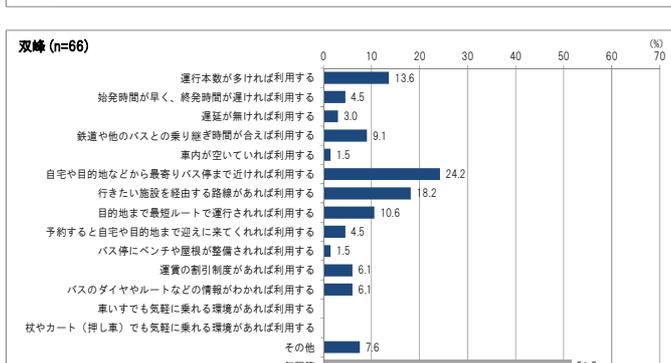
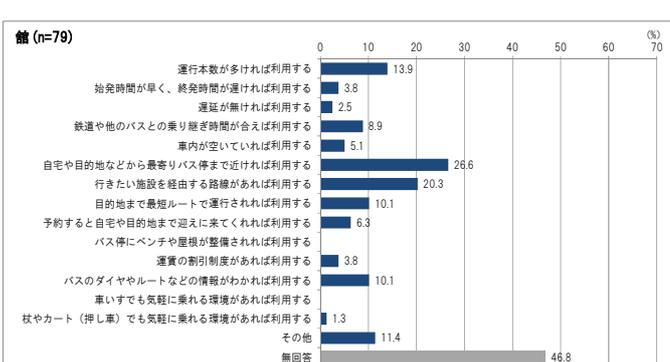
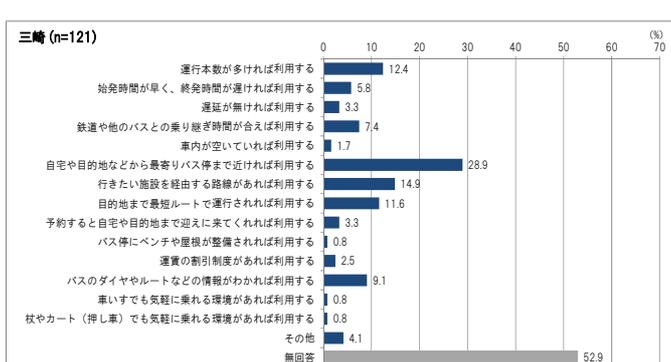
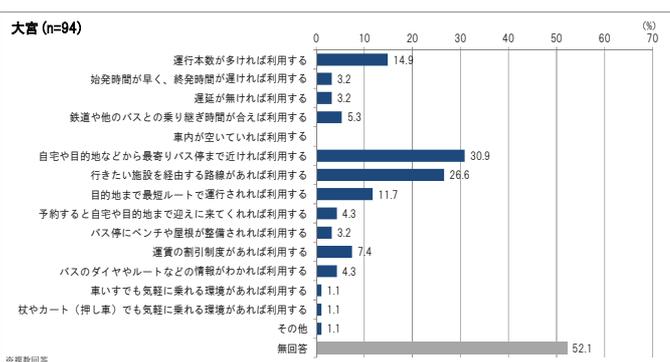
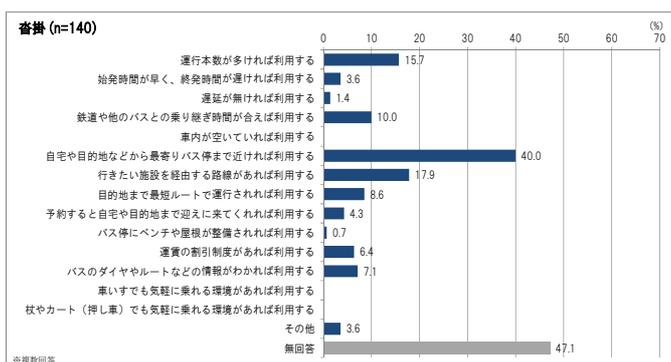
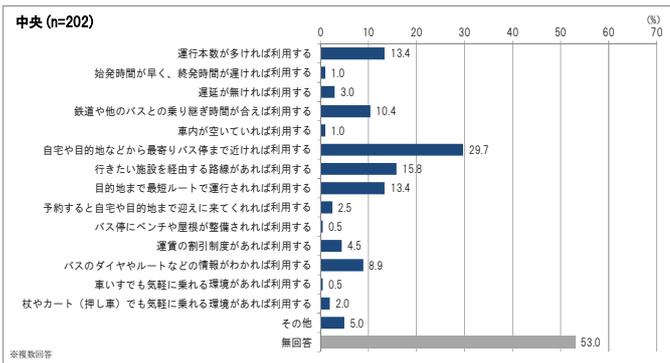
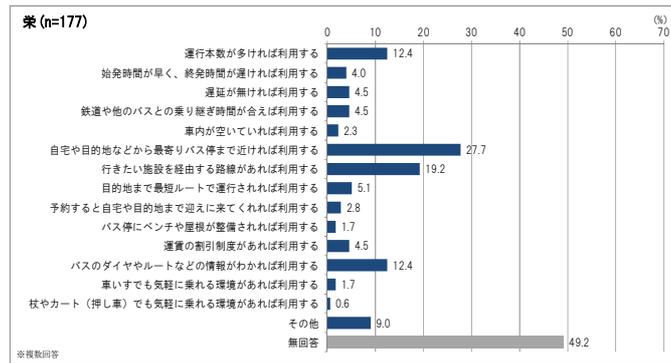
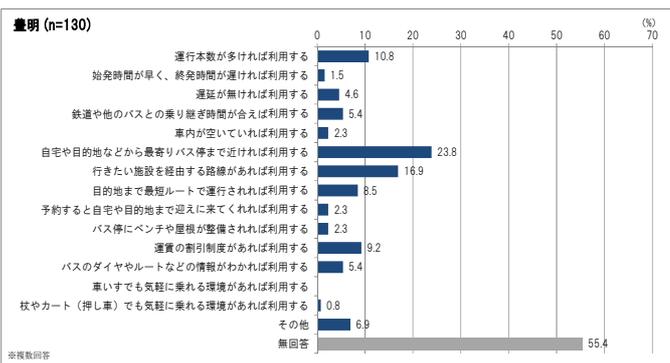
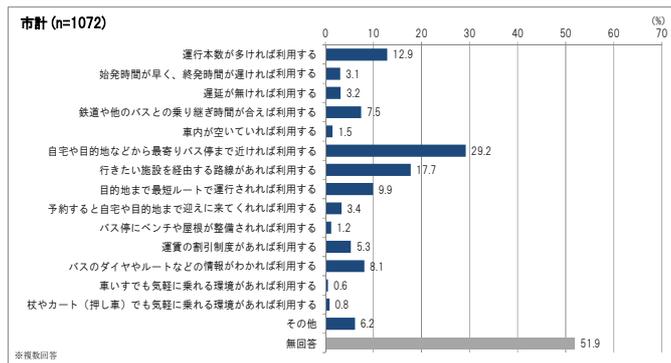
③利用するための条件【問8③】 ※問8①で利用していないと回答した方のみ ※複数回答

■「最寄りバス停が近ければ利用する」が名鉄バスでは約30%、名古屋市営バス約29%と最も高く、ひまわりバスでは「運行本数が多ければ利用する」が26%で最も高い割合を占める。

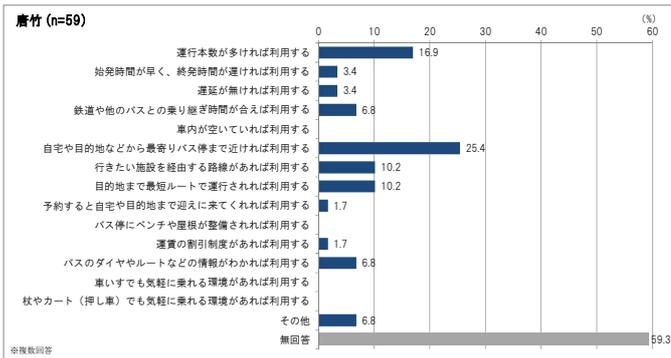
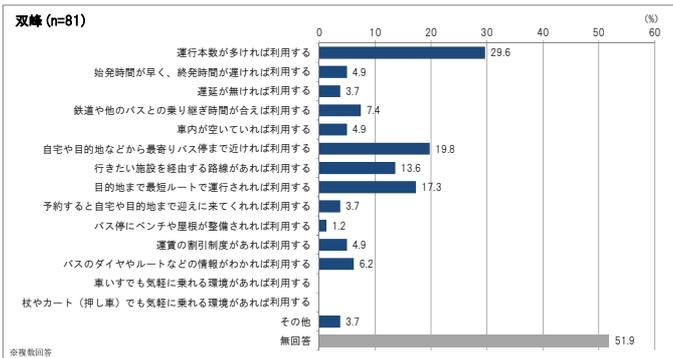
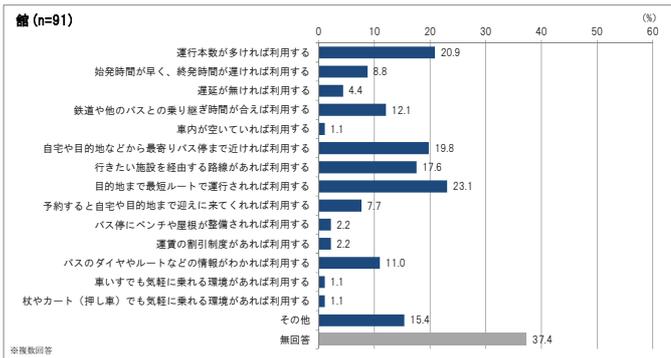
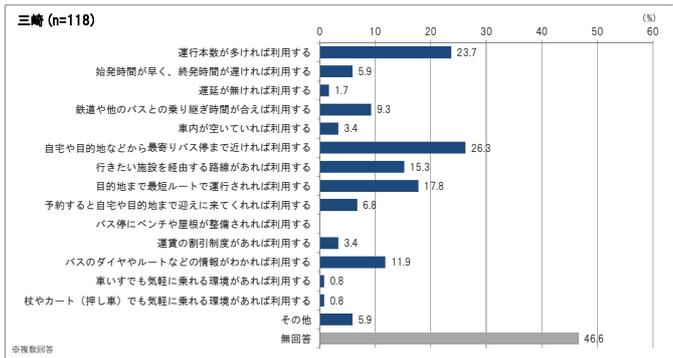
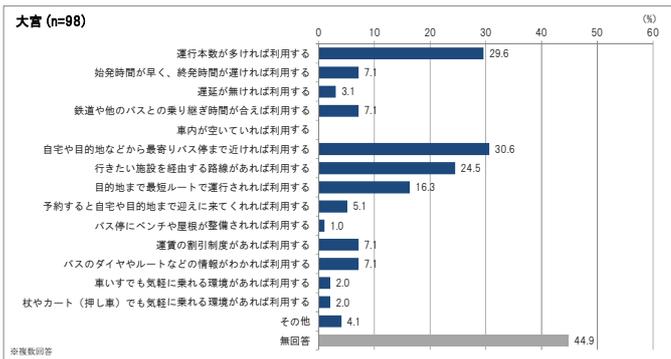
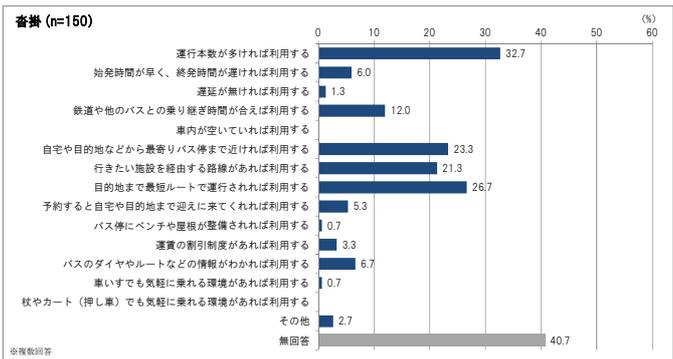
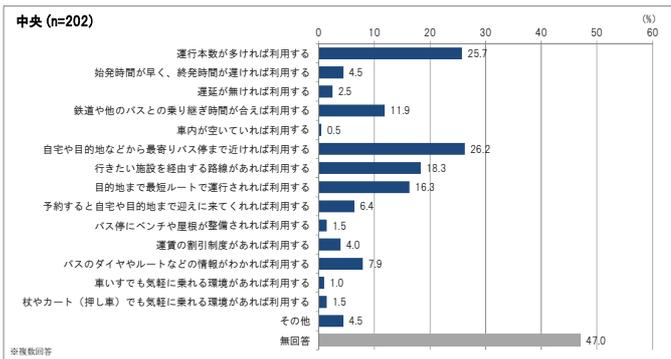
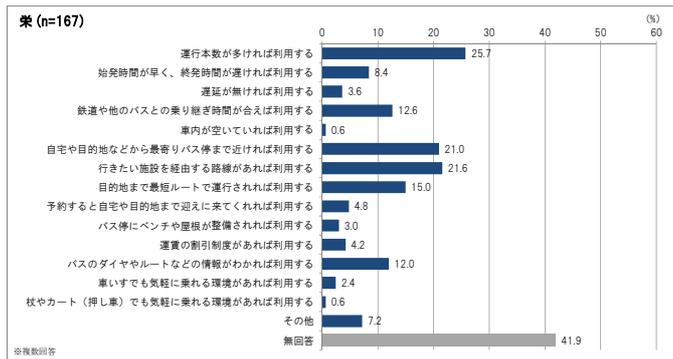
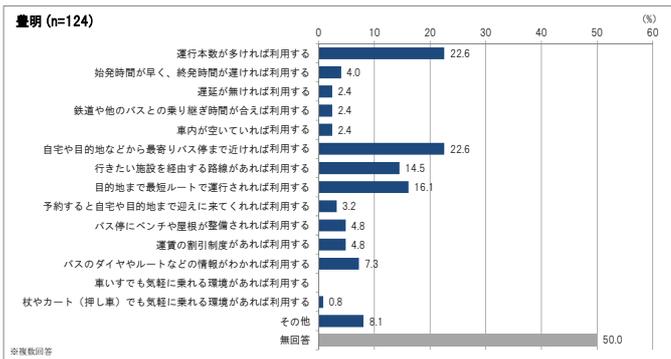
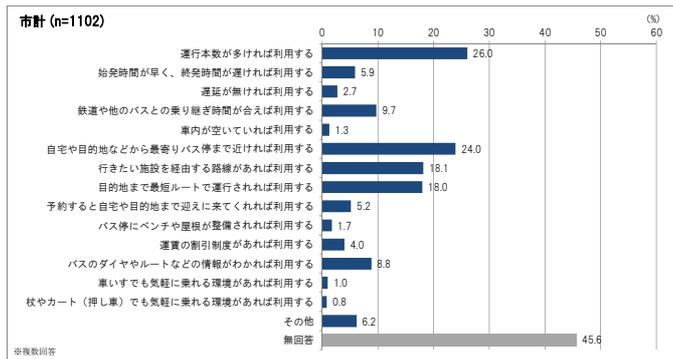
▼名鉄バス



▼名古屋市営バス



▼ひまわりバス

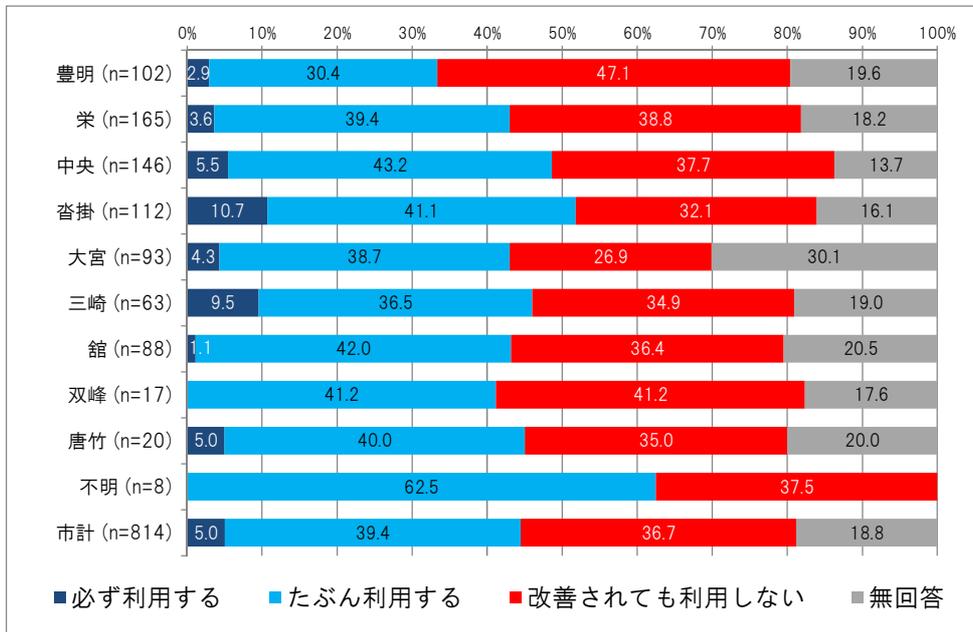


④利用するための条件が改善された場合の今後の利用意向【問8④】

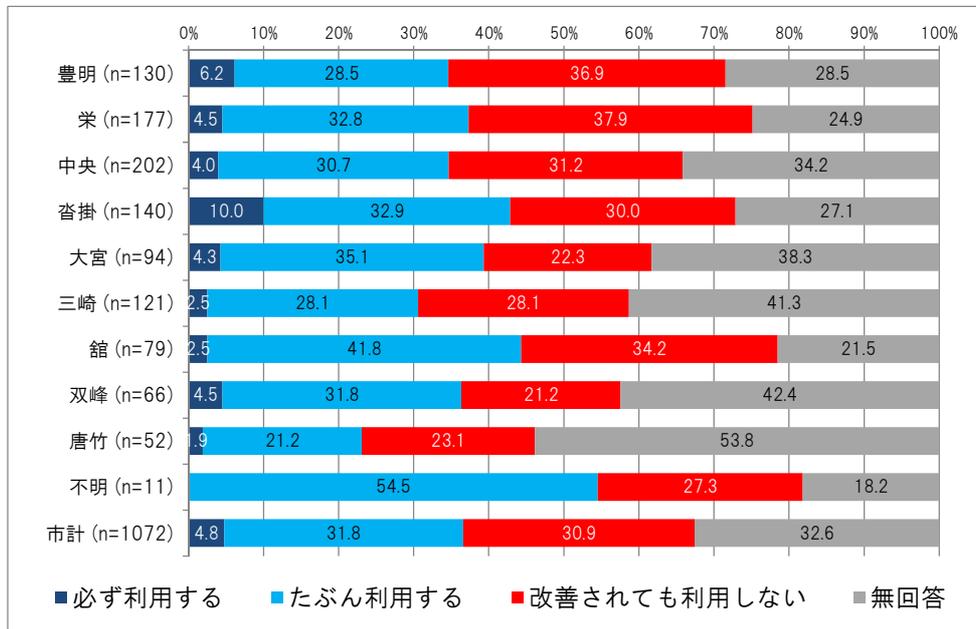
※問8①で利用していないと回答した方のみ

■名鉄バス、名古屋市営バス、ひまわりバスともに、「利用する」が「利用しない」を上回る。

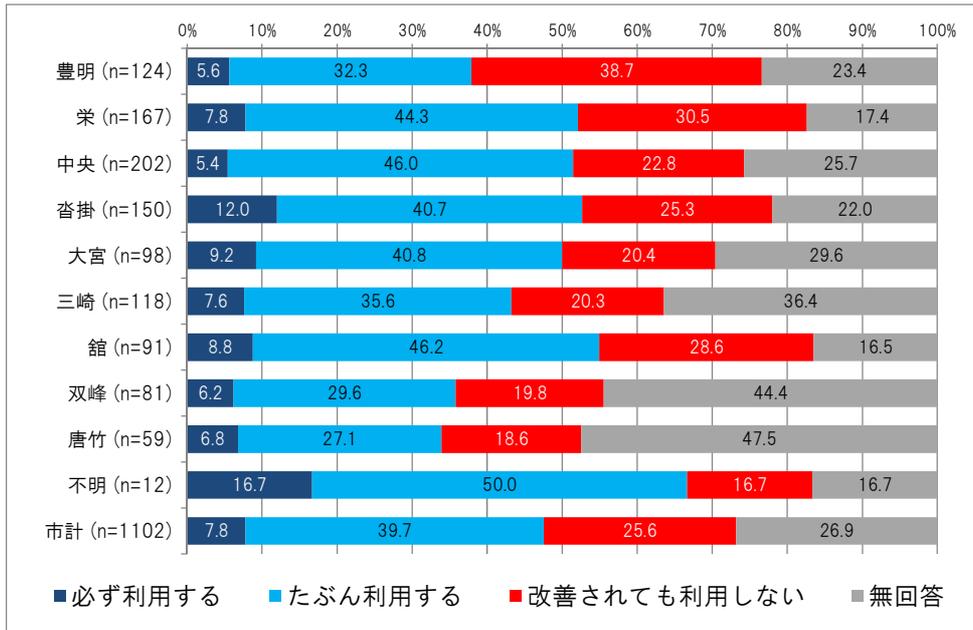
▼名鉄バス



▼名古屋市営バス



▼ひまわりバス

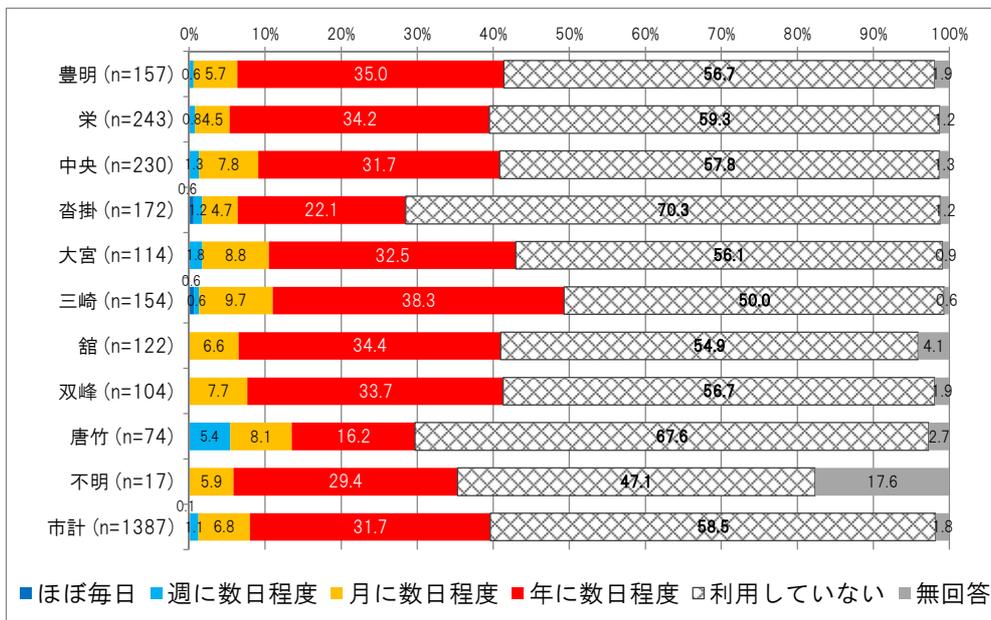


(6) タクシーの利用について

①利用する頻度【問9①】

■「利用していない」が約59%を占め、利用者の中では「年に数日程度」の利用が約32%と最も高い。

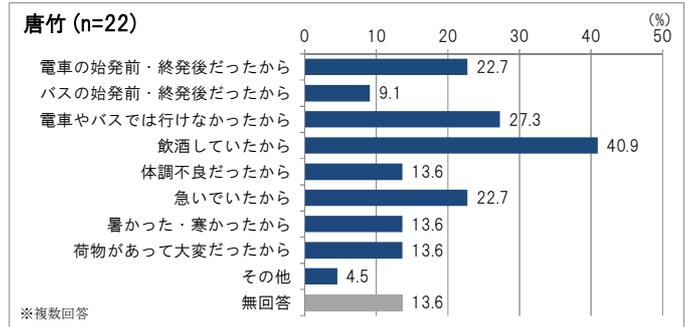
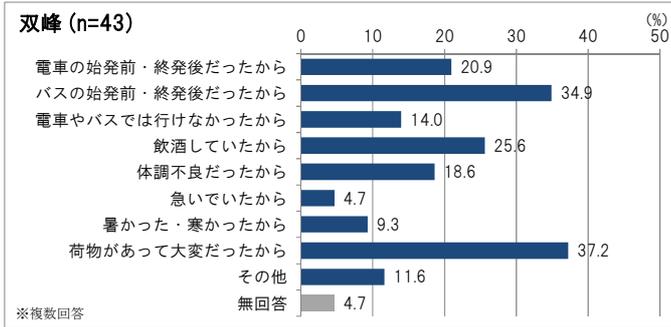
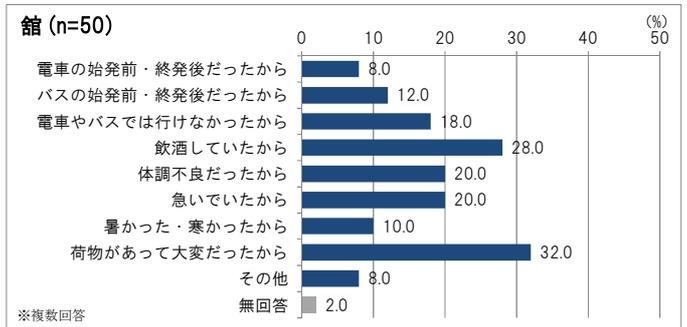
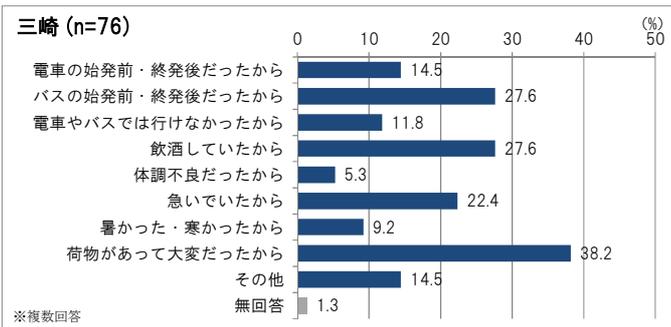
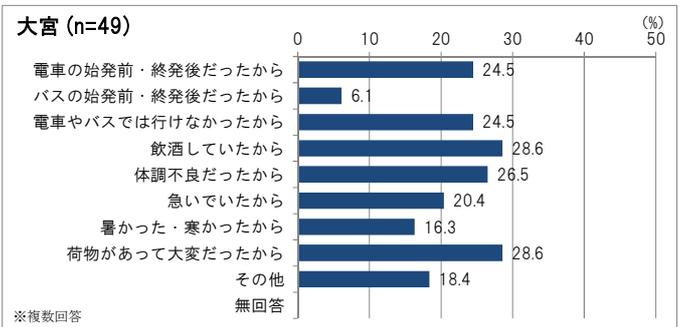
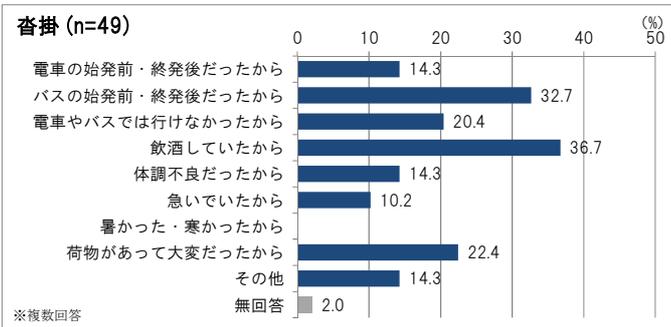
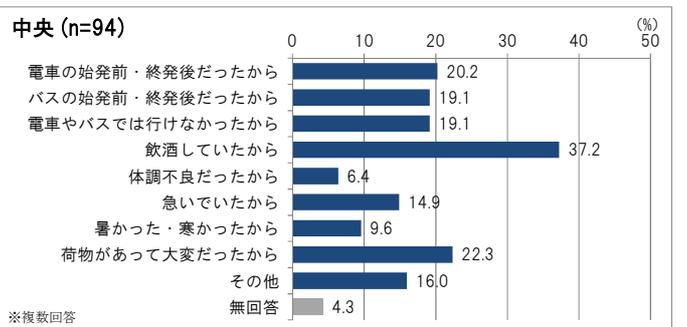
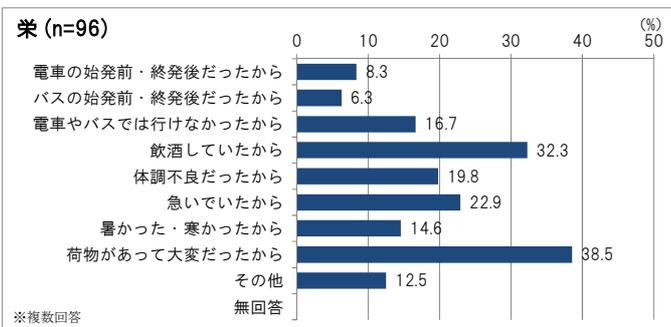
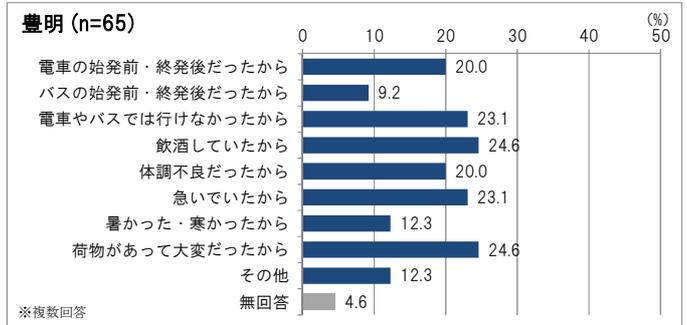
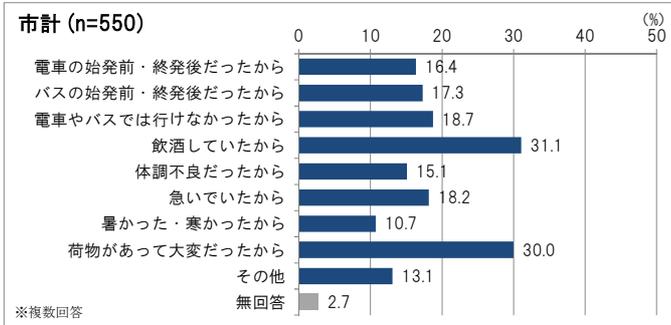
▼利用する頻度



②利用の理由【問9②】 ※問9①で利用していると回答した方のみ ※複数回答

■「飲酒していたから」が約31%、次いで「荷物があって大変だったから」が30%を占める。
 □沓掛地区、双峰地区では、「バスの始発前・終発後だったから」が約33~35%と高い。

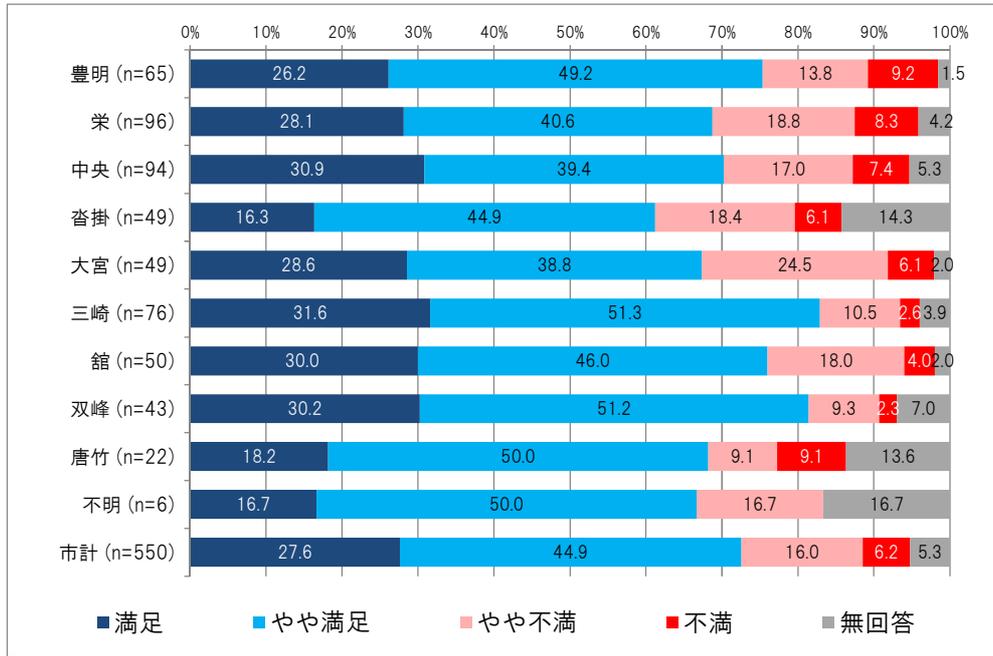
▼利用の理由



③満足度【問9③】 ※問9①で利用していると回答した方のみ

■「満足+やや満足」約73%が、「不満+やや不満」約22%を大きく上回る。

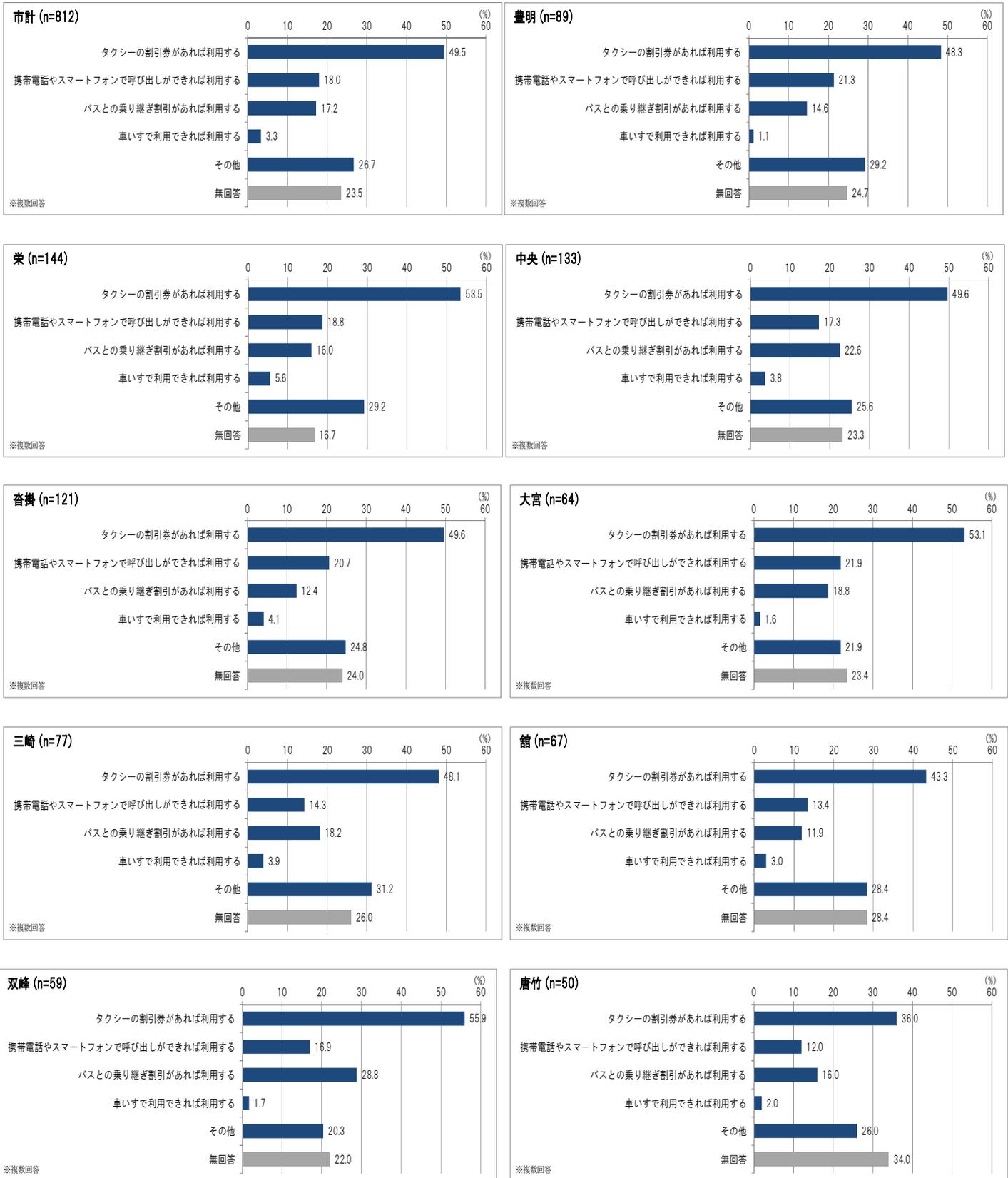
▼満足度



④利用するための条件【問9④】 ※問9①で利用していないと回答した方のみ ※複数回答

■「タクシーの割引券があれば利用する」が約50%を占める。

▼利用するための条件

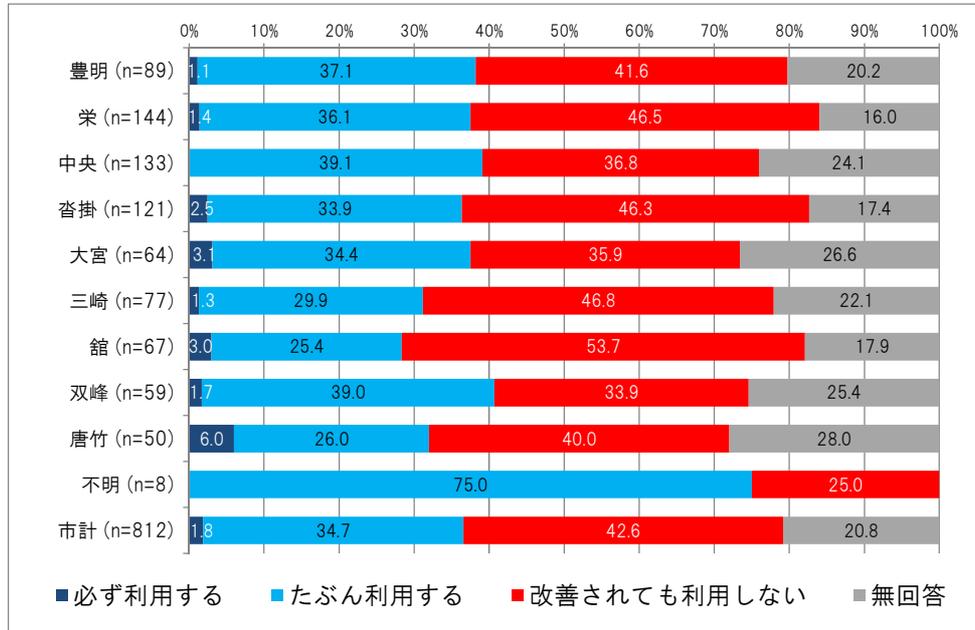


⑤利用するための条件が改善された場合の今後の利用意向【問9⑤】

※問9①で利用していないと回答した方のみ

■「改善されても利用しない」約43%が、「利用する」約37%を上回る。
 □館地区では、「改善されても利用しない」が約54%を占める。

▼利用するための条件が改善された場合の今後の利用意向

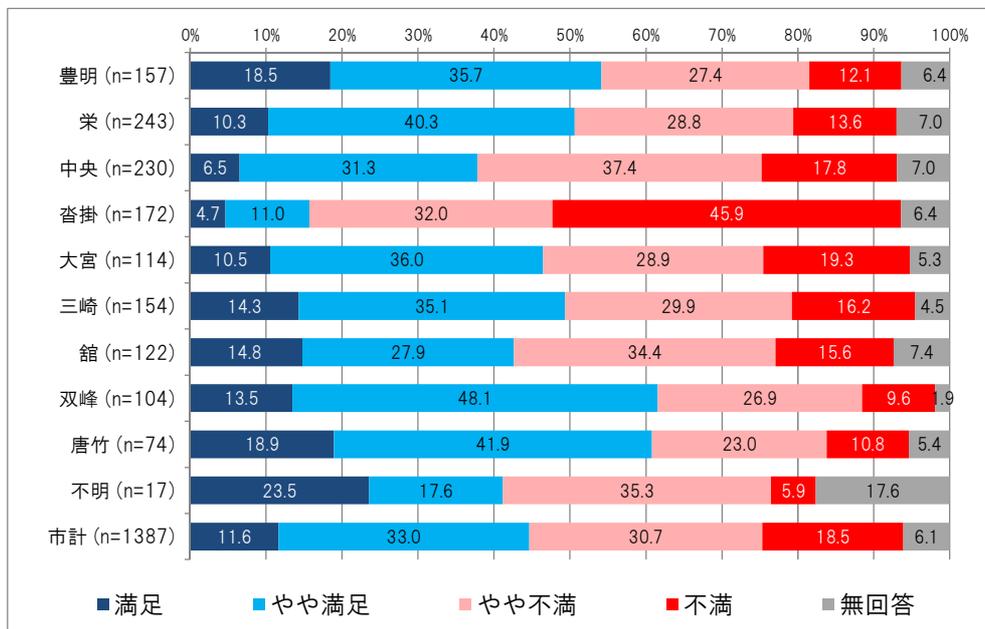


(7) 公共交通に対する満足度について

①公共交通に対する満足度【問10】

■「不満+やや不満」が約49%で、「満足+やや満足」約45%をやや上回る。
 □沓掛地区では、「不満+やや不満」が約78%を占め、公共交通に対する不満の高さがうかがえる。
 □双峰地区、唐竹地区では、「満足+やや満足」が6割以上を占める。

▼公共交通に対する満足度

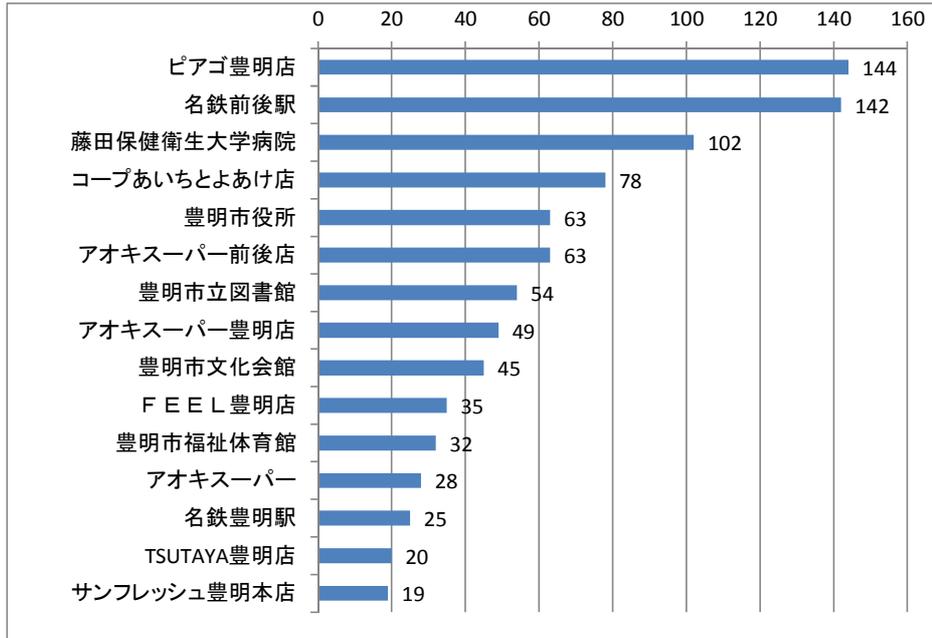


(8) バスで行きたい施設について

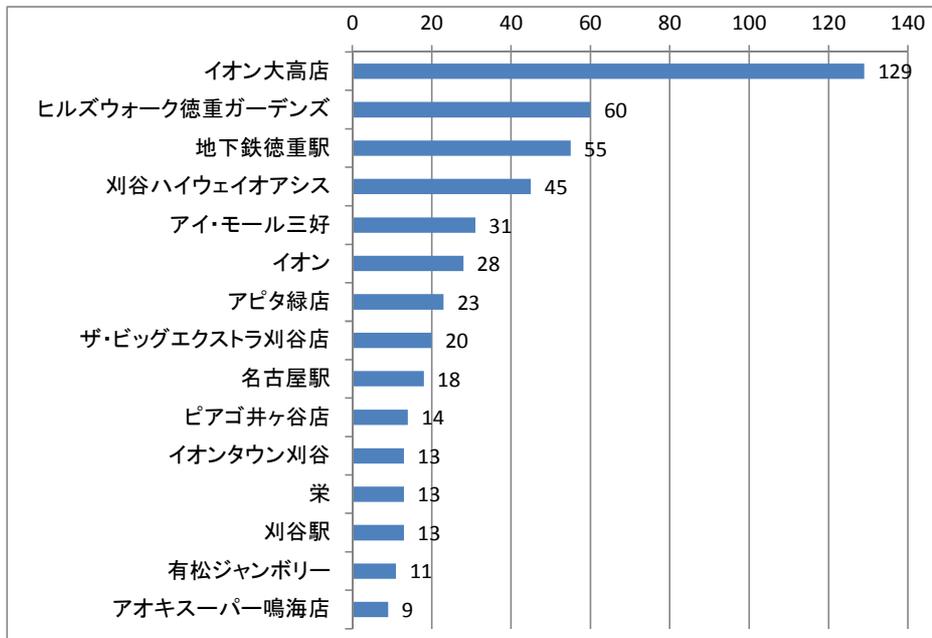
①バスで行きたい施設【問 11①】 ※n=回答数

- 豊明市内の施設では、「ピアゴ豊明店」、「名鉄前後駅」、「藤田保健衛生大学病院」が上位を占め、商業施設や公共施設が多くなっている。
- 周辺市町の施設では、「イオン大高店」をはじめとした商業施設、「地下鉄徳重駅」をはじめとした鉄道駅が多くなっている。

▼豊明市内のバスで行きたい施設（上位 15 施設）



▼周辺市町のバスで行きたい施設（上位 15 施設）



【参考】豊明市内のバスで行きたい施設



【参考】周辺市町のバスで行きたい施設



【参考】豊明市内及び周辺市町のバスで行きたい施設【小学校区別】

■バスで行きたい施設(市内)

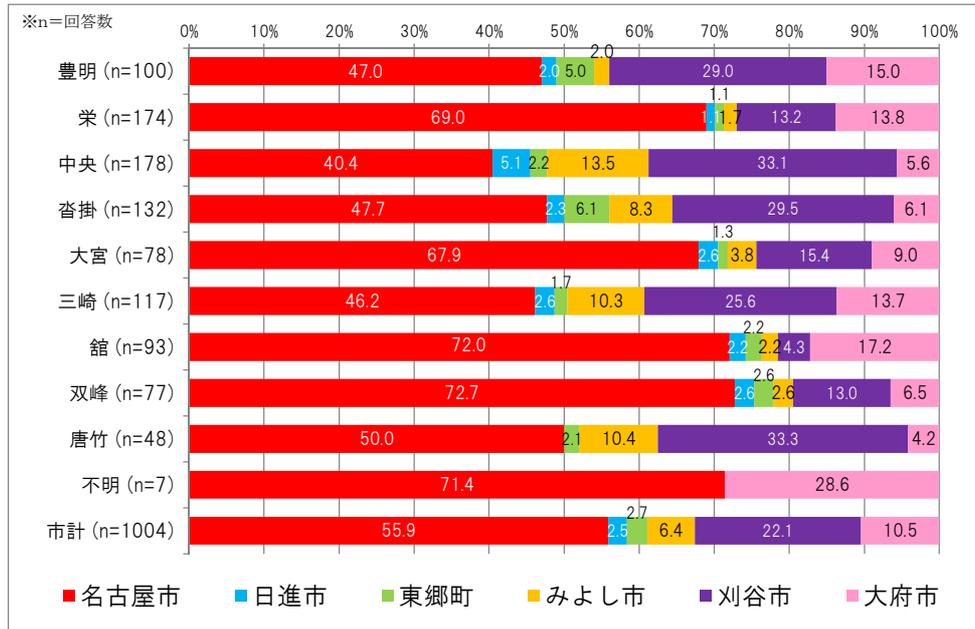
順位	豊明小学校区	栄小学校区	中央小学校区
1	ピアゴ豊明店	アオキスーパー前後店	ピアゴ豊明店
2	アオキスーパー前後店	コープあいちとよあけ店	名鉄前後駅
3	藤田保健衛生大学病院	名鉄前後駅	藤田保健衛生大学病院
4	豊明市役所	藤田保健衛生大学病院	FEEL豊明店
5	名鉄前後駅	ピアゴ豊明店	名鉄豊明駅
順位	沓掛小学校区	大宮小学校区	三崎小学校区
1	名鉄前後駅	ピアゴ豊明店	名鉄前後駅
2	ピアゴ豊明店	アオキスーパー豊明店	藤田保健衛生大学病院
3	FEEL豊明店	名鉄前後駅	ピアゴ豊明店
4	藤田保健衛生大学病院	アオキスーパー前後店	コープあいちとよあけ店
5	名鉄豊明駅	コープあいちとよあけ店	アオキスーパー豊明店
順位	舘小学校区	双峰小学校区	唐竹小学校区
1	アオキスーパー前後店	名鉄前後駅	ピアゴ豊明店
2	藤田保健衛生大学病院	ピアゴ豊明店	アオキスーパー豊明店
3	豊明市役所	豊明市役所	名鉄前後駅
4	豊明市立図書館	コープあいちとよあけ店	藤田保健衛生大学病院
5	名鉄前後駅	藤田保健衛生大学病院	コープあいちとよあけ店

■バスで行きたい施設(市外)

順位	豊明小学校区	栄小学校区	中央小学校区
1	イオン大高店	イオン大高店	イオン大高店
2	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	地下鉄徳重駅	刈谷ハイウェイオアシス
3	刈谷ハイウェイオアシス	栄	アイ・モール三好
4	JR刈谷駅	ザ・ビッグエクストラ刈谷店	イオン
5	JR大府駅	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ
順位	沓掛小学校区	大宮小学校区	三崎小学校区
1	地下鉄徳重駅	イオン大高店	イオン大高店
2	ピアゴ井ヶ谷店	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	アイ・モール三好
3	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	地下鉄徳重駅	地下鉄徳重駅
4	アピタ緑店	イオン	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ
5	アイ・モール三好	イオンタウン刈谷	刈谷ハイウェイオアシス
順位	舘小学校区	双峰小学校区	唐竹小学校区
1	イオン大高店	イオン大高店	アイ・モール三好
2	ピアゴ清水山店	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	ヒルズウォーク徳重ガーデンズ
3	有松ジャンボリー	アピタ緑店	イオンタウン刈谷
4	JR共和駅	地下鉄徳重駅	地下鉄徳重駅
5	名古屋駅	名古屋駅	刈谷ハイウェイオアシス

■周辺市町の施設の市町村別集計では、「名古屋市」の施設が約56%を占める。

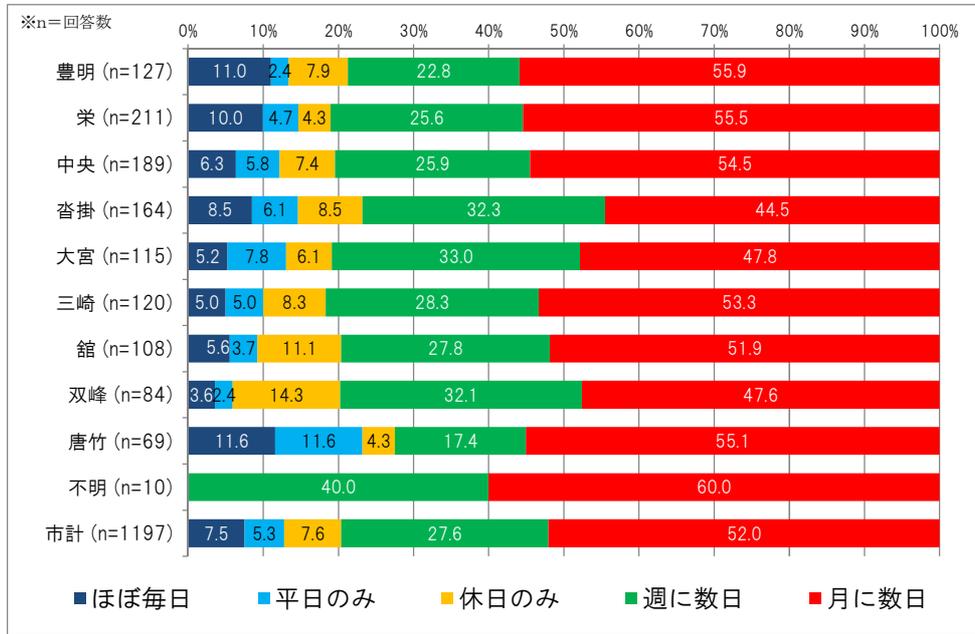
▼周辺市町のバスで行きたい施設（市町村別集計）



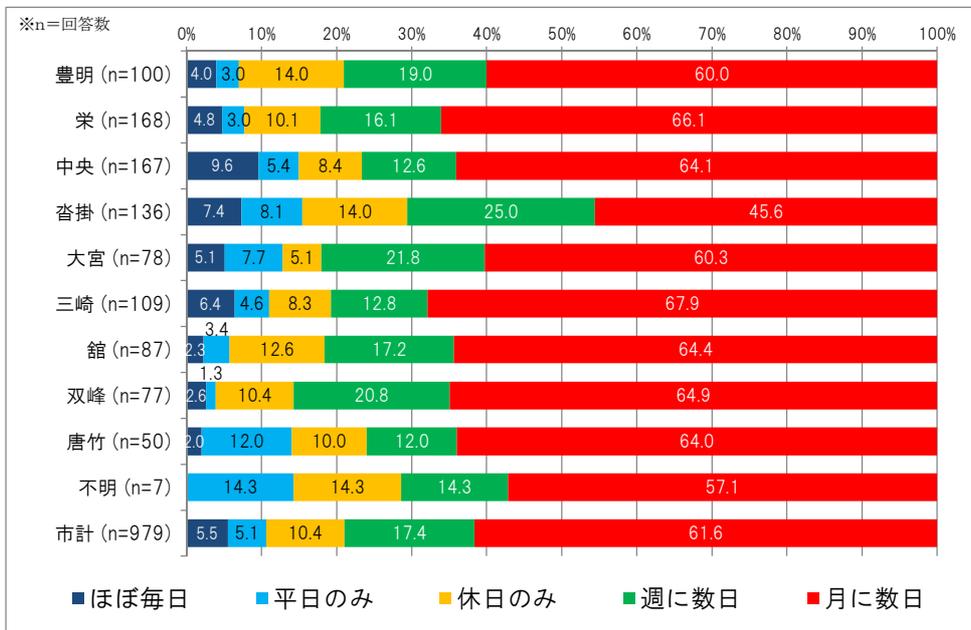
②利用頻度【問 11②】 ※n = 回答数

■豊明市内の施設では、「月に数日」が52%を占める。
 ■周辺市町の施設では、「月に数日」が62%を占める。

▼豊明市内



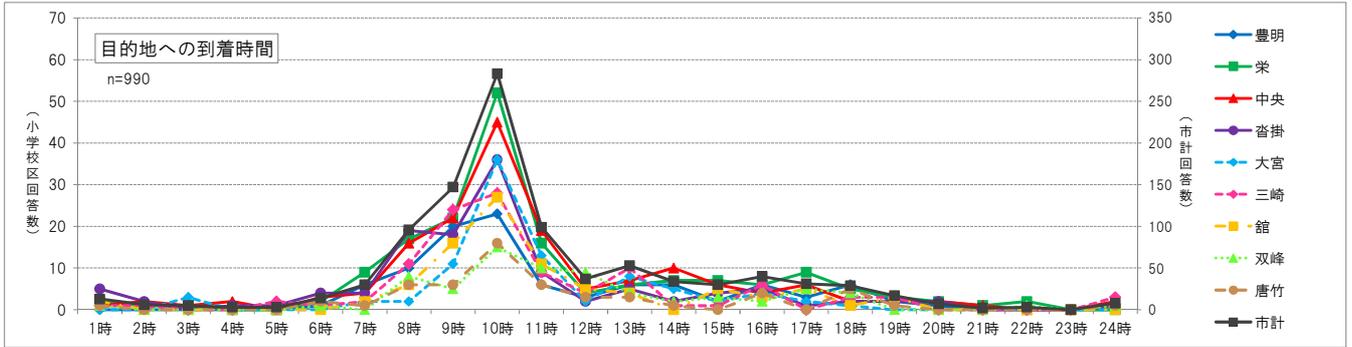
▼周辺市町



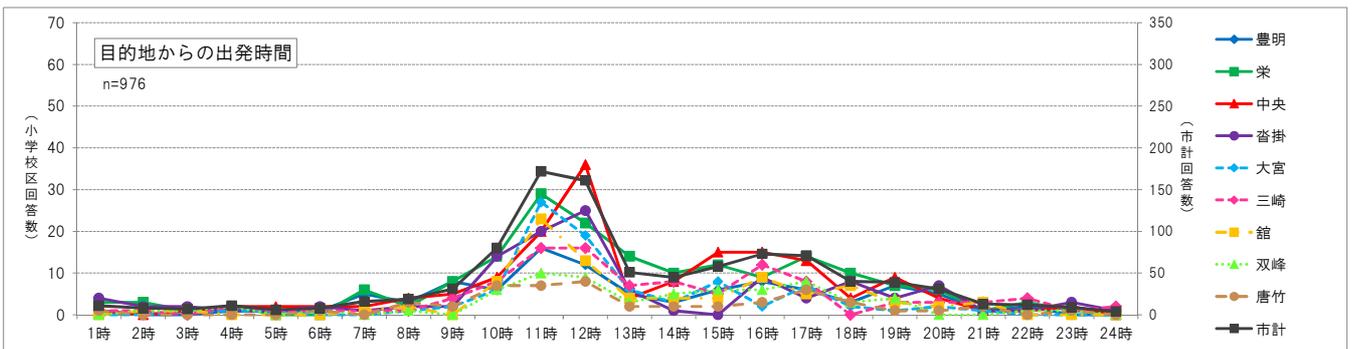
③利用時間【問 11③】 ※n =回答数

■豊明市内の施設では、到着時間は「10時」をピークに「8～11時」が高く、出発時間は「11～12時」をピークに、午後も「15～17時」がやや高い。
 ■周辺市町の施設では、到着時間は「10時」をピークに「9～11時」が高く、出発時間は「11～17時」の間で分散している。

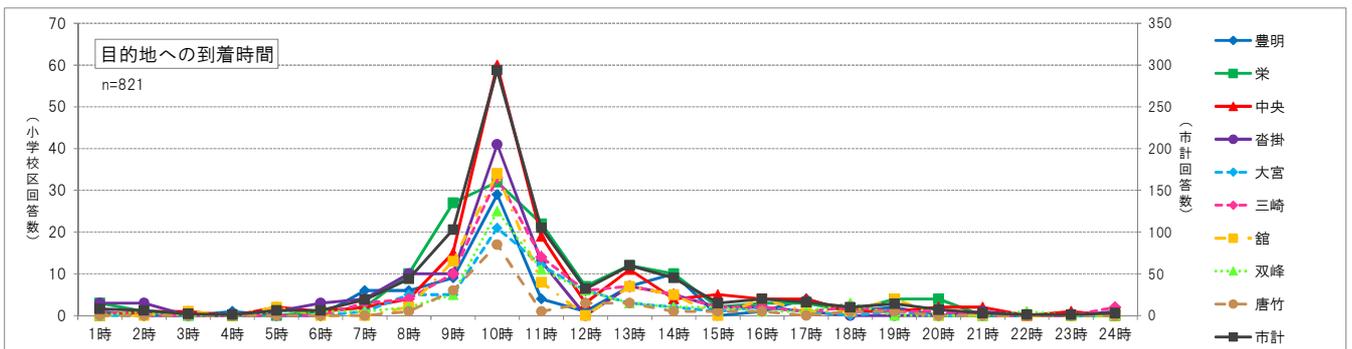
▼豊明市内の施設への到着時間



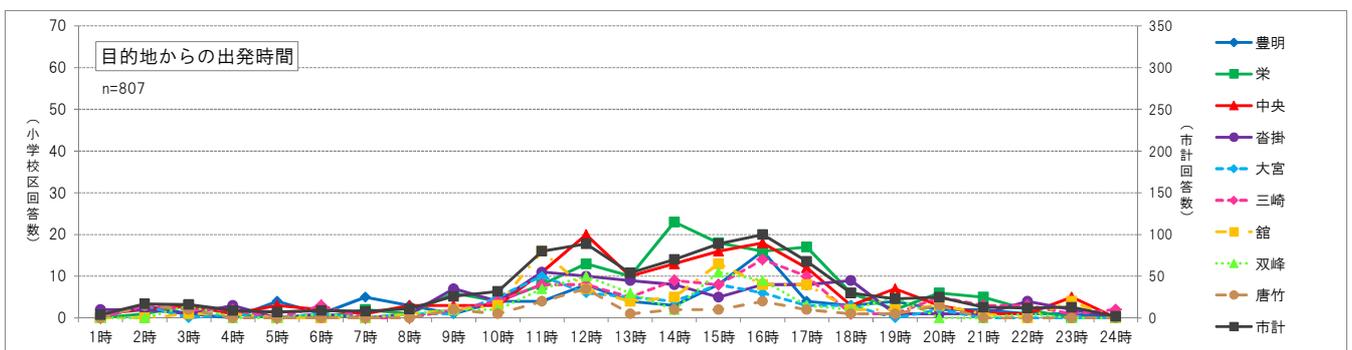
▼豊明市内の施設からの出発時間



▼周辺市町の施設への到着時間



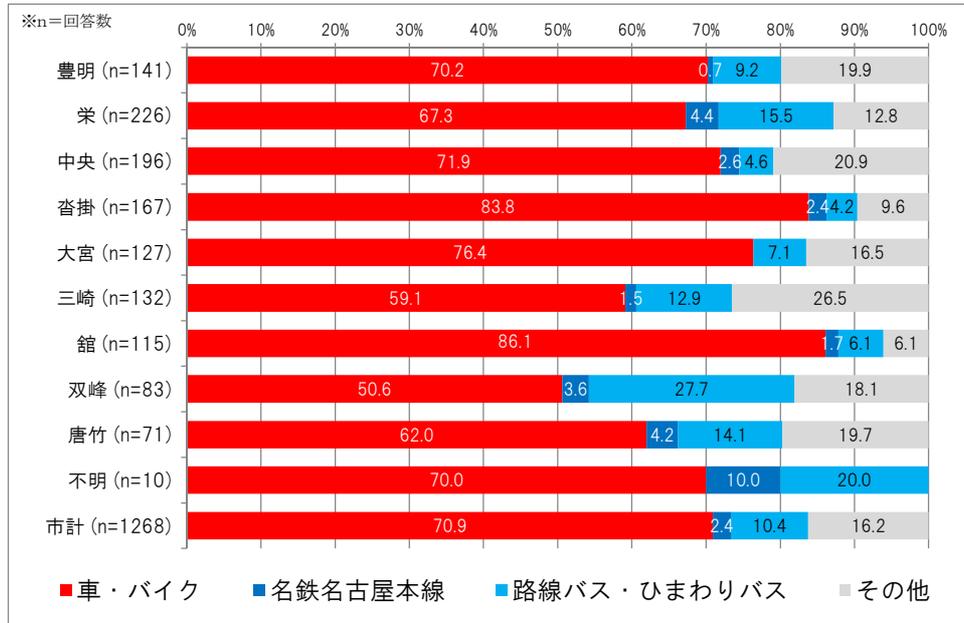
▼周辺市町の施設からの出発時間



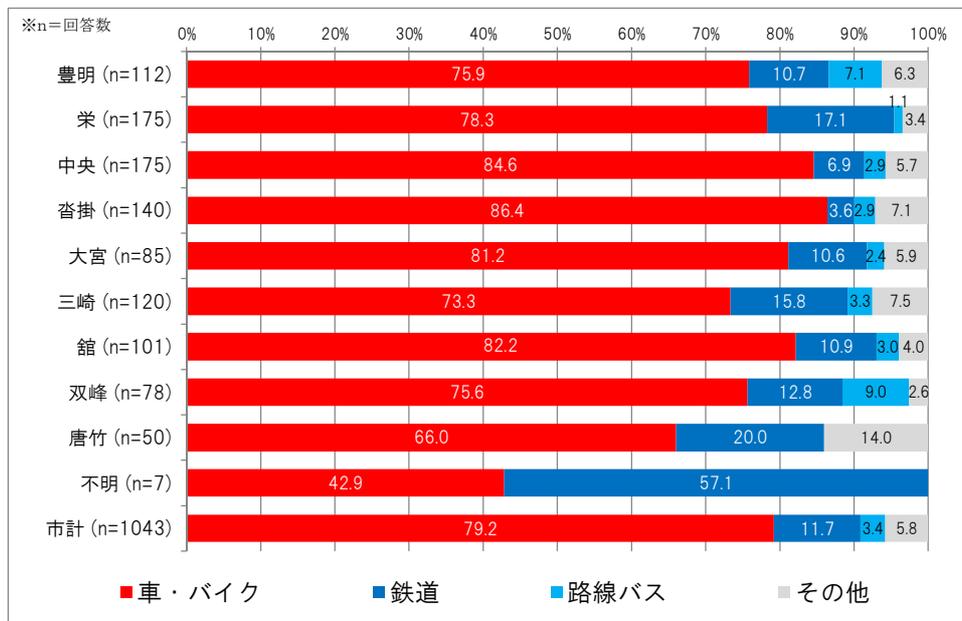
④現在の交通手段【問 11④】 ※n = 回答数

■豊明市内の施設では、「車・バイク」の利用が約71%を占める。
 □双峰地区の豊明市内の施設は、「路線バス・ひまわりバス」の利用が約28%を占める。
 □沓掛地区、館地区の豊明市内の施設は、「車・バイク」の利用が約84~86%と高い割合を占める。
 ■周辺市町の施設では、「車・バイク」の利用が約79%を占める。

▼豊明市内



▼周辺市町

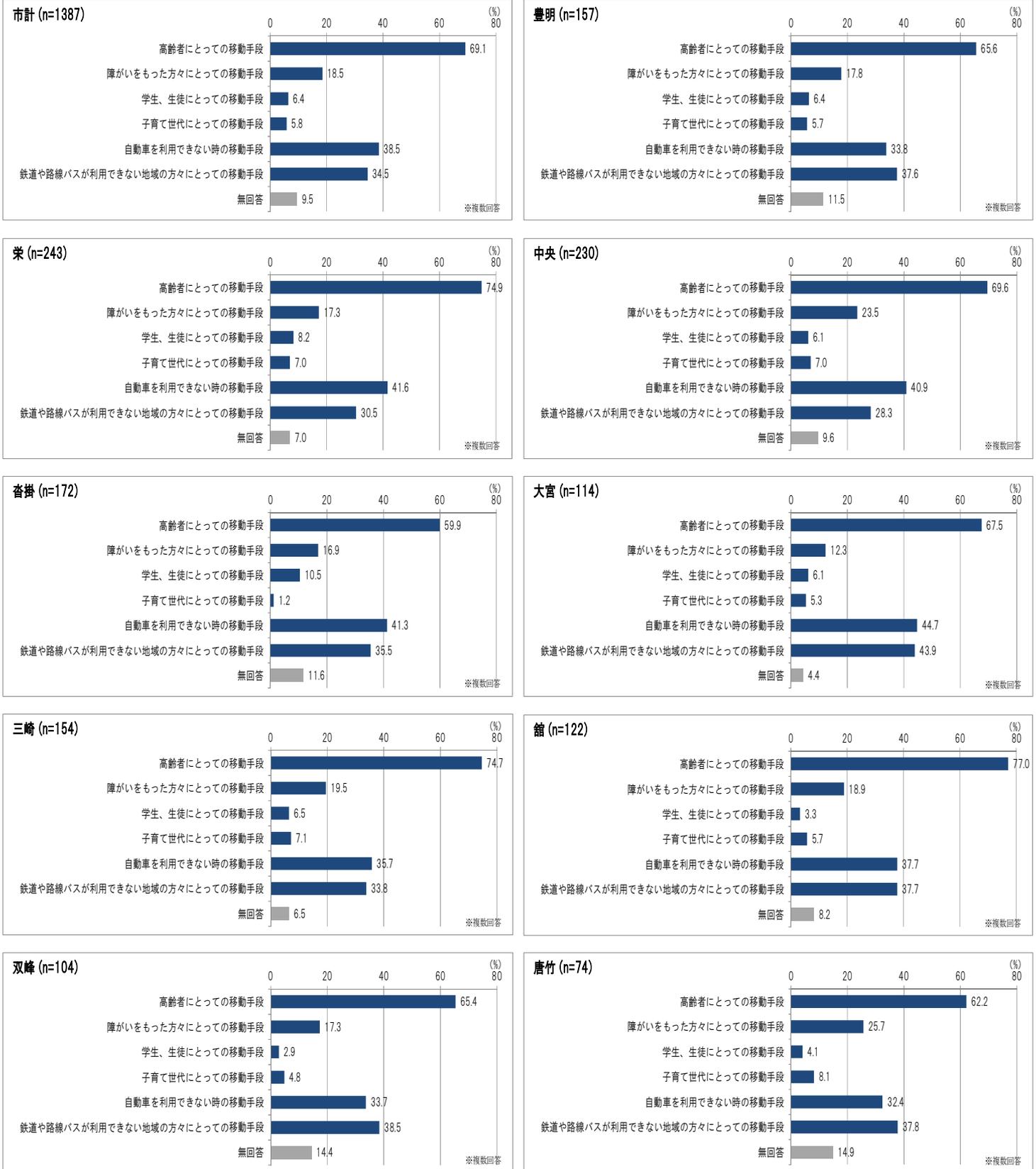


(9) ひまわりバスの社会的な機能や役割について

① ひまわりバスの利用対象者について【問 12①】 ※複数回答

■ 「高齢者にとっての移動手段」が約 69%を占める。

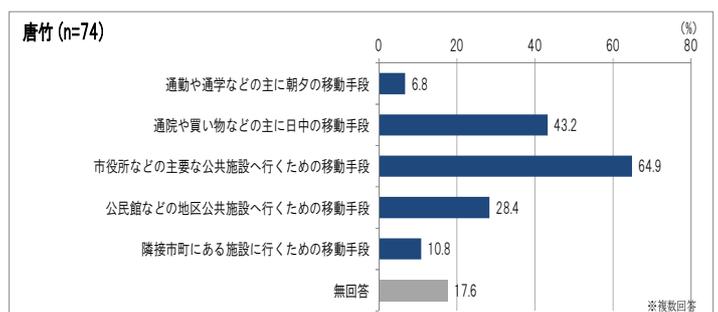
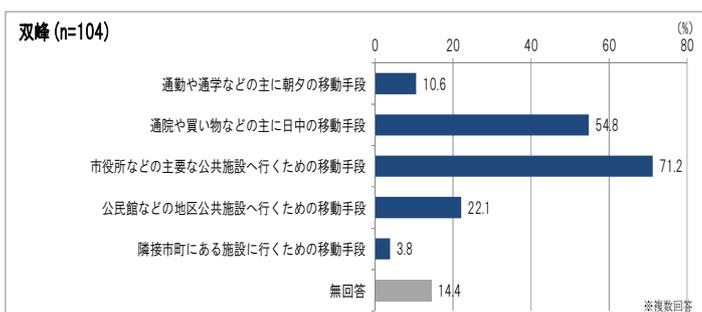
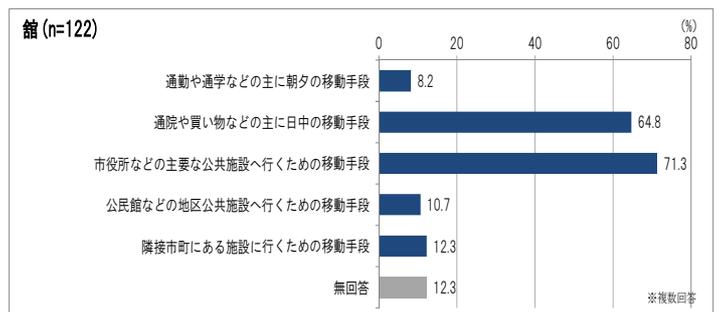
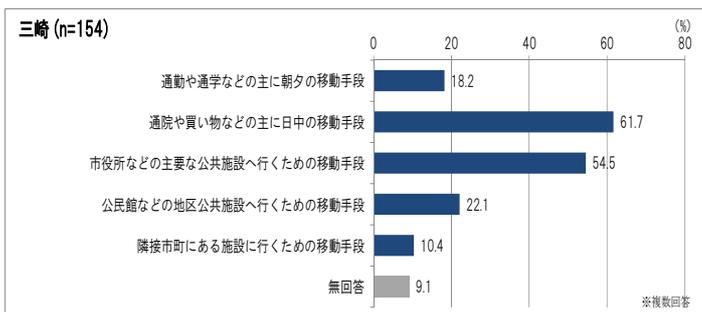
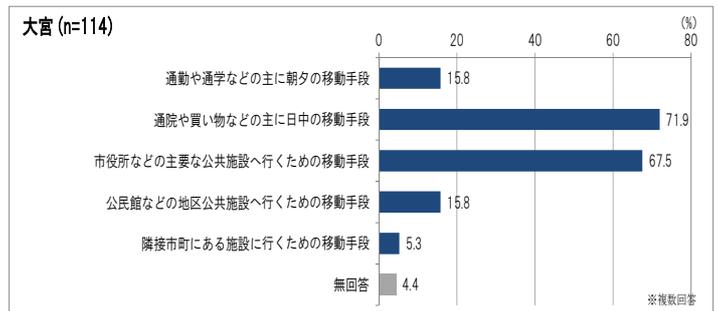
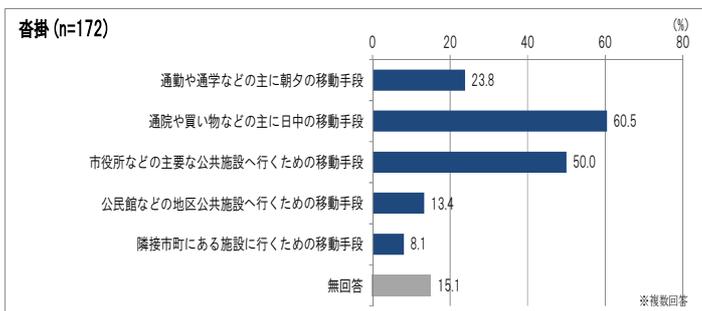
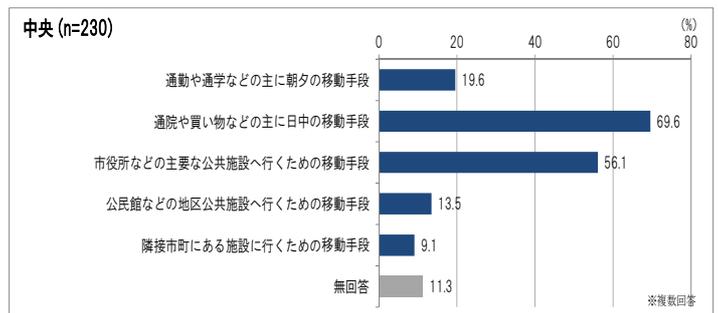
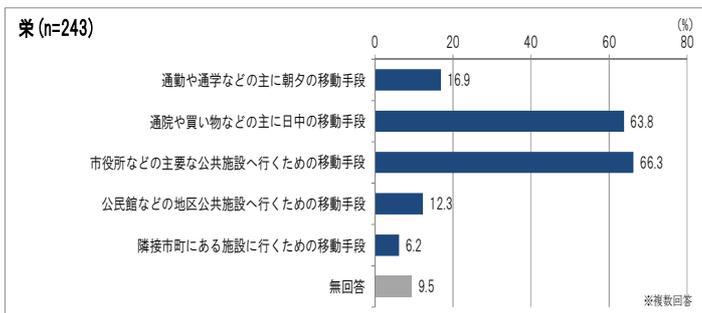
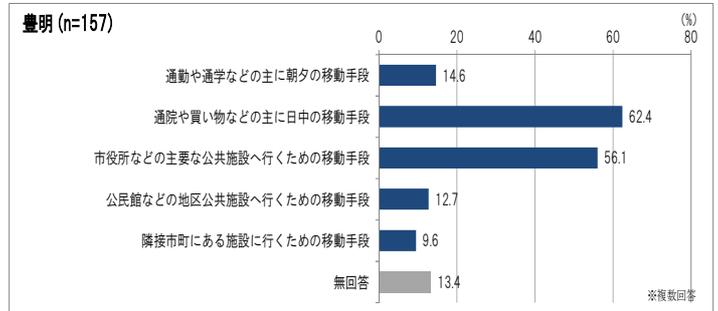
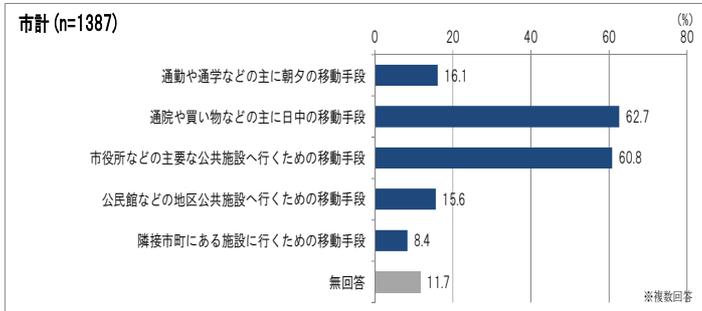
▼ ひまわりバスの利用対象者について



②ひまわりバスの運行目的について【問 12②】 ※複数回答

■「通院や買い物などの主に日中の移動手段」が約 63%を占め、次いで「主要な公共施設へ行くための移動手段」が約 61%を占める。

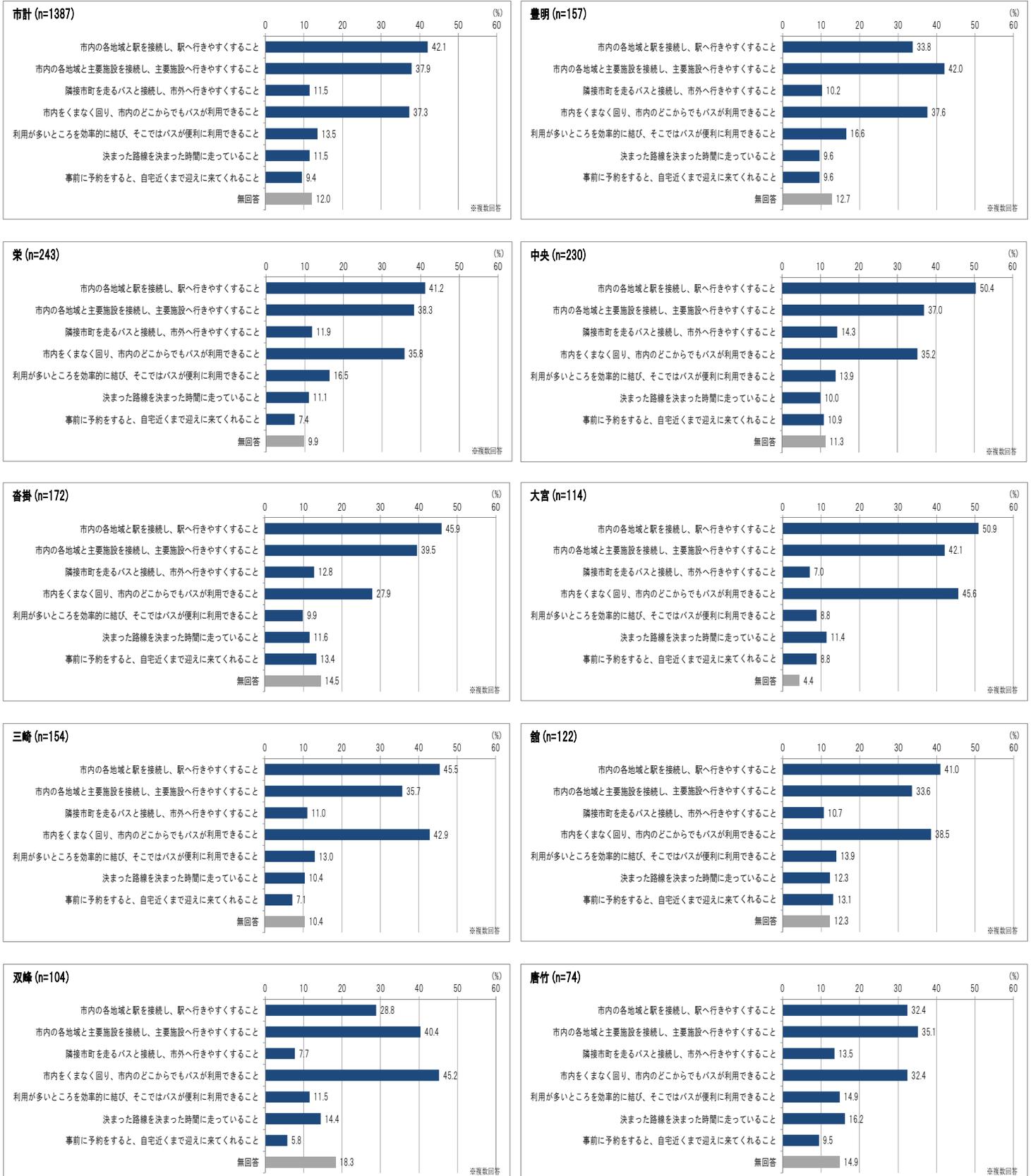
▼ひまわりバスの運行目的について



③ひまわりバスの運行形態について【問12③】 ※複数回答

■「駅へ行きやすくすること」が約42%を占め、次いで「主要施設へ行きやすくすること」約38%、「市内のどこからでもバスが利用できること」約37%を占める。

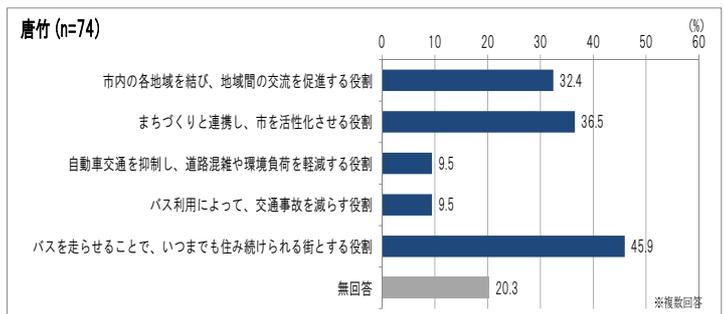
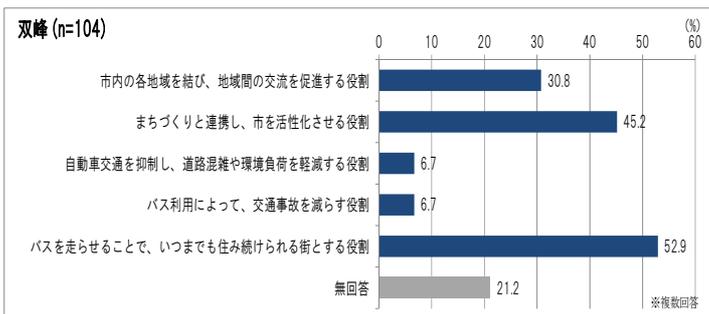
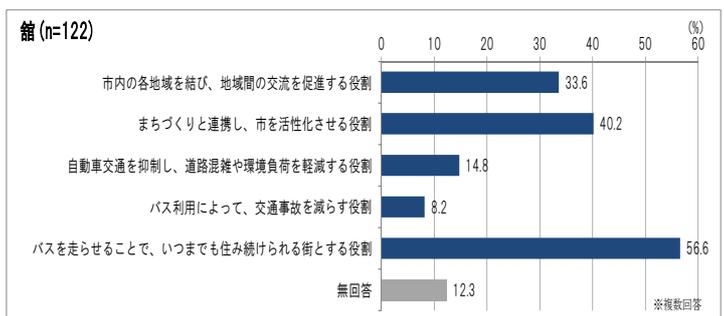
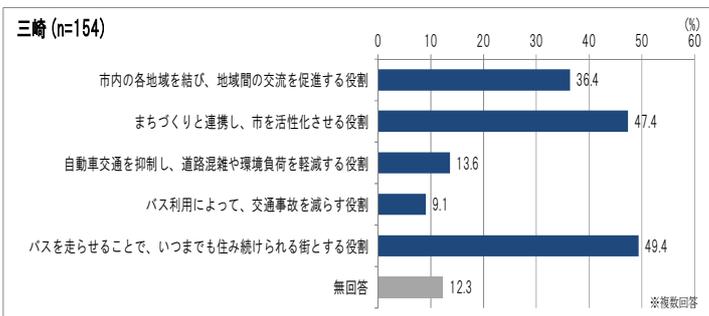
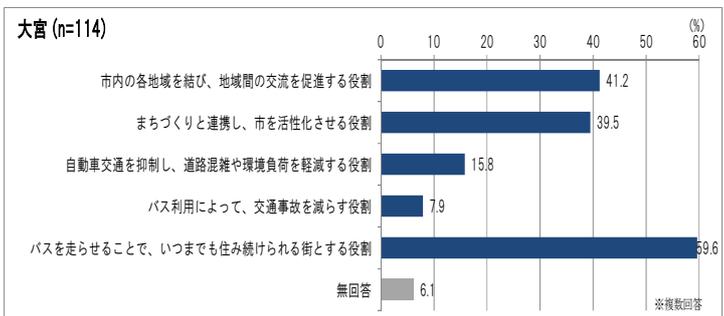
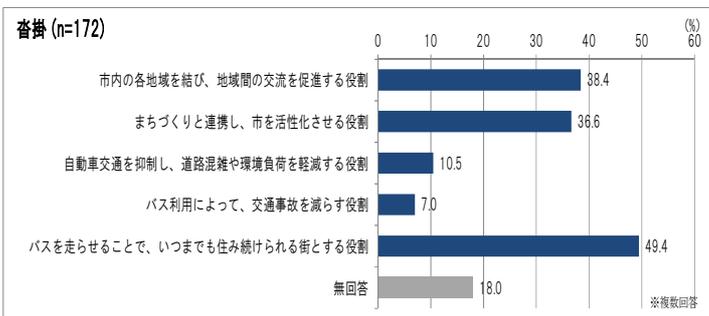
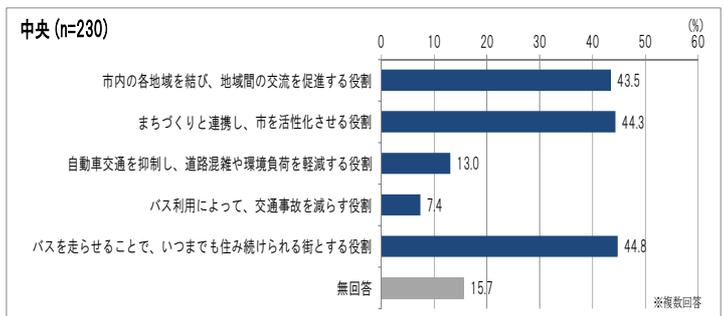
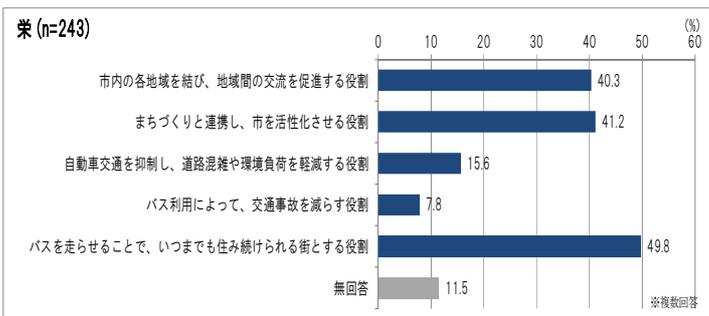
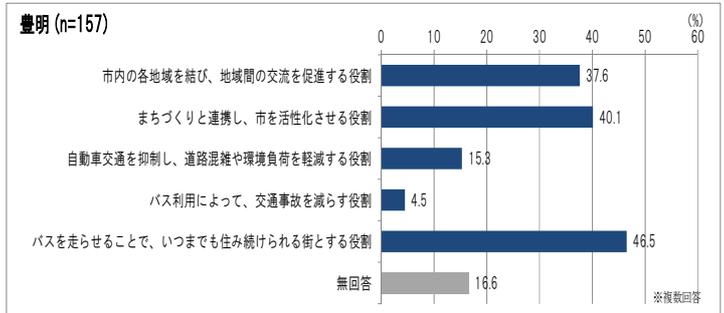
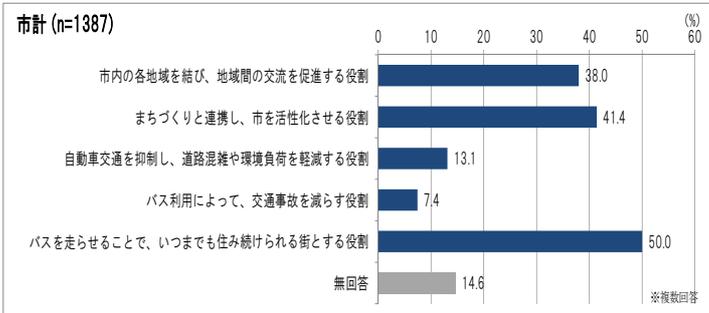
▼ひまわりバスの運行形態について



④ひまわりバスの役割について【問 12④】 ※複数回答

■「バスを走らせることで、いつまでも住み続けられる街とする役割」が50%を占め、次いで「まちづくりと連携し、市を活性化させる役割」が約41%を占める。

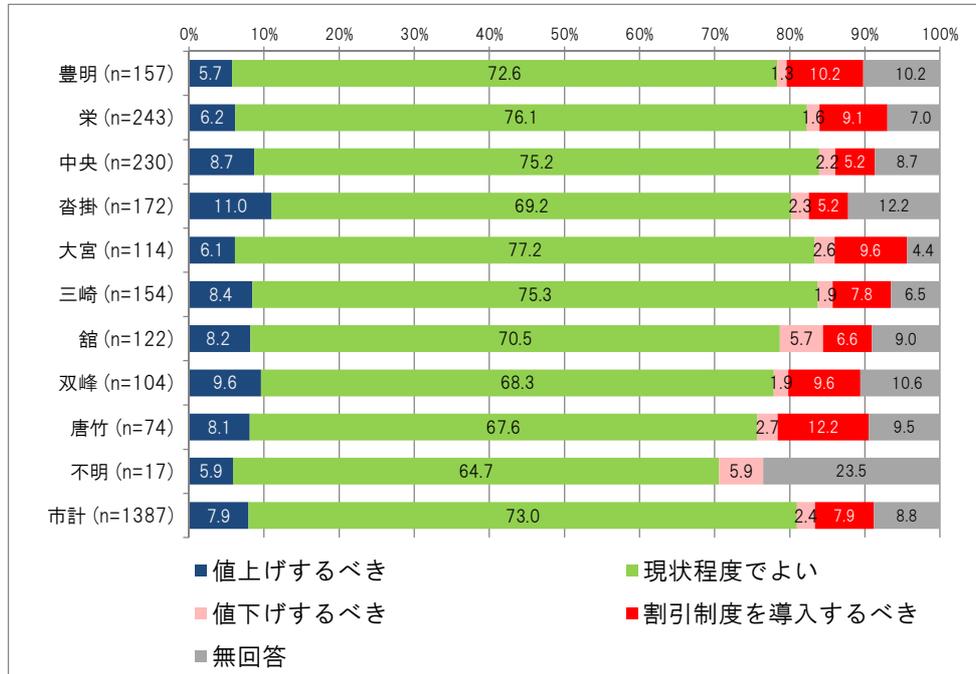
▼ひまわりバスの役割について



⑤ひまわりバスの運賃に対する考え【問13】

- 「現状程度でよい」が73%を占める。
- 「割引制度」の具体的な内容としては、高齢者に対する内容が大半を占める。

▼ひまわりバスの運賃に対する考え



「値上げすべき」の平均運賃 ⇒ 195.7円

「値下げすべき」の平均運賃 ⇒ 54.7円

NO.	割引制度の具体的な内容	NO.	割引制度の具体的な内容
1	70才以上は無料	32	65歳以上無料
2	高齢者は無料	33	高齢者無料バス
3	高齢者割引	34	年間所得に応じて(名古屋市の高齢者運賃制度)
4	高齢者フリーパスを有料で配布3,000円/年	35	1年間に利用し割引を多くする。年におうじて。
5	高齢者の無料化	36	1dayチケット
6	60才以上無料	37	65才以上は100円程度他は高く
7	高齢者は無料にする	38	乗り継ぎ割引
8	定期券制度	39	利用回数が多いと安くなること10回分の料金で11回分のれるなど
9	高齢者のみ月額500円程度のフリーパスのようなもので免許返納を促進させ、低所得者にも利用しやすくしたい	40	高齢者割引
10	高齢者割引	41	無料にするべき
11	65歳以上は無料	42	乗り継ぎの場合、料金増額はなし
12	往復に利用するなら150円に!!50円OFF	43	マナカ利用ができる
13	2時間以内の乗りつぎで半額に割引、往復割引など	44	高齢者1年間¥2,000バスにする
14	収入が年金のみの人への無料又は割引きバスの発行	45	65才以上無料を何故なくしたのか?
15	点数制にする。	46	0円
16	障害者、高齢者・乗りつぎ	47	運賃は距離によって変更しても良いが、高齢者や障害者は無料化すべき。
17	高齢者や障がい者の方は無料にしたらいと思います。	48	子育て世帯の定期券などの利用。
18	80才以上は無料でもいいと思う	49	高齢者半額
19	高齢者は半額	50	わからない
20	高齢者は無料にしてほしい	51	高齢者の無料化
21	高齢者は無料にする。	52	乗り継ぎにチケットを導入、子育て・高齢者割引
22	高齢者や障害者、子育て(はぐみんカード)など証明できるカードなどがあれば少し割引	53	高齢者、学生等、よく使う方には定期を発行しては、どうでしょう。
23	乗り継ぎ割引、1日乗車券、回数券、定期など	54	学生や高齢者を無料、一般を100円程度にすべき
24	路線の乗りかえが必要な時、1乗車の値段で行けるように。	55	高齢者の無料
25	よくひまわりバスを利用する人への割引	56	小学生以下や高齢者や障害者は無料
26	高齢割引	57	高齢者は名古屋市のようにバスを発行すべき
27	1乗車100円→乗り継ぎ50円	58	どうしても行かなければならない用事の人には無料券を用意する
28	市民は無料	59	乗り継ぎ割引、乗り継いだ場合は2乗車目は無料
29	回数券の様に10回利用で1回無料	60	60歳以上は無料にするべき
30	高齢者、障がい者、通勤通学者	61	鹿児島は敬老バス使える、お年寄りに優しく!
31	毎日使用する人に割引き。		

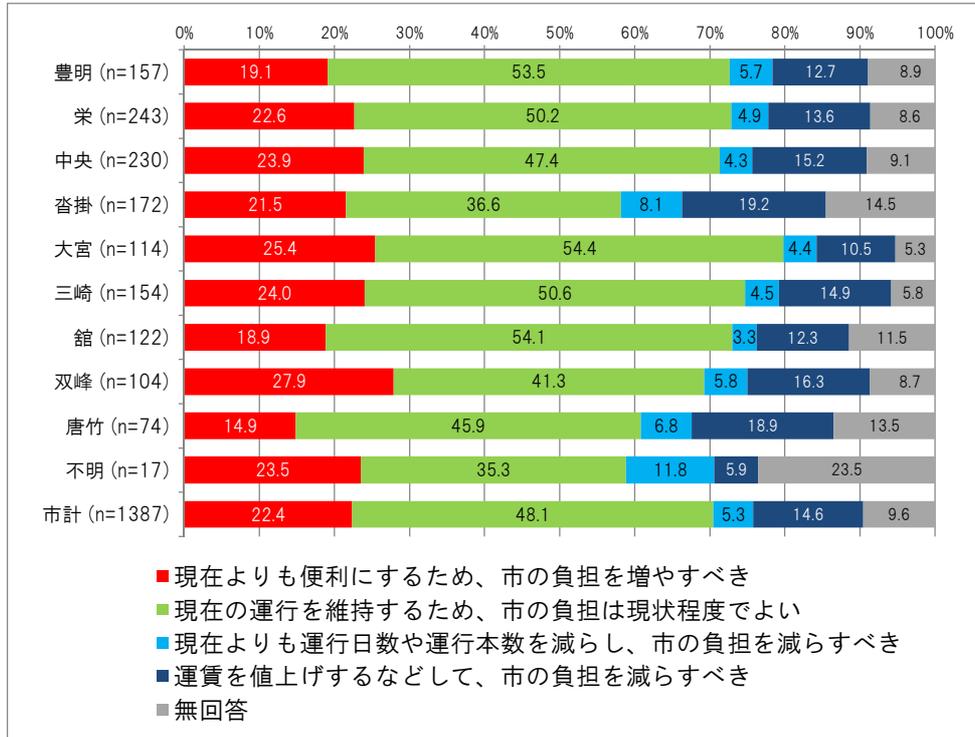
(10) 公共交通の費用負担と維持のあり方について

① 今後もひまわりバスを運行するための費用負担に対する考え【問 14】

■ 「市の負担は現状程度でよい」が約 48%を占める一方、「増やすべき」約 22%、「減らすべき」約 20%もそれぞれ存在する。

□ 沓掛地区では、「減らすべき」が約 27%を占め、双峰地区では、「増やすべき」が約 28%を占める。

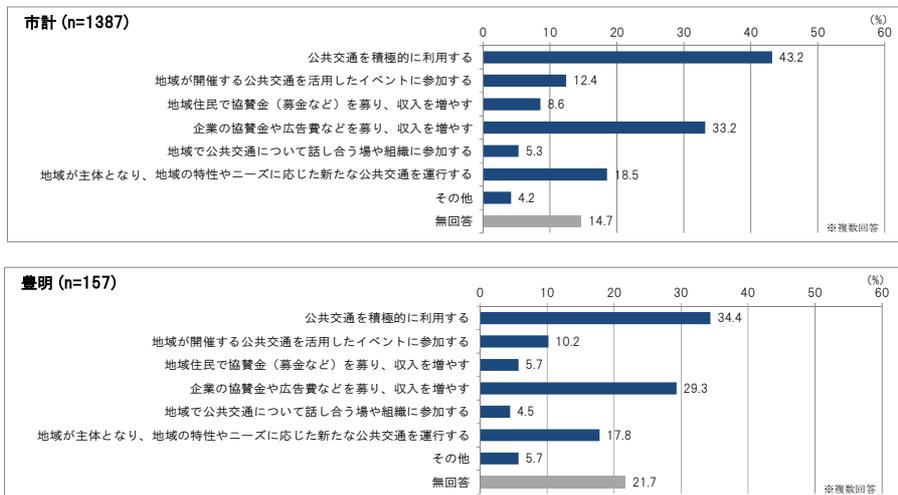
▼ 今後もひまわりバスを運行するための費用負担に対する考え

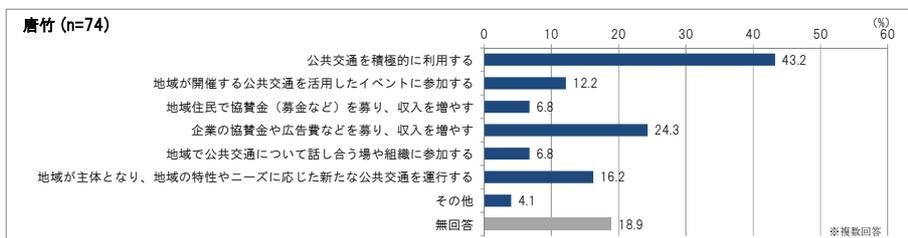
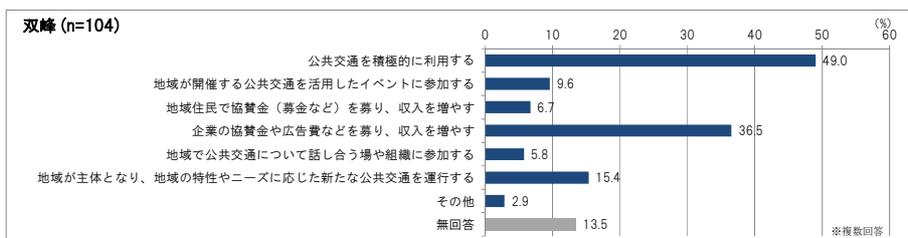
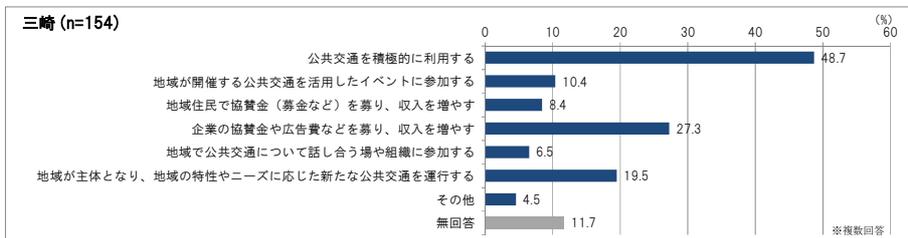
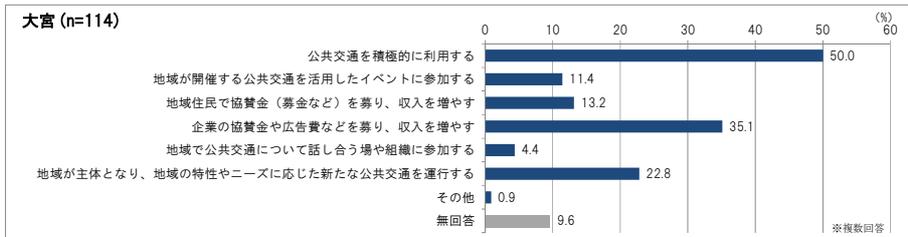
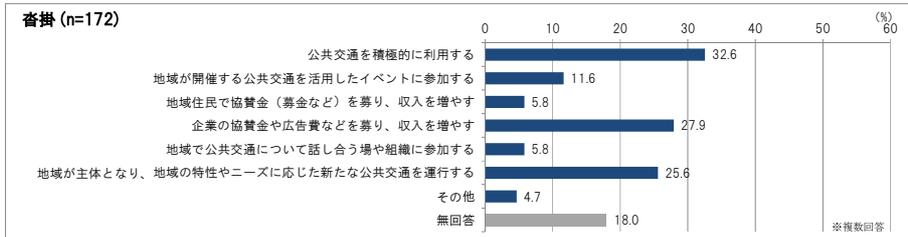
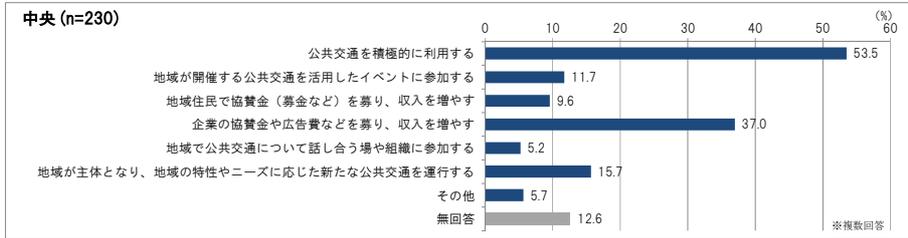
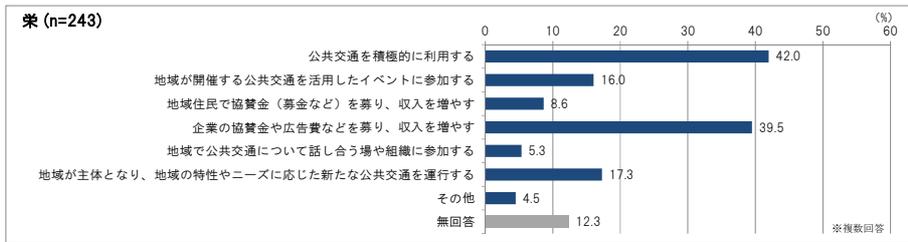


② 地域公共交通の維持のための取組みに対する参加意向について【問 15】 ※複数回答

■ 「公共交通を積極的に利用する」が約 43%を占め、次いで「企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす」が約 33%を占める。

▼ 地域公共交通の維持のための取組みに対する参加意向について





3) 調査票

豊明市公共交通に関する市民アンケート調査票

■あなた自身のことについて

問1 あなた自身のことについて、各項目で該当する番号1つに○をつけてください。

① 性別	1. 男性 2. 女性
② 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上
③ 職業	1. 会社・団体の役員 2. 会社員・団体職員・公務員 3. 自営業（農林水産業含む） 4. パート・アルバイト・派遣 5. 学生 6. 専業主婦（主夫） 7. 無職 8. その他
④ お住まいの小校区 ※分からない場合はお近くの 小学校名に○	1. 豊明小学校区 2. 栄小学校区 3. 中央小学校区 4. 杓掛小学校区 5. 大宮小学校区 6. 三崎小学校区 7. 館小学校区 8. 双峰小学校区 9. 唐竹小学校区
⑤ 運転免許証の保有状況	1. 運転免許証を保有している 2. 運転免許証を保有していない
運転免許証をお持ちの方のみ	⑥ 運転免許証を返納しようと思う年齢 1. 60歳頃 2. 65歳頃 3. 70歳頃 4. 75歳頃 5. 80歳頃 6. 85歳頃 7. 90歳頃 8. 運転免許証は返納しない 9. 既に運転免許証を返納した
	⑦ 運転免許証を返納した後に利用したい又は利用している主な移動手段 1. 鉄道 2. バス 3. タクシー 4. 自転車 5. 徒歩 6. 家族の送迎 7. その他（_____）

問2 鉄道やバスを利用する場合、あなたはどのくらいの所要時間であれば駅やバス停まで徒歩で移動してもよいですか。各手段について、該当する番号1つに○をつけてください。

	名鉄名古屋本線	名鉄バス・名古屋市営バス	ひまわりバス
自宅から駅やバス停までの徒歩での所要時間	① 1分 ② 3分 ③ 5分 ④ 10分 ⑤ 15分 ⑥ 20分以上	① 1分 ② 3分 ③ 5分 ④ 10分 ⑤ 15分 ⑥ 20分以上	① 1分 ② 3分 ③ 5分 ④ 10分 ⑤ 15分 ⑥ 20分以上

問3 あなたは普段の生活で、自動車を利用していますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 自分で自動車をよく運転している	2. 家族等が送迎する自動車をよく利用している
3. 自動車を利用することはあまりない	4. 自動車を利用しない

■普段の外出について

問4 あなたは日頃どのような“お出かけ”をされていますか。最も多いお出かけと、その次に多いお出かけについて、それぞれ内容を教えてください。

※目的地は差支えの無い範囲でその地名をお答えください。

※外出しない方、外出できない方は問5へお進みください。

	最も多いお出かけ	その次に多いお出かけ
目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 仕事などの業務 4. 買物 5. 通院 6. 送迎 7. 観光・レクリエーション 8. その他 (_____)	1. 通勤 2. 通学 3. 仕事などの業務 4. 買物 5. 通院 6. 送迎 7. 観光・レクリエーション 8. その他 (_____)
目的地 (1つに○)	1. 豊明市内 (_____) 町 2. 愛知県 (_____) 市 (_____) 区 3. (_____) 県 (_____) 市	1. 豊明市内 (_____) 町 2. 愛知県 (_____) 市 (_____) 区 3. (_____) 県 (_____) 市
外出頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日 6. 年に数日	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日 6. 年に数日
移動手段 (全てに○)	1. 名鉄名古屋本線 2. 名鉄バス 3. 名古屋市営バス 4. ひまわりバス 5. タクシー 6. 自動車 (自分で運転) 7. 自動車 (他の人に送迎) 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他 (_____)	1. 名鉄名古屋本線 2. 名鉄バス 3. 名古屋市営バス 4. ひまわりバス 5. タクシー 6. 自動車 (自分で運転) 7. 自動車 (他の人に送迎) 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他 (_____)
目的地への 到着時刻 (記入)	午前・午後 (_____) 時頃に到着	午前・午後 (_____) 時頃に到着
目的地からの 出発時刻 (記入)	午前・午後 (_____) 時頃に出発	午前・午後 (_____) 時頃に出発

問5 普段外出しない方、外出できない方にお聞きします。外出しない、外出できない理由を教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 1. 自動車が利用できないから | 2. 公共交通が不便だから | 3. 心身的な要因により外出が困難だから |
| 4. 外出する用事がないから | 5. その他 (_____) | |

■バスの認知度について

問6 あなたがバスについて知っていることを教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 市内を名鉄バスが走っていること | 2. 市内に名古屋市営バスのバス停があること |
| 3. 市内をひまわりバスが走っていること | 4. 自宅近くのバス停の位置 |
| 5. 自宅近くのバス停の名前 | 6. 自宅近くを走るバスの時刻表（ダイヤ） |
| 7. 自宅近くを走るバスの運行経路（ルート） | 8. 自宅近くを走るバスで行くことのできる施設 |
| 9. 自宅近くを走るバスの運賃 | 10. バスのことは何も知らない |

■鉄道の利用について

問7 あなたはこの1年間に名鉄名古屋本線を利用しましたか。

① 利用する頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 5. 利用していない
【利用している方のみ】 ② 満足度 (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満
【利用していない方のみ】 ③ 利用するための条件 (該当する選択肢番号3つまで記入)	1つ目：(____) 2つ目：(____) 3つ目：(____)
	<選択肢> ① 自宅から乗車駅までの移動手段があれば利用する ② 降車駅から目的地までの移動手段があれば利用する ③ バスと鉄道の乗り継ぎ時間が合えば利用する ④ 駅まで行くバスの遅延が無ければ利用する ⑤ 自宅などから最寄りバス停まで近ければ利用する ⑥ 駅まで行くバスの運賃が安ければ利用する ⑦ 駅まで行くバスのダイヤやルートなどの情報がわかれば利用する ⑧ その他 (_____)
【利用していない方のみ】 ④ ③の条件が改善された場合の今後の利用意向 (1つに○)	1. 必ず利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない

■バスの利用について

問 8 あなたはこの1年間にバス（名鉄バス、名古屋市営バス、ひまわりバス）を利用しましたか。それぞれの利用についてお答えください。

	名鉄バス	名古屋市営バス	ひまわりバス
① 利用する頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 5. 利用していない	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 5. 利用していない	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 5. 利用していない
【利用している方のみ】 ② 満足度 (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満
【利用していない方のみ】 ③ 利用するための条件 (該当する選択肢番号3つまで記入)	1つ目：() 2つ目：() 3つ目：()	1つ目：() 2つ目：() 3つ目：()	1つ目：() 2つ目：() 3つ目：()
	<選択肢> ① 運行本数が多ければ利用する ② 始発時間が早く、終発時間が遅ければ利用する ③ 遅延が無ければ利用する ④ 鉄道や他のバスとの乗り継ぎ時間が合えば利用する ⑤ 車内が空いていれば利用する ⑥ 自宅や目的地などから最寄りバス停まで近ければ利用する ⑦ 行きたい施設を経由する路線があれば利用する ⑧ 目的地まで最短ルートで運行されれば利用する ⑨ 予約すると自宅や目的地まで迎えに来てくれれば利用する ⑩ バス停にベンチや屋根が整備されれば利用する ⑪ 運賃の割引制度があれば利用する ⑫ バスのダイヤやルートなどの情報がわかれば利用する ⑬ 車いすでも気軽に乗れる環境があれば利用する ⑭ 杖やカート（押し車）でも気軽に乗れる環境があれば利用する ⑮ その他 ()		
【利用していない方のみ】 ④ ③の条件が改善された場合の今後の利用意向 (1つに○)	1. 必ず利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない	1. 必ず利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない	1. 必ず利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない

■タクシーの利用について

問9 あなたはこの1年間にタクシーを利用しましたか。

① 利用する頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 5. 利用していない
【利用している方のみ】 ② 利用の理由 (該当するもの全てに○)	1. 電車の始発前・終発後だったから 2. バスの始発前・終発後だったから 3. 電車やバスでは行けなかったから 4. 飲酒していたから 5. 体調不良だったから 6. 急いでいたから 7. 暑かった・寒かったから 8. 荷物があって大変だったから 9. その他 ()
【利用している方のみ】 ③ 満足度 (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満
【利用していない方のみ】 ④ 利用するための条件 (該当する選択肢番号3つまで記入)	1つ目：() 2つ目：() 3つ目：() <選択肢> ① タクシーの割引券があれば利用する ② 携帯電話やスマートフォンで呼び出しができれば利用する ③ バスとの乗り継ぎ割引があれば利用する ④ 車いすで利用できれば利用する ⑤ その他 ()
【利用していない方のみ】 ⑤ ③の条件が改善された場合の今後の利用意向 (1つに○)	1. 必ず利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない

■公共交通に対する満足度について

問10 現在の豊明市内の鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段ですか。公共交通全体に対する満足度として該当する番号1つに○をつけてください。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

■バスで行きたい施設について

問 11 あなたが普段利用する施設について、①バスで行きたい施設（現在バスで行ける施設を含む。）を豊明市内・市外（周辺市町）それぞれ3つまで記入してください。市外については施設のある市町に○をつけていただき、その施設の②利用頻度、③利用時間帯、④現在の交通手段に該当する番号1つに○をつけてください。

	①バスで行きたい施設（具体的な施設名称を記入してください）	②利用頻度（1つに○）	③利用時間（時間を記入）	③現在の交通手段（1つに○）
記入例	具体的な施設名 △△△スーパー〇〇店 *〇〇店などの具体的な名称まで記入してください。	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ ④ 週に数日 5. 月に数日	(9:30) 時頃に到着し、 (11:00) 時頃に出発	① 車・バイク 2. 名鉄名古屋本線 3. 路線バス・ひまわりバス 4. その他 ()
豊明市内	具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 名鉄名古屋本線 3. 路線バス・ひまわりバス 4. その他 ()
	具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 名鉄名古屋本線 3. 路線バス・ひまわりバス 4. その他 ()
	具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 名鉄名古屋本線 3. 路線バス・ひまわりバス 4. その他 ()
周辺市町	1. 名古屋市 2. 日進市 3. 東郷町 4. みよし市 5. 刈谷市 6. 大府市 具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 鉄道 3. 路線バス 4. その他 ()
	1. 名古屋市 2. 日進市 3. 東郷町 4. みよし市 5. 刈谷市 6. 大府市 具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 鉄道 3. 路線バス 4. その他 ()
	1. 名古屋市 2. 日進市 3. 東郷町 4. みよし市 5. 刈谷市 6. 大府市 具体的な施設名 ()	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日	(:) 時頃に到着し、 (:) 時頃に出発	1. 車・バイク 2. 鉄道 3. 路線バス 4. その他 ()

■公共交通の費用負担と維持のあり方について

現在、豊明市のひまわりバスは年間約17万人の方が利用しています。

ひまわりバスの運行には、年間約5,600万円の運行経費が必要です。この運行を確保するため、豊明市は年間約4,700万円（市民一人当たり年間約700円）の公的費用を投入しています。

問14 今後もひまわりバスを運行するための費用負担に対して、あなたの考えに該当する番号1つに○をつけてください。

1. 現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき
2. 現在の運行を維持するため、市の負担は現状程度でよい
3. 現在よりも運行日数や運行本数を減らし、市の負担を減らすべき
4. 運賃を値上げするなどして、市の負担を減らすべき

問15 近年、地域住民（自治会やNPO等の団体）が中心となり、バスのルートやダイヤをはじめ、バスの利用を促す取組みなどについて検討し、地域の公共交通を維持するという試みが全国各地で行われ始めています。地域の公共交通を維持するために、あなたが取り組んだり、参加してもよいと思うものは何ですか。

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 公共交通を積極的に利用する
2. 地域が開催する公共交通を活用したイベントに参加する
3. 地域住民で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす
4. 企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす
5. 地域で公共交通について話し合う場や組織に参加する
6. 地域が主体となり、地域の特性やニーズに応じた新たな公共交通を運行する
7. その他（_____）

■公共交通に対する考えやアイデアについて

問16 こんなバスがあったら便利！ こんなイベントを行えば公共交通の利用が増える！など公共交通の利便性を高めるアイデアを自由に記入してください。

<自由意見欄>（記入例）隣接市町のコミュニティバスに乗り継げるようにして欲しい。

【資料2-2】

バス乗降調査結果報告

平成 28 年 10 月

豊 明 市

目 次

1) 調査の実施概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象 及び 調査方法	1
(3) 票数	1
(4) 数値の統計的な取り扱いについて	1
2) 調査の詳細結果.....	2
(1) 回答者の属性について	2
(2) 利用実態について	3
(3) バスの満足度について	7
(4) バス停乗降数について	8
3) 調査票.....	12

1) 調査の実施概要

(1) 調査の目的

名鉄名古屋本線、名鉄バス、名古屋市営バス、ひまわりバス、タクシーといった市内の公共交通の総合的な計画である「豊明市地域公共交通網形成計画」の策定にあたっての基礎資料として、市内を運行するバスの利用者属性や、乗降バス停、乗り継ぎ状況等の詳細な利用特性を把握することを目的とする。

(2) 調査対象 及び 調査方法

項目	内容
調査対象	豊明市内を運行するバス路線（名鉄バス、ひまわりバス）の対象便全利用者（名鉄バスの対象便はサンプリング、ひまわりバスは全便を対象）
調査方法	バス車内でのヒアリング
調査時期	名鉄バス：平成 28 年 9 月 13 日（火）、18（日） ひまわりバス：平成 28 年 9 月 13 日（火）、14 日（水）、18（日）
調査地域	豊明市

(3) 票数

路線名	票数
ひまわりバス 1 号	568
ひまわりバス 2 号	597
ひまわりバス 3 号	225
名鉄バス勅使台線	216
名鉄バス豊明団地線	1,228
名鉄バス豊明団地線（循環）	135
名鉄バス文化会館線	367
名鉄バス祐福寺線	120
名鉄バス吉池団地線	492

(4) 数値の統計的な取り扱いについて

比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100%を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記した。

設問に対する回答者の母数は“n=〇”として表記した。

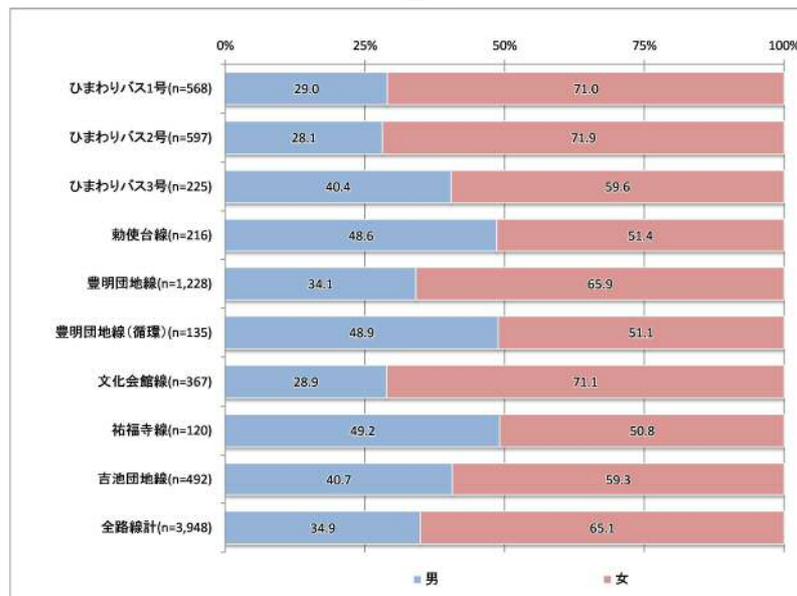
2) 調査の詳細結果

(1) 回答者の属性について

①性別

■全体では「女性」の割合が高いが、名鉄バス勅使台線、豊明団地線（循環）、祐福寺線はほぼ半数ずつとなっている。

▼性別

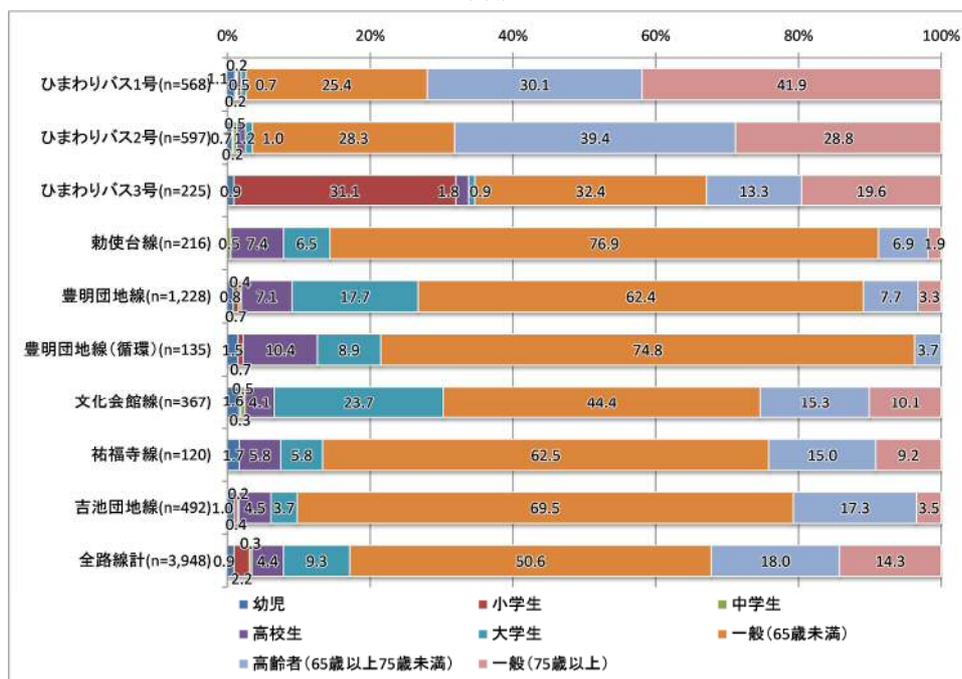


②年齢

■ひまわりバス1号、2号は「65歳以上」の高齢者が約8割を占めるが、ひまわりバス3号は「小学生」の利用が約3割を占める。

■名鉄バス勅使台線、豊明団地線（循環）は「一般（65歳未満）」の利用が約7～8割と多く、文化会館線は「大学生」の利用が約2割と多くなっている。

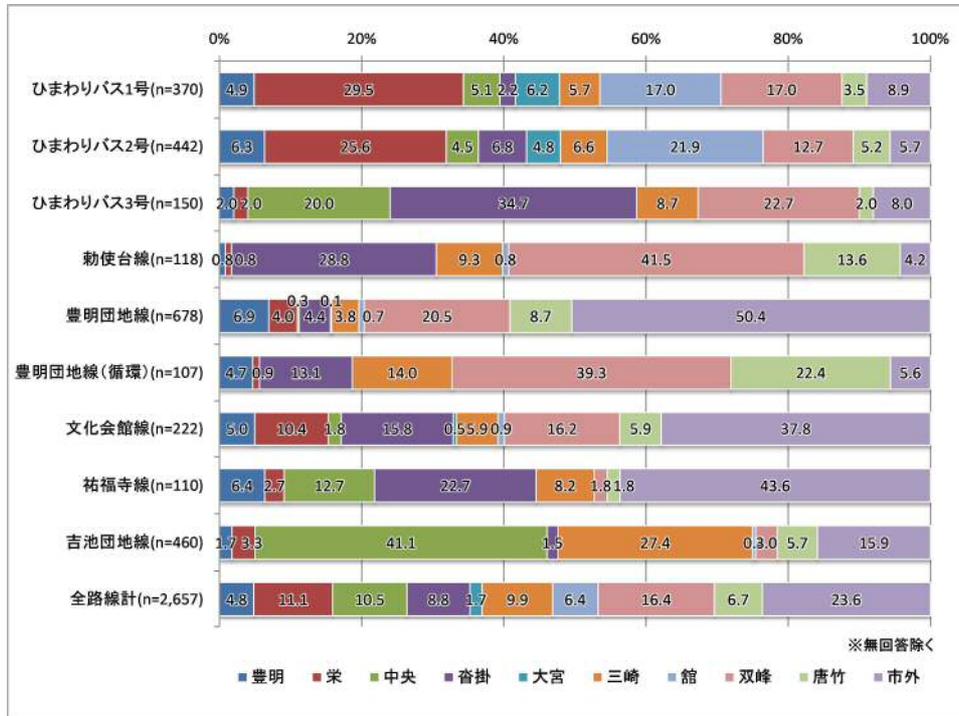
▼年齢



③居住地

■名鉄バス豊明団地線、文化会館線、祐福寺線は、「豊明市外居住者」の利用が約4～5割と多くなっている。

▼居住地

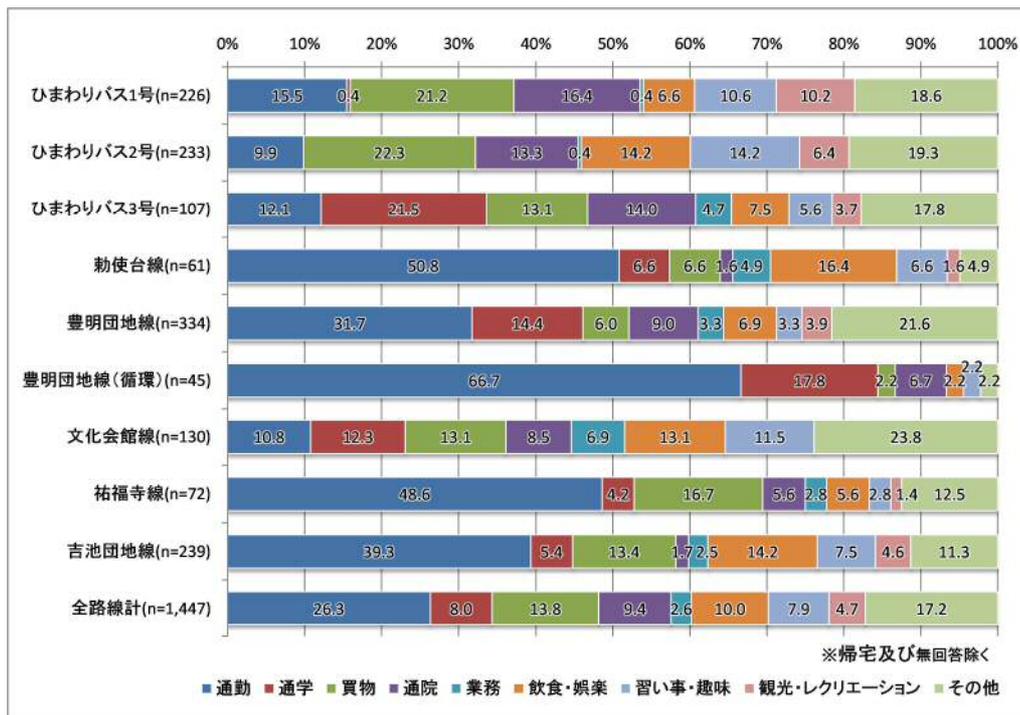


(2) 利用実態について

①利用目的

■名鉄バス勅使台線、豊明団地線（循環）、祐福寺線は、「通勤」目的の利用が約5～7割と多くなっている。

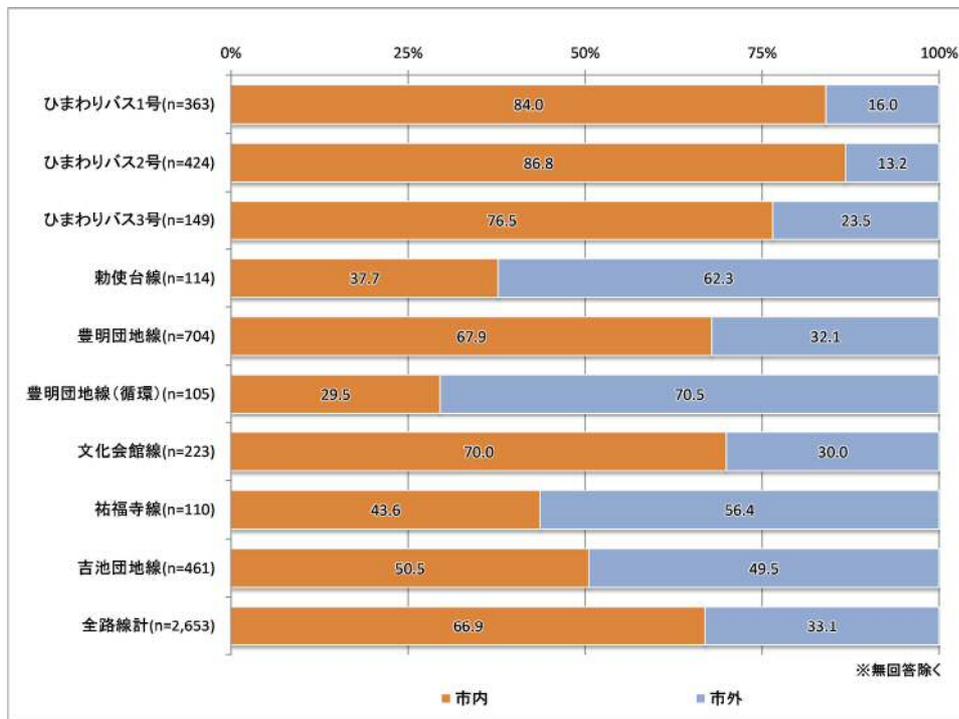
▼利用目的



②最終目的地

■ひまわりバス、名鉄バス豊明団地線、文化会館線は、「豊明市内」を最終目的地とする移動が約7割と多くなっている。

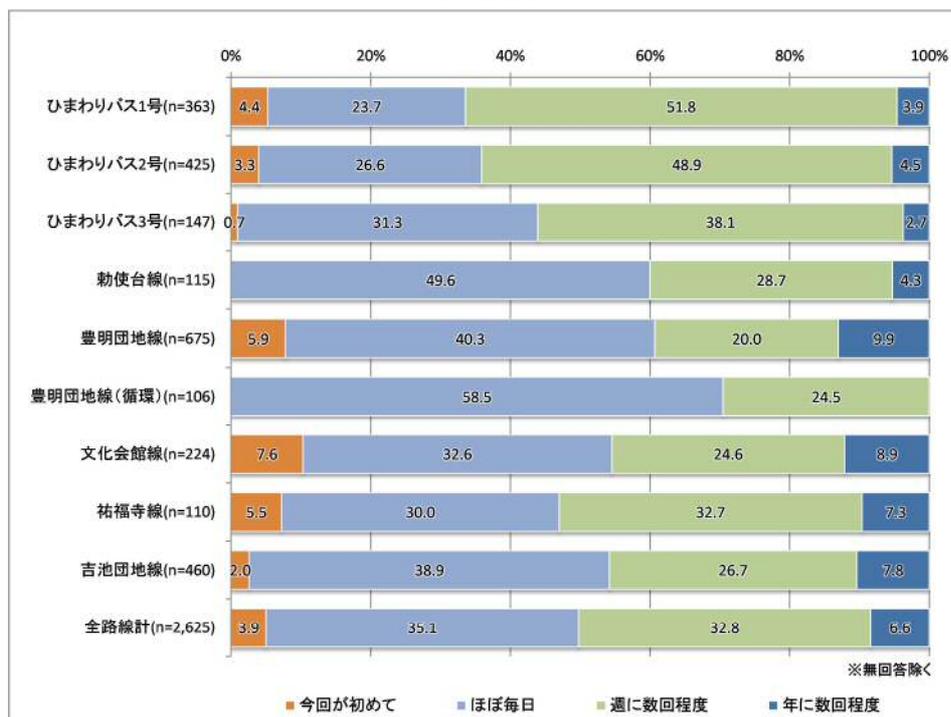
▼最終目的地



③利用頻度

■名鉄バス勅使台線、豊明団地線（循環）は「ほぼ毎日」の利用が約5～6割と多く、ひまわりバスは「週に数回程度」の利用が約4～5割と多くなっている。

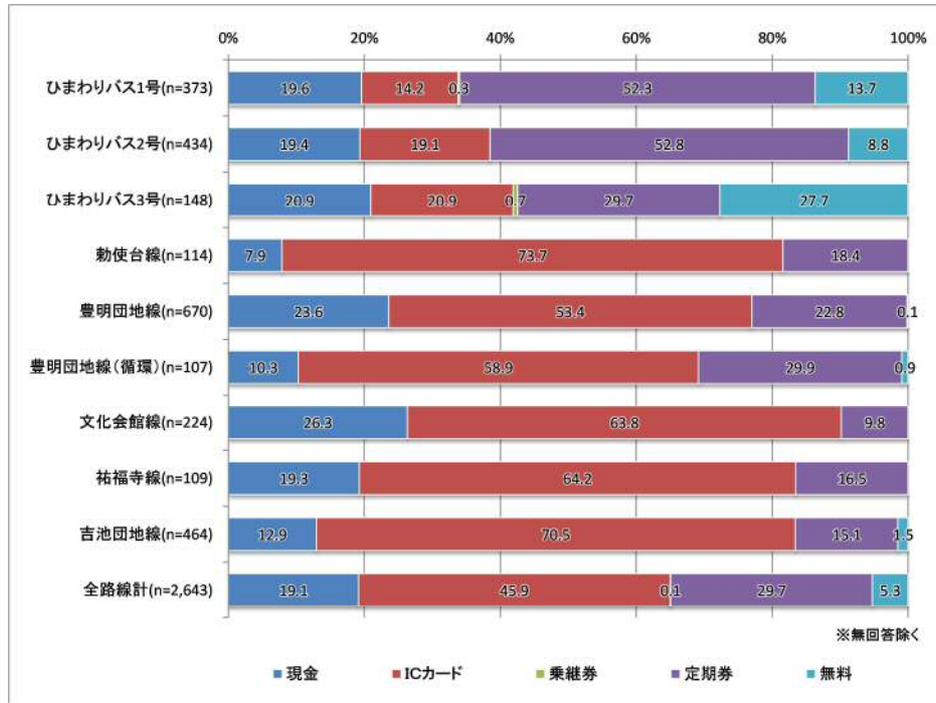
▼利用頻度



④支払方法

■ひまわりバス1号、2号は「定期券」での利用が約5割と多く、名鉄バス各線は「ICカード」での利用が約5～7割と多くなっている。

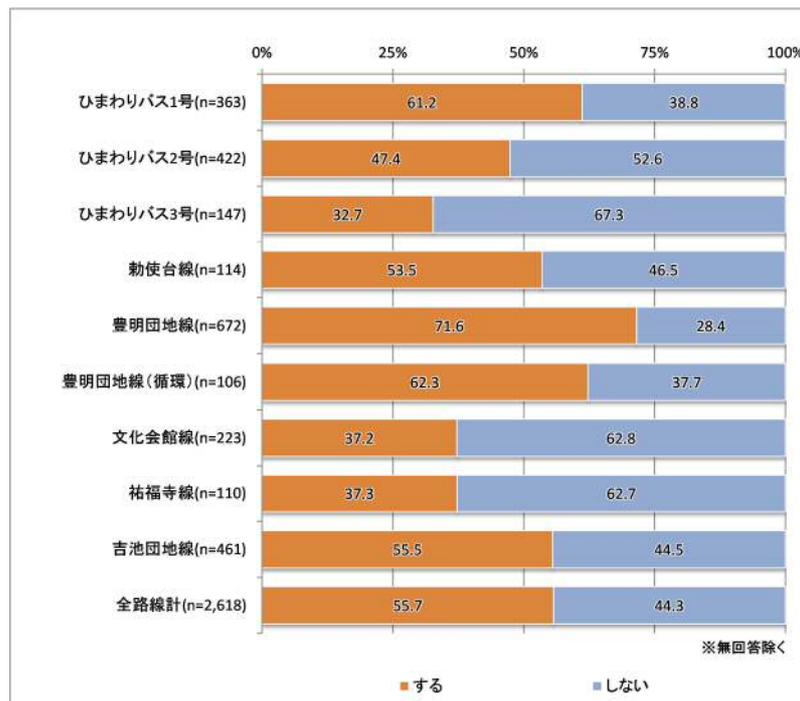
▼支払方法



⑤往復利用

■ひまわりバス1号、名鉄バス豊明団地線、豊明団地線（循環）は、往復利用する割合が約6～7割と高くなっている。

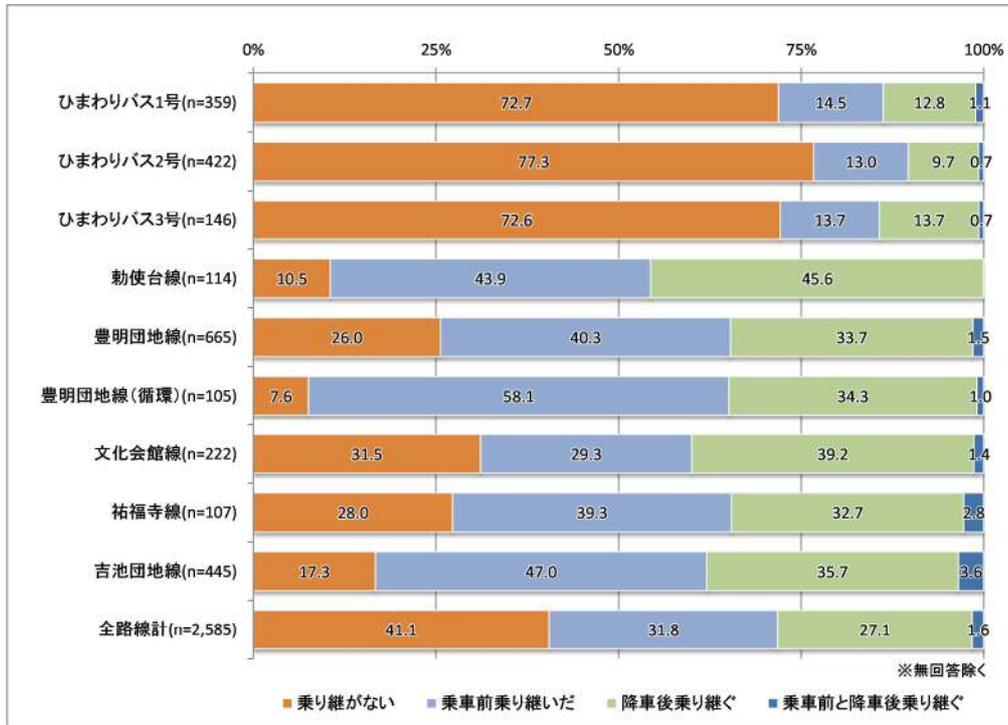
▼往復利用



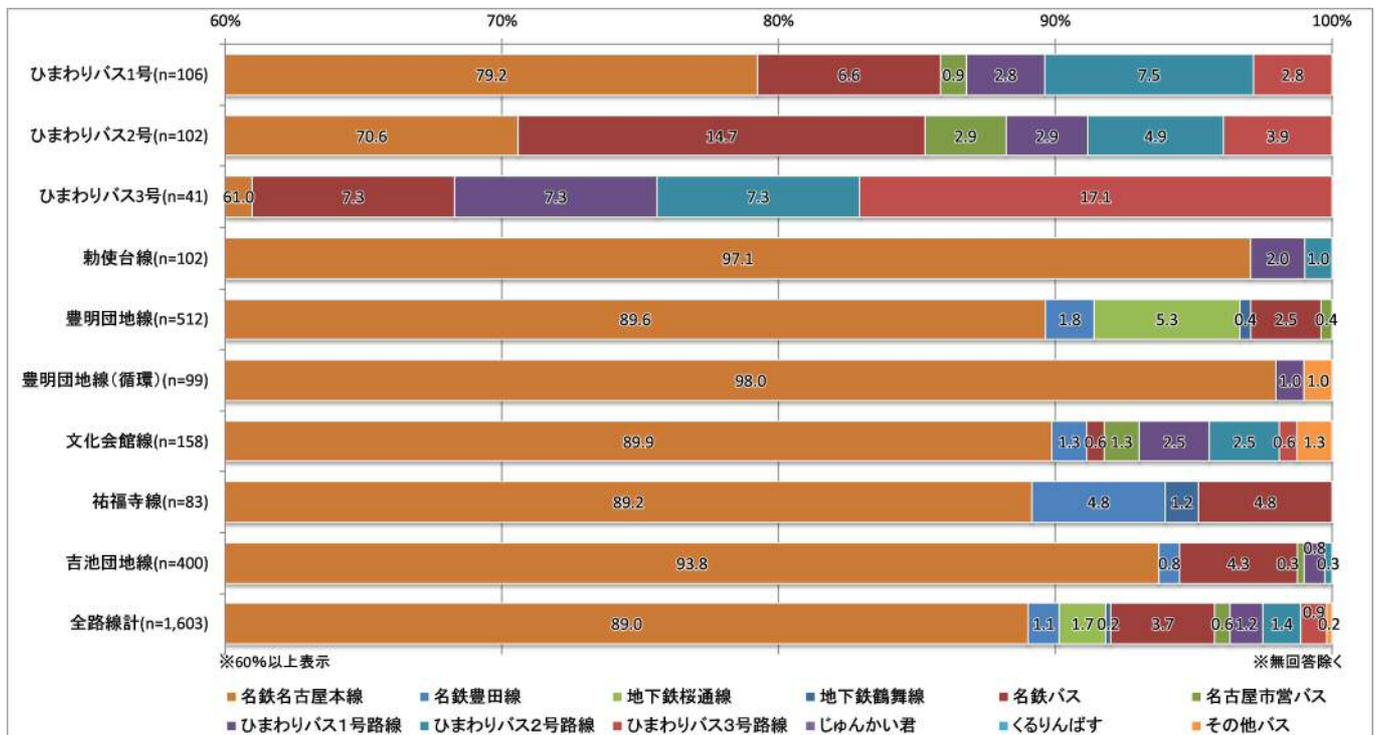
⑥乗り継ぎ状況

■ ひまわりバス利用者の約7～8割は乗り継ぎをしていない。
 ■ 名鉄バスの乗り継ぎ先は、「名鉄名古屋本線」が約9割以上を占める。

▼乗り継ぎ状況



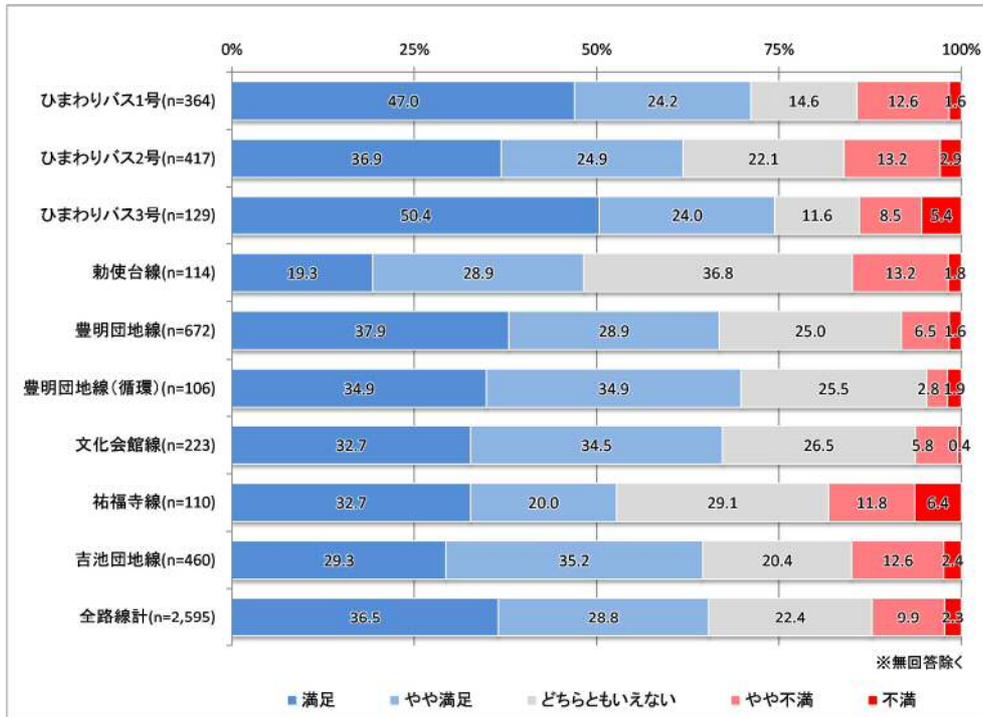
▼乗り継ぎ先交通手段



(3) バスの満足度について

- いずれの路線も「満足」「やや満足」が約半数を上回っている。
- ひまわりバス3号、名鉄バス祐福寺線は相対的に「不満」の割合が高い。

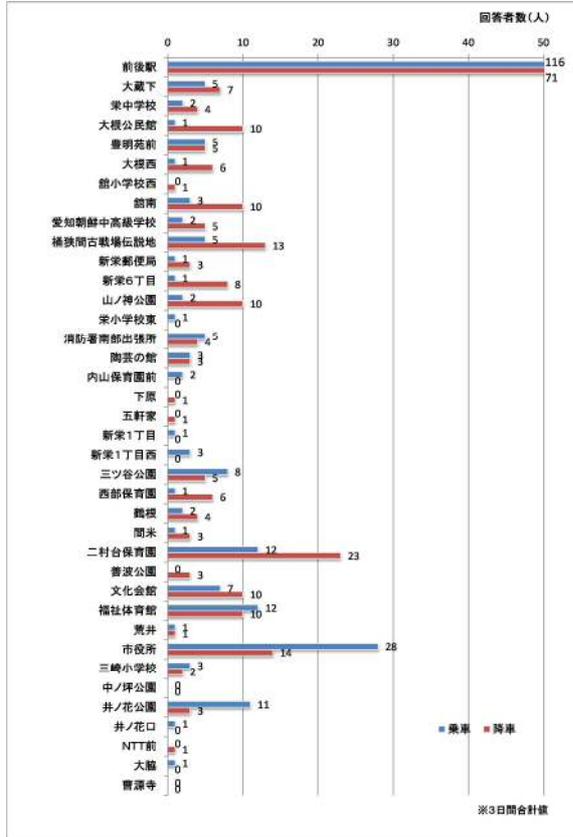
▼満足度



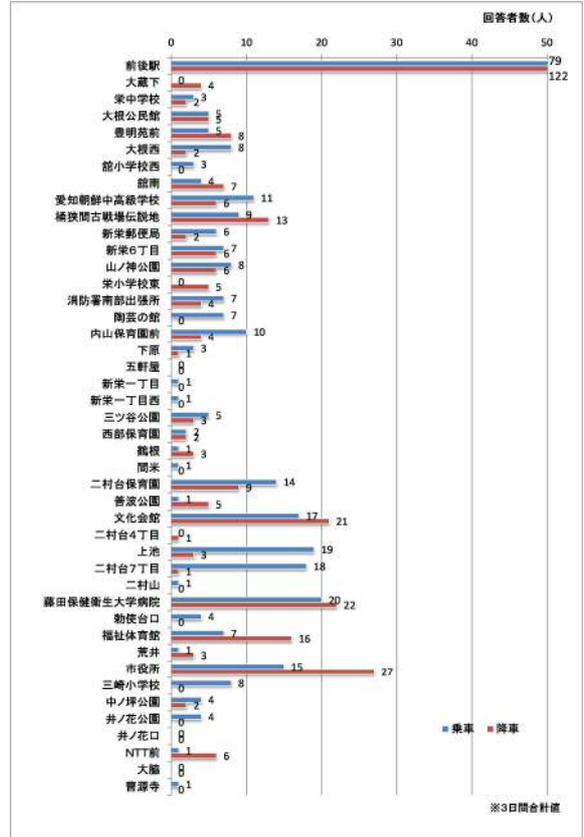
(4) バス停乗降数について

- 「前後駅」「藤田保健衛生大学病院」での乗降が多い。
- ひまわりバスでは、3日間で乗降者数が「0」のバス停も存在する。

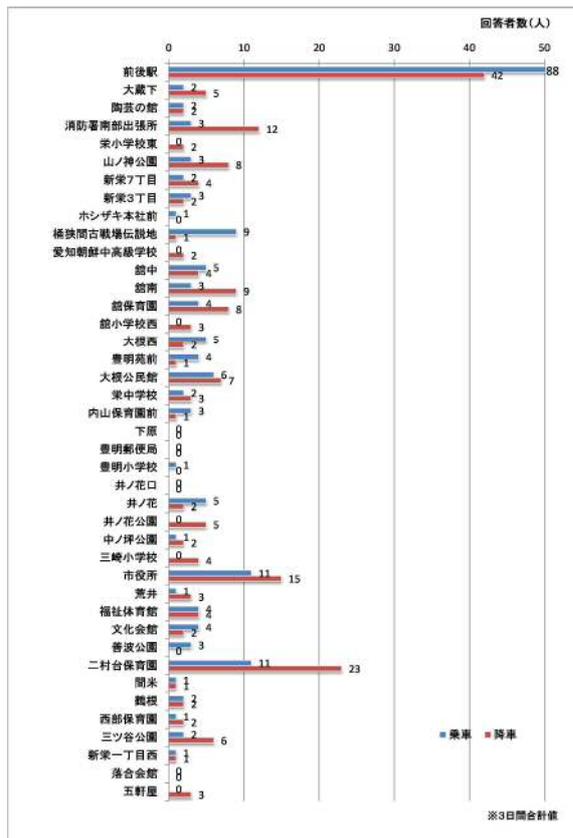
▼ひまわりバス1号 Aコース



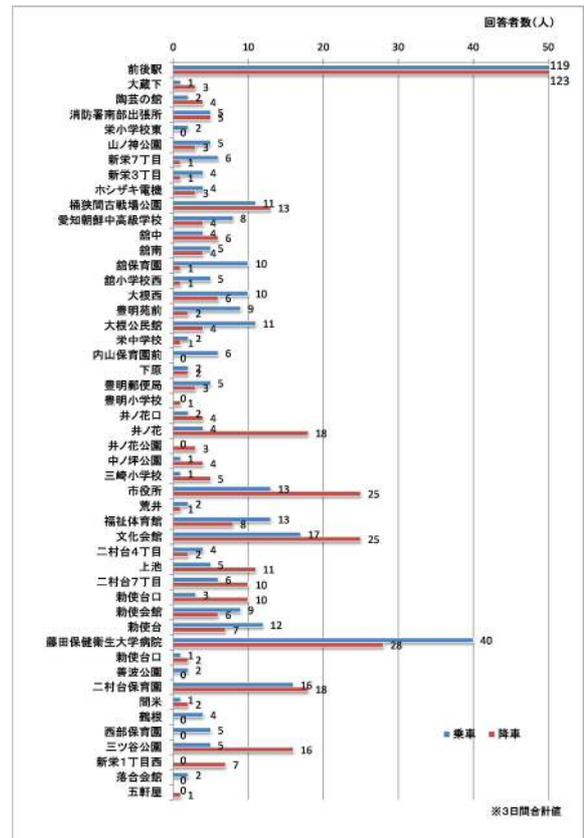
▼ひまわりバス1号 Bコース



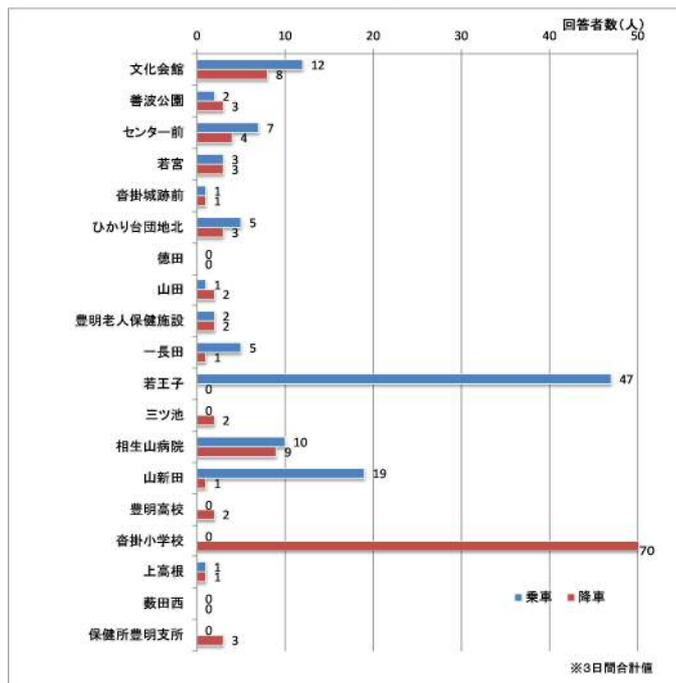
▼ひまわりバス2号 Aコース



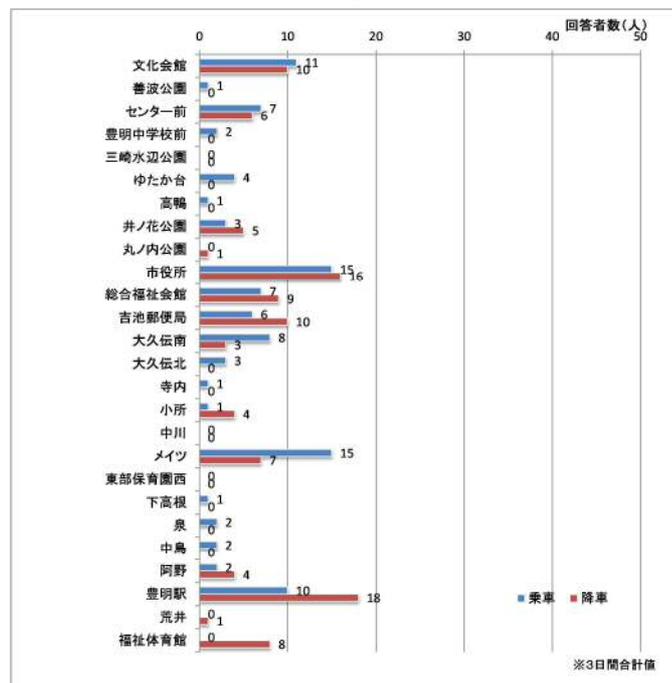
▼ひまわりバス2号 Bコース



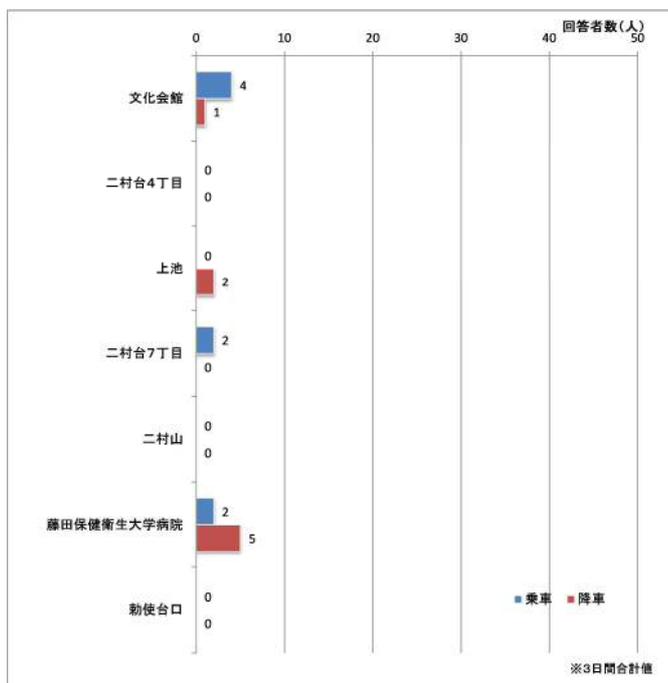
▼ひまわりバス 3号 Aコース



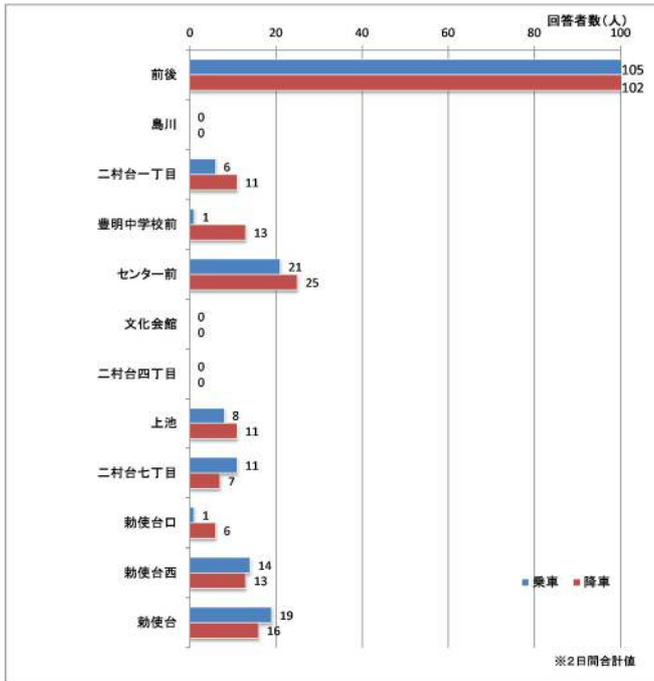
▼ひまわりバス 3号 Bコース



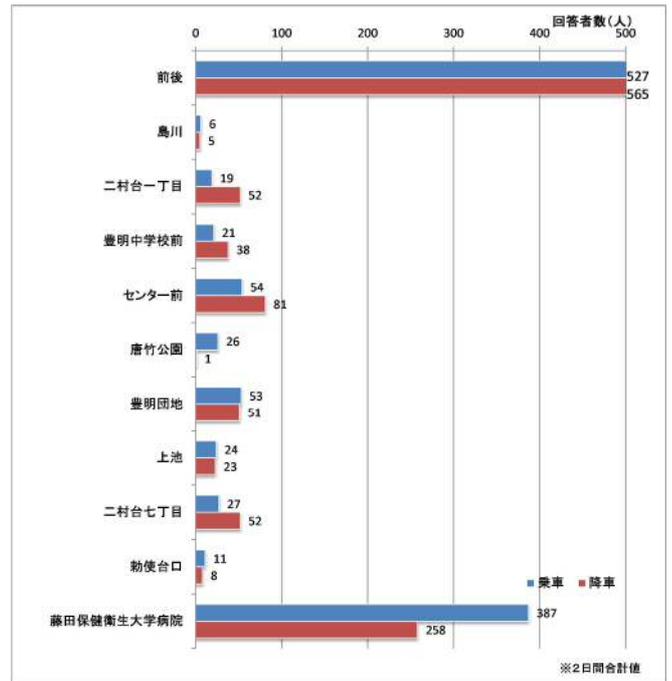
▼ひまわりバス 3号 Cコース



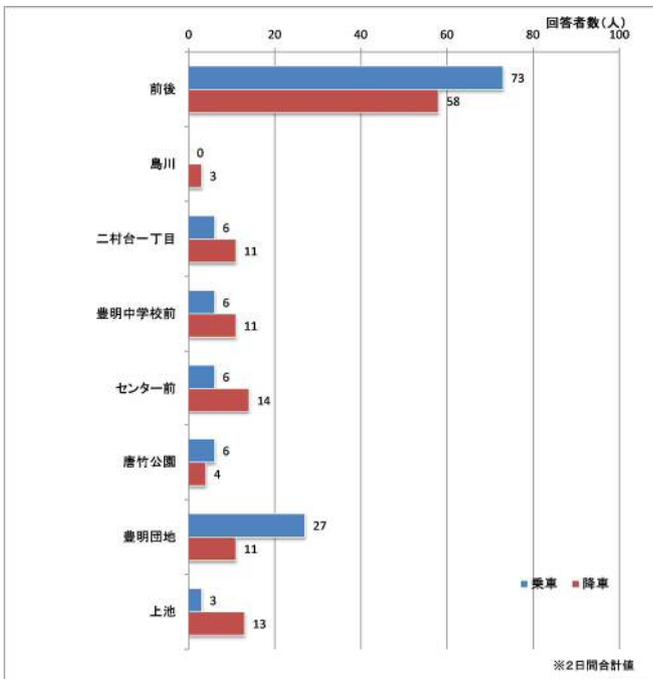
▼名鉄バス勅使台線



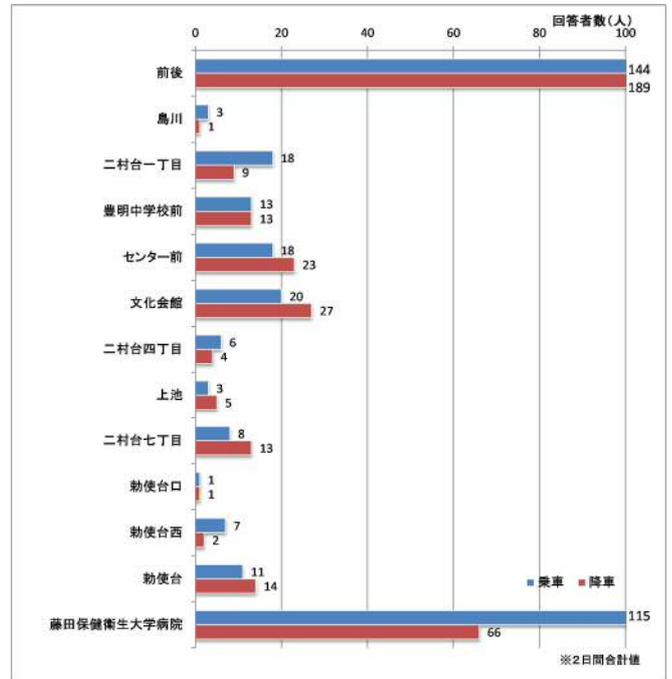
▼名鉄バス豊明団地線



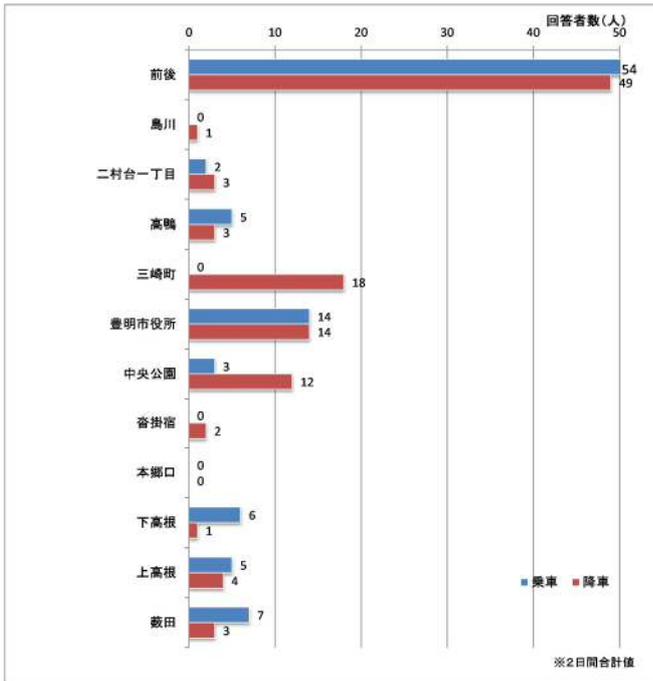
▼名鉄バス豊明団地線 (循環)



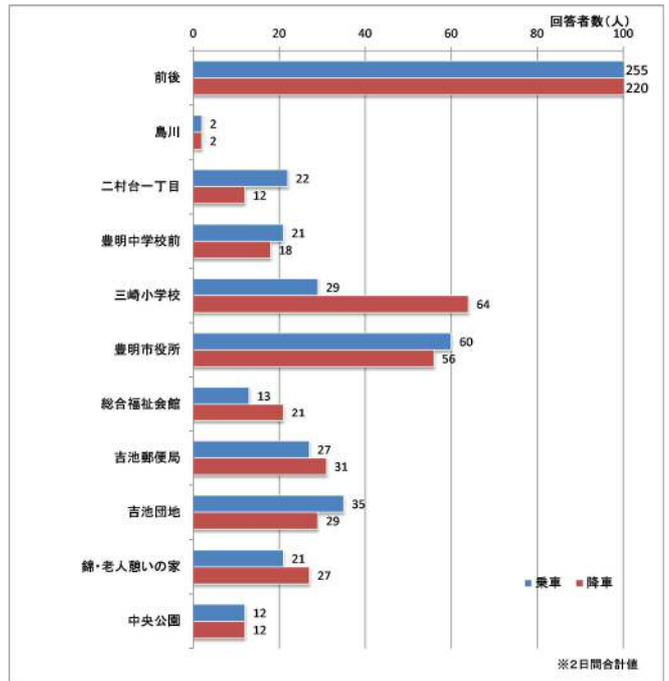
▼名鉄バス文化会館線



▼名鉄バス祐福寺線



▼名鉄バス吉池団地線



3. 事業スケジュール

	H28.7	8	9	10	11	12	H29.1	2	3
1. 豊明市の地域特性と公共交通の現状整理									
ア 豊明市の地域特性の整理		データ収集	特性整理						
イ 上位・関連計画の整理		資料収集	計画整理						
ウ 公共交通の現状整理		データ収集	現状整理						
2. 豊明市内の公共交通分析									
ア 市民アンケート		調査票設計	修正	実施	入力	集計	分析		
イ 乗降調査		調査票設計	修正	実施	入力	集計	分析		
ウ 利用者アンケート		調査票設計	修正	配布	回収	入力	集計	分析	
エ 主要集客施設調査				実施	入力	集計	分析		
オ バス運転士をはじめとした関係団体等への調査									
3. 隣接自治体の交通分析及び整理									
ア 隣接自治体におけるまちづくり等計画の整理		資料・データ収集	公共交通の現状整理	まちづくり計画の整理					
イ 広域的公共交通NW形成の課題整理									課題整理
4. 公共施設巡回バス利用状況調査									
ア 利用者アンケート		調査票設計		配布	回収	入力	集計	分析	
イ 乗降調査		調査票設計		実施	入力	集計	分析		
ウ パーソントリップ調査		分析項目設定	データ提供申請	データ分析					
5. 形成計画案とりまとめ									
ア 豊明市の地域公共交通の課題の整理									
イ 形成計画案策定									
①豊明市が目指す都市像									
②公共交通維持・活性化の基本方針									
③計画の区域と計画期間									
④地域公共交通に関する総合的な計画の目標及びその管理方法									
⑤目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項									
6. 地区別懇談会開催支援(5地区合同開催で1回)									
7. 協議会の開催及び運営等支援(第1回はH28.4に開催済)									
8. 打合せ協議									

交通事業者
関係団体

課題整理

とりまとめ

準備 開催 整理

◆第2回
(調査概要)

◆第3回◆
(ニーズ結果)

◆第4回
(課題・基本方針)

◆第5回
(事業・評価)

○

○

○

○

○



皆さんにとって
鉄道やバス、タクシーは
利用しやすいですか？
公共交通を利用する際に
お困りのことはありませんか？

市民の皆さんが
公共交通全体について話し合う
地区別懇談会を開催します。
これからの公共交通について
一緒に考えましょう。

市内地域公共交通をデザインしよう！

～使い勝手の良い公共交通ネットワークのあり方について～

日時

平成28年12月11日(日)
午前9時30分～正午
(午前9時 開場)

会場

豊明市立中央公民館
(豊明市役所横)

定員

40名(※)
(応募者多数の場合は抽選)

※下記に示す小学校区ごとに定員を設けます。

- ・沓掛小学校区
- ・中央小学校区
- ・双峰・大宮・唐竹・三崎小学校区
- ・豊明小学校区
- ・館・栄小学校区

各8名

参加の可否については、11月下旬頃に通知します。

第1部

豊明市公共交通の現状と市民ニーズについて
(株国際開発コンサルタンツ)

基調講演

「公共交通でまちづくり」

講師：松本 幸正 氏

(名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授)

第2部

グループワーク (意見交換会)

「皆が利用しやすい公共交通を
デザインしよう」

- ① 地区別意見交換会
- ② 成果発表
- ③ 松本教授講評

お問い合わせ先 豊明市役所 とよあけ創生推進室 TEL0562-92-8362

キリトリセン

申 込 用 紙

12月11日の地区別懇談会 (グループワーク) に参加します。

住 所

氏 名

性 別

年 齢

小学校区

豊明市役所とよあけ創生推進室へご持参
いただくかFAXにてお申込みください。
FAX：0562-92-1141

受 付